

【日記の日付…昭和7年1月1日（金）】

【予記 等】

「天気」

晴

「予記」

年賀来客

松田貞次郎船田一雄

三谷一二

造船斯波氏狂歌

不景氣ヲ見マイ聞クマ

イ話スマイ、

今年シヤヨイ年

厄ヲ申歳

【本文】

昭和七年正月元旦午前〇時半打鳴ラス除夜ノ鐘ヲ聞キ
壽美同道自動車ニテ明治神宮ニ参詣ス代々木ノ山道ハ
已ニ自動車幅湊シ進退意ノ如クナラズ為メニ約壺時間ヲ
全処ニ徒費シタリ深更ニ係ラズ参拝ノ群集ハ昨年ニ倍加ス
国難ニ際スルガ故ナランカ拝殿ニ近ヅキ賽銭ヲ投シテ将サニ
階ヲ下ラントスルカ式銭大ノ賽銭ハ来リテ余ガ眼下ニ当リ
タリ單ニ微痛ヲ感スル已新年早々金ノ来リ当タル縁起
良シト祝ヒ置ク三時半歸宅四時寢室ニ入ル
八時半起床祖考ノ神靈ヲ拝シ壽美正彦千代子ト元旦ノ食
膳ニ向フ坐敷飾ハ補遺ノ部ニ詳ナリ終テ鳥居坂岩崎邸
ニ赴キ新年ノ賀儀ヲ述ブ男爵、夫人ト共ニ接待セラル句アリ
暁ノ雞声（勅題）

立返る年の始の壽は *コトブキ（ことほぎ）* 日の出をさそう雞（クダカケ）
の聲

式時歸宅三時壽美正彦夫婦ト全乗吉祥寺ノ別邸ニ赴キ静ニ
雑煮餅ヲ飽食シテ元日ノ夜ヲ送ル夜来豪雨アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月2日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨晴

【本文】

夜来ノ雨朝ニ至リテ止ミ十時晴天トナリ一天雲ナク又風ナシ
午後貳時時国武次郎氏子供三人ヲ伴ヒ近藤眞一氏子供貳
人（上二人）ヲ伴ヒ年賀ニ来ル全時原田芳太郎夫人モ見エ余
ハ此三人ヲ相手ニ薄暮ニ至ル子供達ハ正彦夫婦エリーニテ
接待ス壽美ノ心入レノ待遇ニ一同満足シテ五時過辭去ス
夜分千代子ノ手前ニテ薄茶一服ス夜半興奮ノ気味ニ
テ眠リ安カラズ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月3日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

本日モ亦皆晴雲片ヲ見ス午后○時十分頃壽美正彦
夫婦ニ直田吉太郎ヲ搭載シ自動車ニテ立川、八王寺
浅川ヲ歴高尾山ノ山麓ヲ回リテ大垂水ニ出ツ全所ニテ
富士ノ秀嶺ヲ眺メント期シタリ折悪敷靈山ノ裾ニ白雲
棚引キ朧ニ其頂上ヲミルノミ月見トロ、ト一椀ノ汁ニ
（拂五円八拾五錢茶代一円女中五十錢）相甲ノ遠景ヲ賞シ三時
五分引廻シテ東村山ノ貯水池ニ向フ大垂水ノ旗亭ノ附近ニ
ハ芋ト山ノ薯多シ村山ノ貯水池ニ達セシハ四時少シ過ナリ下
堤ヲ散策シホテルノ前ヨリ再度車ニ乗リ中堤ヲ經テ池
辺ニ沿ヒ歸途ニ就ク歸莊シタルハ五時五分過ナリ
夜分壽美正彦夫婦山本ハツランプ遊ヒヲナセリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月4日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

今日モ尚天氣続キナリ十時門外ニ出テ富岳ヲ觀ル満
山白雪裾ハ深ク小佛ノ連峯ニ入り崇高仰ク可シ十一時
五分出莊正午出社出勤ノ諸員ト新年ノ賀詞ヲ交換シ
式時半上野ノ囲碁会ニ臨ミ八時弁天町ニ立寄り九時歸莊
此日午后三時半正彦夫婦ハ染井ニ展墓ト夜分時国ニ招
カレタル為メ弁天町ニ歸リタリ
歸莊後直田ト将碁ヲ闘ハスニ戰皆勝

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月5日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

今日モ亦天気朗カナリ新年トシテハ稀有ノ天候ナリ

~~あけ~~ *なごや* かな旭を浴ひて霜深き庭の芝生に小鳥 *いかふ*

~~群れ居る~~ *のどけさ*

何レヘモ外出セス立原家ノ三七日ハ正彦夫婦ニ頼メリ壽美

ハ正午東京会館ニ於ケル親族ノ新年宴会ニ臨ミ立原ニ

廻ルトノコトナリ

六時弁天町ニ歸ル正彦夫婦ハ七時半ノ汽車ニテ歸神

壽美停車場迄見送ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月6日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

催

日仏会館 音楽会

午後三時 半 ヨリ華族会館

ヘンリー、ギルマルシェ―― セックス着

宮川ヨシ*美*子及西沢ミ

ドリ*緑*両嬢出演 断

外ニアグノーエル及ジル

マルセックス氏送別午

餐会（会館ニテ）断

【本文】

朝ノ内曇天候変化アル可ク豫想シタル処案外ニモ盛力ヘ
シテ晴天トナレリ十一時出社々長出社ナシ

重松養二氏旧臘原田家宮葬ノ挨拶ニ見ユ

元建築所々員上領哲三氏子息就職ノ件ニ付依頼ニ来ル

子息ハ目下慶應在學中

弘瀬幸猪ニ返事ス序ニ大正五年以来北田岡ノ為メ支出

シタル金額ハ其一族ノ分ヲコメ壹万貳千圓ヲ超過スル旨

心得ノ為メ申送ル

四時退出歸宅壽美ハ井上侯爵未亡人ノ見舞ニ主赴ク

井上貞子其養女ヲ伴ヒ来訪セリト聞ク

ストツクトン氏二年賀ノ挨拶ノ書面ヲ出ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月7日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス武田氏病氣欠
席会員ノ辞職ス可キ分系会社ノ重役席ヲ定ム
商事会社参事櫻沢忠四郎氏引見

午後貳時橋本圭三郎氏来訪三菱精油事業開

始ニ付日石トノ間ニ善良ノ理解ヲ保タンガ為メナリ

余之レヲ了シ其趣旨ヲ将来三菱精油ノ会長タル可キ

船越氏ニ話シ置ク

ロバートズルサー、ダブリユー、デユブリン（端西ズルサー社）

デー、ガスパー（同社神戸支店）ノ三氏宛年頭ノ返礼

状ヲ送ル

四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月8日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

陛下御遭難

八日会

山口、午後五時

幹事、中島、福井

両氏 請

荒木陸相賓客

丸ビルにて古刀并ニ新

刀ニ關スル古書拾八冊

参謀本部出版日本戦

史ノ内大阪役三冊ヲ

合計拾二円七拾五錢ニテ

購フ

【本文】

昨夜ノ雨今朝霽本日ハ代々木ニ於ケル觀兵式ト宮城

前前場ニ於ケル消防夫ノ出初式ナリ 陛下ハ觀兵

式ヨリ還幸ノ途次警視廳前ニ於テ不逞ノ鮮人

李奉昌ナル者ヨリ爆弾ヲ投セラル彈ハ天皇旗ヲ

奉持スル騎兵ト先驅宮内大臣ノ馬車トノ間ニ破裂

シタルモ齒簿ニハ異状ナシ犯人ハ直ニ逮捕セラル于時午

前十一時廿分ナリ

余ハ十一時十分出社理事會列席其間小池厚之助及

本山白雲ノ両氏來訪

午餐ニ臨ムニ先チ赤星氏ヨリ先頃大逆罪ニ關スルヒントヲ

得日々ノ報外ニヨリ之レヲ詳ニス

犬養内閣ハ臨時閣議ヲ開キテ直ニ辞表ヲ閣下ニ提出

ス

今夕ノ八日会ハ前陳ノ次第ニテ陸相断リナリ土方池田ノ

両氏欠席九時歸宅

【欄外】

朝九時大橋新太郎氏來訪

【日記の日付…昭和7年1月9日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

十一時出社々長室会議ニ列スブートン養殖真珠場ヲ法人
トナスノ件并ニ故藤田氏ニ対スル報酬額（五万圓）ヲ議定ス
犬養内閣ノ辞表ハ却下時局重大ノ際留任ヲ命セラル
午後四時退出歸宅壽美ト共ニ吉祥寺ニ来リ泊ス
夜分小林直田ト闘碁各自三番皆勝

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月10日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

昨夜ヨリ寒氣加ハリタリ壽美風氣ニ襲ハレ今朝起床
ノ後再ヒ平臥療養セシム

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月11日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

光悦午後五時

京濱実業家新年

懇親会午後四時

帝国ホテル会費拾圓

出席返事

【本文】

寿美ノ風氣昨夜半ヨリ輕快ニ赴キ今朝ハ三十六度六分
ノ平熱ニ復シタリ尚為念加養可致申渡シ十時十分別
邸ヲ出テ四十分ノ後出社十一時ヨリ社長室會議ニ列ス
武田管事モ出席セリ

塚越卿 丘 二郎氏新年ノ挨拶ノ為来社

京濱実業家新年懇親会ノ会費ヲ濱田造船会

長ニ托シ欠席」市吉徹夫氏引見同人魯大公司転勤ノ筈

濱田造船会长ヨリ立原任氏死去ニ付島津電池ヘノ

代表重役撰任ニ付内談アリ

四時半退出築地ノ会合ニ出席手交スル処アリ九時半

歸宅

此日台湾田岡年実宛ニ長男茂美ノ為メニ金四百圓

和哥山桑名喜久治宛ニ仝人子供ノ為メニ仝額ノ金子

ヲ送金ス中須賀地処売却ノ分配ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月12日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

社長夫人招待

高輪邸重役婦人

参集后一時半

【本文】

朝九時壽美吉祥寺ヨリ歸宅直ニ髪上ケニ赴ク

全九時半久原房之助氏来訪北洋漁業ノ合同ニ關シ

テ誘説スル処アリ三菱トシテハ考慮ノ余地ナキ旨申置ク

十時半出社十一時社長室會議ニ臨ム

神戸ノ楠瀬康雄出京面會森田ニ対スル意向ヲ傳ヘ置ク

午後三宅川商事會長ヲ招キ北洋漁業合同進捗ノ程

度ヲ聴取ス

日露ノ川上俊彦氏新年ノ挨拶ニ見ユ

四時退出歸宅

壽美高輪邸ニ赴キ五時半歸宅

夜分鮎川義介来訪

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月13日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十時楠瀬康雄来邸
同十一時出社々長室会議ニ列ス
午后君塚勝彦氏来訪面会セス
全式時倉成文太氏来訪商事注文品貯蔵品代價半額
四千五百円支払ヲ受クルコトニ高橋常務ノ肝入ニテ梁瀬
部長トノ間ニ話纏リタリトノ報告アリ
四時退出丸ビル美術店ニ立寄り歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月14日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列シ三橋倉庫常務ヲ招キ朝鮮清津ニ於ケル筑港并ニ倉庫建築ニ付圖面ニ抛リ説明ヲ聴取ス
午後兼ニ浦製鉄処在勤和田正雄来訪水道技師トシテ十五年間全処勤務 工事完成整理ノ為休職トナリタル旨報告アリ
市政会館教育課勤務ノ者東京市政史（巻部三十六円）豫約ノ為メ来訪製本出来ノ上ニアラザレバ考慮セスト答フ二人ノ内一人ハ至極尤ノ仰ナリ出来ノ上持参再来ス可シトテ去ル再来ノ節ハ購ヒ取ラス可シト思フ
四時退出白金久原ノ邸ヲ訪フ房之助氏ノ歸宅ニ会ヒ全氏先日申込ノ件ハ三菱ハ勿論差当リ日露ニ於テモ考慮シ得ザル旨返答シ置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月15日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

新聞僚案内

経済聯盟及工業倶楽

部開催午後六時

会費五圓 請

光村利之来り春秋

社仕拂停止ノ旨報

告アリ全社ニ対シテハ

手形約九千圓ヲ有ス

【本文】

十一時十五分出社理事会ニ参列議事ナシ造船ニテ壹万
屯ノ新造廣海ヨリ注文アリタリトノ報告ヲ濱田会長
ヨリ受ク

正午家庭事務処ニ赴キ新年ノ午餐会ニ列ス

一時歸社商社会社ノ臨時重役会ニ臨ム三菱石

油会社ノ重役交迭ニ伴ヒ商社会社トシテ野村外一

名ノ解雇會計（シアトル支所）ノ罰俸平井部長ノ

三菱石油会社轉任野間参事ノ襲任ノ件ヲ協議ス

坂本一氏門司巖流島ノ一部鈴木処有ノ場処造船会社

ニ買取ノコト金子直吉氏ノ為メニ依頼アリ

加藤恭平氏引見日石關係トシテガソリン需供ノ一覽表

ノ呈出ヲ受ク同時ニ鮎川提議ノ製氷会社増設ニ付弍百

万円ノ半分弍年ノ後三菱ノ意志ニテ引受ノ証明（農林省ニ）

依頼ノ件ニ付全氏ノ意向ヲ聴取ス

午後六時工業倶楽部新年宴会ノ席ニ臨ム犬養首相前

田商相荒木陸相、芳沢外相ノ演説アリ会衆三百人以上ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月16日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

日仏会館

午餐会 断

矢野二郎氏記念館

開館式如水会館

午後三時 断

南洋栽培協会

秦拓務大臣歡迎会

工業俱樂部

午后六時 断

【本文】

午前十一時出社々長室會議ニ列ス

赤星地所部長ヨリ本社ノ組織簡約ニ付社長ヨリ常

務理事ニ下命ノ点ニ付訴フル処アリ

午後三橋倉庫常務ヨリ清津築港ノ件ニ付陸軍

当局ノ意向ヲ探知報告スル処アリ満鉄当局トノ協議

ハ見合ス可キ旨注意ス

午後四時退出共楽俱樂部ニ立寄ル三時半頃ヨリ雨
降ル

河手鉦業常務ニ佐伯棋一氏ヲ若松築港会社ニ採用

ノ件ニ付昨夜松本健二郎氏ト談合ノ次第ヲ陳ベ全氏ノ

意向ヲ糺サシム

近藤淑子来ル夜十一時歸ル

光村工場ノ倉成文太氏来ル春秋社仕拂停止ニ關シ

注意スル処アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月17日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

昨夕ヨリ腸痛下痢ニ付本日ハ臥床静養セリ
三谷一二、中橋内相代秘書官ヨリ会见申込アリタルモ
断リタリ
国司浩助来訪面会セズ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月18日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

永原氏還暦祝
山口

外交時報社外交第二回
大懇親会

東京会館后四時半 断

北海道クラブ新年宴会
赤坂幸楽午后五時 断

日本商工会議所閣
員招待新年宴会
午後五時半 断

【本文】

朝九時半末松偕一郎氏来訪
午前十一時出社全半社長室会議ニ列ス本社縮少案
ヲ常務理事ヨリ提出次回ニ審議スルコトトス三宅川
商事会長ヲ招キ前回全社重役会ノ經過ヲ聴ク
倉庫常務ヨリハ退職重役補欠ノ申立アリ差当
リ江川、田中、川崎ノ三人ヲ加フルコトトス
午後船田理事ヲ招キ本社縮少ニ付立案主趣意ヲ
糺シ全時旧用度ノ課長佐伯棋一氏若松築港推挙
ニ付意向ヲ聞ク
松村亀太郎氏来社春秋社手形不渡ノ件ニ付特ニ
注意ヲ加フ
四時半退出共楽倶楽部ニ立寄り永原氏敬老会
入会ニ付山口ニ会員一同ヲ招待ス会衆主客十五人
伯鶴大岩ノ講談常磐津松島ノ余興アリ盛会
九時半退出

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月19日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

午前十時富民協会

褒賞授與式（鶏）

東京日々新聞社ニテ 請

朝口頭断

横山忠治長男誠一ト

渡辺世祐三女悌子ト

結婚披露

工業倶楽部

后五時

壽美一人請

火曜会午餐 断

東洋協会晚餐
会 断

【本文】

今朝犬養総理大臣秘書官犬養健氏ヨリ総理

親敷御面会致シ度モ蓄膿症ニテ平臥中御光来

願ハレマジキヤトノ事ニ付午后一時ヨリ弐時ノ間ニ訪問

スルコトトス

午前十一時出社三菱保険ノ重役会ニ列席閉会後

各務会長ト亀山ヲ常務ニ昇任ノ件并ニ郵商合併

其他ノ問題ニ付意見ヲ交換ス

午后一時ヨリ開会ノ造船及航空両会社ノ重役会ニ出

席ヲ断ル

午后一時半首相ヲ官邸ニ訪問病床ニテ対面首相ヨ

リノ懇談ヲ聴ク

全式時十五分中野立原氏ノ邸ニ赴キ五七日ノ法要ニ列ス

壽美先ニ在リ

四時上野ニ赴キ春台油画展（岡田三郎助一派）ヲ觀ル壽
美ハ渡辺世祐令嬢ノ結婚披露ノ宴ニ赴キ八時相
前後シテ歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月20日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老將會午后四時

大橋新太郎氏案内 請

工業俱樂部理事

会午後三時 請

【本文】

午前十一時出社々長欠勤

東日經濟記者藤岡啓來訪農事博物館寄附ニ付本

山氏ノ挨拶ヲ傳ヘ全時三井物産川村貞次郎滿州軍慰

問ノ際利権漁リ屋トシテ軍属ヨリ冷遇セラレ蓬々ノ体

ニテ歸京シタリトノ話アリ（二十一日？）

午后一時半三菱倉庫ノ重役会ニ列ス

午後三時工業俱樂部ノ理事会ニ列ス是レニ先チ午后一時

全処ノ膳主事來訪会費怠納者処分并ニ自個理事

昇格ノ件ニ付諒解ニ勤メラル會議ノ結果ハ会費怠納者

ハ單ニ名簿ヨリ除クコトトシ膳主事ハ有給常任理事就

任ノコトトナリタリ氏ガ面目ヲ毀損セズシテ有給常任理事

タルヲ得タルハ余ノ支持ニヨレリ

午后四時半新喜樂ニ赴キ大橋君ノ招待ニカゝル（答禮ノ為メ）

老將會ニ臨ム対局旗色惡敷服部金太郎氏トハ一勝一敗

矢野恒太氏トハ一勝三敗藤原氏トハ貳敗八時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月21日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

万葉聴講会后五時
華族会館

国防義会座談会断
鉄道協会午后六時

議會解散

【本文】

朝来曇雪模様ナリ午后四時頃ヨリ天候次第二回
復ス

午前十一時出社々社長室會議ニテ常務理事提出ノ本社縮
少ニ關スル原案ノ説明アリ地所部ノ縮少ニ關シテハ此
際当事者ノ意見ヲ尊重斟酌ス可キ旨注意シ置ク
犬養首相ノ懇談ノ点并ニ郵商両者統一ニ關スル件
外尅件各務氏ノ提案ニ付社長ト協議スル処アリ
午后貳時茅町男ヲ家庭事務処ニ訪ヒ選挙対策ヲ
協議ス

午前貴族院ニテ犬養首相、高橋蔵相、芳沢外相ノ施政
ノ方針ニ關スル演説アリ之レニ対シ柳沢保恵伯ノ優詔留任
問題ニ關スル質問井上前蔵相ノ攻撃演説アリ午后二時
衆議院ハ三大臣ノ演説已野党ノ質問ヲ許サスシテ解散
午后五時華族会館ニ到リ井上通泰博士ノ万葉集ノ講
義ヲ聴キ晚餐ヲ共ニシ八時半歸宅会費拾円ヲ納ム

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月22日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

午后四時半西岡竹次郎氏
来訪
四時五十分退出歸
途調髪
夜分典夫来ル

【本文】

午前十一時式十分出社理事会ニ傍聴新規採用者
各分系会社ニテ銓衡ノ件ニ付会員審議ノ模様ヲ
聴取ス
枢密顧問官福田雅太郎（大将）ノ紹介ニテ陸軍大佐
遠藤壽儼（四谷坂町九十、草水会内 四谷32二四一七番）
来訪大連農事会社移殖民後援者依頼ノ件ナリ
熟考ノ上返事スルコトニ返事ス午后一時十五分、
富田幸次郎氏午后一時五十分来訪
工業倶楽部膳主事来訪
満鉄理事十河信二氏来訪森書記官長後援ノ件ナリ
断ル

東京鐵道局長新井堯爾氏国際觀光局長佐原憲次
氏轉勤挨拶ノ為メ来訪
午后三時郵船会社ニ到ル已ニ重役会ハ終レリ各務氏ニ郵
商両社統一ノ件社長全意ノ旨并ニ龜山三菱保險常務進△

【欄外】

△級異存ナキ旨ヲ傳フ
四時歸社通相三土忠造氏来訪犬養首相ヨリノ傳言ヲ齎ス

【日記の日付…昭和7年1月23日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時出社

午後茅町男ヲ家庭事務処ニ訪ヒ議會解散後ノ対策
ニ付協議スル処アリ三時半退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月24日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

午后壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴ク夕刻小金井堤ニ沿フタル場処ノ賣地見分ノ為小林成ヲ案内トス全処ハ中央ニ水路アリ南下リニテ約五千坪格好ノ宅地ナリ
此日午后ヨリ裾冷ヘ肩凝リ氣分重シ歸宅食事後直ニ就寝

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月25日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

福島熊一長男高麗

夫ト曾根増吉五女登

女子ト結婚披露

東京会館后五時半

両人請

【本文】

今朝体温三十七度式分加養ノ必要ヲ認メ書面ニテ社長

ニ土曜日茅町男爵ト会见ノ顛末ヲ報告シ全時ニ羽野

秘書役ニ依頼シテ本日茅町男トノ面談ヲ断ル

曾根氏ノ結婚披露宴ノ臨席ヲ断リ壽美已ヲ参

会セシム

夜分体温三十八度ニ上ル

今朝曾根忠兵衛氏来訪壽美面会

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月26日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

今朝体温三十七度

朝十一時青木管事ヲ招キテ社長ヘノ傳言ヲ頼ミ

尚場合ニヨリ自分ニ代リテ茅町男ノ意向ヲ確ムルコトヲ

依頼ス

午后〇時半青柳博士ノ来診ヲ受ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月27日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝体温平熱ニ下ル社長ヨリ養生ノ注意アリタルモ明
夕茅町男福沢新夫人見送りノ為下關セラル、ヲ以テ本
日面会シ置クヲ便利ト考ヘ十一時出社茅町男ニ対
顔撰拳ニ關スル打合セヲ了シ在社約壹時間此間会社
ニ木村小左衛門氏若槻氏ノ紹介状ヲ持参シ訪ネ来レリ
略其用向ヲ察スルヲ以テ船田一雄氏ヲ以テ来訪ノ趣意
ヲ聞カシメ歸宅ス
歸宅後三宅川商事会長来訪砂田重政氏申出ノ件ニ關
ス

晚餐後頭痛ヲ覺ヘ体温次第ニ上リ夜半三十八度三
分以上ニ上ル病氣ブリ返シタリ倦怠ニ堪ヘズ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月28日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

麒麟ビール総会

午前拾時

清浦伯傳記一部申込

（豫約）

上下二冊拾五円五月頃

出来ノ豫定

【本文】

昨夜ノ発熱今朝ニ至ルモ尚三十七度半ヲ下ラズ当分ノ
加養ヲ覚悟シ青木常務ヲ招ク病氣ヲ聞キ十一時
頃社長自ラ病床ニ来訪撰筆対策ニ付協議スル

処アリ為メニ青木氏トノ面会ヲ要セス氏ハ社長ト全車
ニテ退出ス

夕刻体温三十七度ニ下ル

朝十時半青柳博士ノ来診ヲ亨ケヒマシ油ノ下剤
ヲカク効顯著シカラズ更ニ夜半洗腸ヲ決行ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月29日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

富士紡新旧会長

持田日比谷氏招待

新喜楽午後六時 請

病氣ニ付断口頭

癩豫防協会理事会

午前十時

内務大臣官邸 断

【本文】

添田啓一郎、山田毅一氏来訪面会ヲ断絶ス三橋信三
松村亀太郎両氏見舞ニ来邸壽美面会

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月30日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

今朝軽状ヲ覺ユ犬養首相及社長ニ書面ヲ送
ル

平田恒太郎氏見舞ニ来ル

福島新夫婦（曾根トメ子夫）挨拶ニ来ル

内ヶ崎作三郎及池田秀雄ノ両氏来訪面会ヲ断ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年1月31日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝来ノ見舞客濱田、三谷ノ両氏病床ニ引見三好
堤、森豊之助ノ三氏ハ壽美面接
犬養健氏来訪病床ニテ接見ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月1日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

羽野氏案内
山口

【本文】

午前十一時羽野秘書役来訪
全時立原芳彦
后式時犬養健全三時郷誠之助男
全三時半三宅川百太郎
ノ諸氏ヲ病室ニ引見
全三時半宮川一貫氏荒木陸相ノ紹介状ヲ持参ス
壽美ヲシテ来訪ノ趣意ヲ聴カシム
青木菊雄氏夫人ト共ニ見舞ル壽美面会

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月2日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時羽野秘書役及内ヶ崎作三郎
后一時三宅川百太郎
全式時床次竹二郎
全三時松田源治氏ノ為山地土佐太郎
全四時中島弥團次
ノ諸氏来訪病床ニ引見ス
奥村政雄膳桂之助ノ両氏ニハ壽美面会
夜分町田忠治氏来訪依頼ヲ断ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月3日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十一時茅町男爵病氣見舞ヲ兼ネ打合ノ為
来訪セラル勉メテ應接室ニ出テ應對ス

午後一時半羽野秘書役来訪社長ヨリ三宅川氏ニ
關スル話アリ

午後貳時木村小左衛門夫人（波江）宛夫君ニ關ス
ル要件ニ付直人ニテ書面ヲ送ル

后三時宮川一貫氏来訪家内ヲシテ應接セシムルニ
前日ノ趣意ト異ナリ仝人五六名ニ關スル依頼トノコト
ニ付紹介者ニ面談取糺ノ上ニアラザレバ返事致シ難
シトテ返ヘス

三宅川商事會長来訪手交スル処アリ
堀三太郎氏来訪壽美面会

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月4日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時西岡竹次郎氏引見

全式時姫田氏来訪田昌勝正憲池田秀雄諸氏

ニ関スル話アリ

全三時三宅川商事会長来訪昨日手交ノモノ返却
アリ

全四時富田幸次郎氏ニ直人ニテ手簡ヲ送ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月5日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨晴

【本文】

先夜雨朝晴ル午後三時三谷一二氏来会工業倶
楽部撰挙費調達ノ件ナリ

全三時半武田秀雄氏見舞トシテスツポン汁持

参末松偕一郎氏ノ件ニ付話アリ

夜八時過義介来訪夜半過歸ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月6日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝秀島氏見舞ニ来ル
午前十一時半三谷一二氏来訪工業倶楽部ニ於
テ撰挙資金調達ノ件ナリ
午後田坂一郎氏上海商事支店長トシテ轉任ノ
命アリタルニ付父承認ヲ得可ク歸省ノ件話アリ
小野寺陸軍経理局長ヨリ面会申込アリ病氣
静養中ノ旨ヲ以テ断ル急キノコトニアラズ御全快ノ
上ニテ宜シト挨拶アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月7日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

△次テ夜警ノ巡查式名
来リ邸内ヲサガシタルモ其
影ヲ見ズ
八日ノ朝刑事式名来リ其
跡ヲタツネ竊盗ノ新マ
エナラント鑑定ス昨夜非
常線ヲ張リタルモ式名ノ外
網ニカゝラス或ハ其一人ナリ
シカトモ見ユ
午頃巡查式名復聞取
ニ来リタリト聞ク

泥棒入ル不成功

【本文】

午后壺時半病後以来始メテ鬚ソリヲ為ス
全式時三谷鋳業会長来訪工業倶楽部特別出
資金壺万圓ヲ手交ス
全三時戸田按摩ヲ招キ療治ヲナス（一度三圓）
夜分食後ラヂオニテ大阪文楽座ノ津太夫合
邦辻ノ浄瑠璃ヲ聴クラヂオノ器械ハ本日式拾八
圓ニテ求メタリ
此夜十一時半入浴後就寝シタルモ何トナク眠ラレス一時過キ
風呂場近クノ便処ニ赴ク午後三時異常ノ物音ヲ耳ニス夜
嵐ノ妻戸ニ当ルニアラザル如シ再應便処ニ赴キ床ニ入り聞
耳ヲ立ツルニ戸ヲ開カントスル如シ依テ家内ヲ起ス家内立チテ
奥ノ便処ヲ窺ヒ中戸ノ開キタルヲ確メ夜盗ノ入りタルヲ告ク
余起キテ身カマヘヲナシ各室ニ点燈シ鎗ヲ執リテ其乱入ニ備
へ家内ヲシテ書生運轉手女中ヲ起サシメ一方電話ニテ神樂
坂警察ニ告ク除口ニ隊ヲ組ミテ屋外ヨリ迫ラシム其内巡查一

名来ル夜盗ハ事成ラザルヲ知リテ逃遁キ便処ノ窓口二本竹ヲヲリ
クヽル戸ニケ処ヲ開キ居レリ最後戸ジマリヲ開クヲ得サリキ△

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月8日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

八日会 山口

幹事大橋及串田

荒木陸相招待

病氣ニ付断

新旧国際観光局長

新井佐原両氏歡送迎

会 快樂園午後六時

前全断

【本文】

午前十一時半和服ニテ出社々々長ニ面会今後暫時自由勤メノ認許ヲ得タリ

松岡均平男引見金壺万五千圓ヲ手交ス

午後倉庫ノ三橋信三氏ヲ招キ金壺万圓ヲ手交ス

三谷鉾業会長引見工業俱樂部常任理事膳桂之

助氏ト会見ノ顛末ヲ聴取ス

三宅川商事会長引見砂川農林政務次官ト会見ノ

顛末ヲ聴取ス

茅町男ヨリ桐島氏ニ申傳ヘノ件ハ同氏ノ方ニテ処置ア

リタキ旨申送り午後式時退出ノ途次家庭事務処ニ立

寄り男爵ニ面会病氣見舞ノ挨拶ト共ニ先件ヲ傳ヘ

置ク

歸宅疲労ヲ覺ヘ一睡夕刻典夫来ル

午後正九時戸田按摩来ル十時半歸ル入浴ヲ見合ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月9日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴 夜分雪

〔予記〕

井上氏ハ民政党中尤モ未
来ヲ囑望セラレタル人
余ト時ニ財政上ノ意見
ヲ異ニシタル事アルモカ、
ル不幸ノ出来ノ為メニ挫
折シタルヲ覚ヘハ全情ニ
堪ヘザルモノアリ感慨
ノ為メ眠リ安カラズ

井上準之助氏狙撃
セラレ絶命

【本文】

昨日疲労ノ為メニヤ今朝十一時近ク迄熟睡シタリ尚モ其
疲レヲ医セン為電話ニテ出勤ヲ断ル
本日気分幾分爽快ニテ食欲ヲ覚ユ

午後九時半頃東京日々新聞社ヨリ電話アリ

前蔵相井上準之助ハ民政党公認候補駒井重次氏

應援ノ為メ本郷追分駒込小學校ノ演説ニ参加ス可ク

午後八時五分駒井氏ト弁士田添豊記井上家ノ書生井

上三郎ト全乗将サニ小學校ニ到着門前ニテ下車門内

ニ四五歩歩ミタル際堀ノ暗闇ヨリ若者飛ヒ出シ井上

氏ニ向ケ身軀ニ密着シテヒストルヲ三発シタ井上氏ハ

其場ニ倒レ駒井氏ハ直ニ氏ヲ自動車ニ抱ヘ込東大医

院青山外科ニテ手当シタルモ三弾共胸部ニ近ク何レモ

致命傷ニテ八時十五分手当効ナク絶命シタリ凶漢

ハ其場ニ捕ヘラル茨城縣平磯町字磯崎新吉弟小

沼正（二三）ト判明シタリ」トノコトナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月10日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東洋協会

大阪ビル午後五時 断

【本文】

昨夜分雪降り今朝積ムコト約一寸夕刻消ヘテ跡ナシ
午前十一時半和装紋服井上氏ノ邸ニ赴キ吊詞ヲ述べ故人
ノ遺骸ノ前ニ焼香十二時前出社々長ト対談引籠中ノ
報告ヲ聞ク

午后三橋、武田、高橋、田坂ノ諸氏ト松村亀太郎氏引見

高橋鍊逸氏ハ慰問ノ為メ上海ニ田坂一郎氏ハ全処支

店長トシテ赴任ノ筈ナリ

三時半退出一寸丸ビルニ立寄り歸宅

夜八時半井上氏ニカワリテ民政党選挙長トナリタル町田忠

治氏ヲ招キ手交スル処アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月11日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東京クラブ会員晚餐
会 午後七時 断

国粹民衆ノ結党準備
会（代表蓮井継太郎
外二名）

大井町春秋園午後一時 断

修養団記念式

午後三時（本部「平沼」） 断

【本文】

本日紀元節終日静養

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月12日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十一時半国司浩助来ル面会数分十二時五分青山
斎場ニ赴キ井上準之助氏ノ葬儀ニ列ス十二時四十分終ル
式ハ仏式若槻民政党総裁ノ弔詞アリ午后貳時ヨリ四時迄
告別式アリタルモ病後待立ヲ見合セテ出社ス
社長下痢ノ為欠勤
山田毅一氏ノ為メ堤人事課長二千圓ヲ渡ス
午後三時退出歸宅
午後六時牧山耕蔵夫人ヲ招キ手交スル処アリ
全八時三宅川商事会會長来訪席次問題ニ付非常ノ
決心ヲ以テ訴フル処アリ慰藉シテ歸宅セシム
全九時戸田按摩来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月13日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

十一時二十分出社々長室会議ニ列ス商事上海支店長及
副長処分ノ件ハ当該常務ニ再考セシムル事トス
午后三宅川席次ノ件ニ付青木管事堤人事課長ト協
議シ昨日理事会ノ宣言ヲ訂正スルコトトシ舟越航空会長
ヲ招キテ了解ヲ求メ次回ノ理事会ニテ訂正スル事トシ其旨
ヲ三宅川氏（引籠中）ニ電話シテ通知ス
午後貳時半荒木陸相ヲ官邸ニ訪問シ陸相紹介ノ宮
川一貫（前政友代議士）トノ關係ヲ聴取ス
午後六時宮川一貫氏宅ニ夫人ノ在否ヲ糺ス歸郷中十
四五日ノ頃歸京トノコトニ付交渉ヲソレ迄待ツコトトス
夜九時戸田按摩来リ十時五十分歸ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月14日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

小雨

【本文】

初メハ春雨ノ如ク夜ニ入りテ少シク冷氣ヲ感ス今朝
十一時迄熟睡シタリ
午后并ニ夜分藏幅ヲ披閱シテ等閑ヲ消ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月15日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

1,1000

【本文】

朝十時三宅川商事会長来訪席次ノ件ニ併セテ製
氷会社擴張ニカヽル資金共保生命保険ニ保証ノ件
ニ付話合アリ

十時半出社十一時大井商事上海支店長并全副長
稲垣処分ニ付商事会社ノ再考ヲ求メタル処依然其
主張ヲ変セザルニ付社長ヨリ更ニ協議アリ結局処分
ハ解傭トシ給與ハ恩恵的ニ退職手宛金額ニ

近キモノトシ原案ノ訂正ヲ考慮セシムルコトトス
船田理事之レヲ商事会社ニ傳フ尚兎角ノ申出アリ
依テ余ハ断然命令執行ヲ命ス

午後四時東劇ニ壽美ト共ニ赴ク水難救済会ノ為
メ入場券五枚賣付ケラレタル為メナリ余ハ熊谷陣
屋ノ段一幕ヲ觀テ歸宅ス（吉右衛門ノ熊谷、福助
ノ相模、男女蔵ノ藤ノ方、羽左衛門ノ義経菊五郎
ノ弥陀六）残り切符ハ亀山栄枝藤野未亡人長安夫人（代
娘）ノ三人ニ贈與来覽セリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月16日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ミ本社常務理事
及理事ヨリ提出ノ資料課分離案ニ付説明ヲ聴取
シ大体其提案ヲ認容スルモ財団法人ハ三菱ノ名ヲカブ
セ分系会社扱トシ本社ヨリ可然理事長ヲ置クコトトス
午後其旨ヲ松岡、長岡ノ両氏ニ傳ヘ置ク
午後五時退出歸社
夜分鮎川義介来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月17日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

午後前

三宅川商事会長ヨリ

日露漁業合同ノ件

并ニ冷凍会社参加ノ件

ニ付報告アリ

【本文】

朝十時松村亀太郎氏来訪春秋社終ニ支拂不能ヲ発表スルニ至リタル旨報告アリ

午前十一時出社々々長引籠

午後壺時鈴木富士弥氏来訪手交スル処アリ

全時土居貞弥氏来訪

全武時小松傳一郎氏来社窪田仟侖*ウネメ*氏ノ病氣ヲ氣遣フテナリ電報ノ模様ニテハ未タ絶望ニアラザル旨ヲ告ゲ置ク

午前永原理事引見全氏水電延期出願ニ係ル件

ニ付心得ノ為メ自分ノ処存ヲ傳へ置ク（昨日）

三時半退出歸宅

壽美ハ昨夜神沢ノ老人（正彦祖母）危篤ノ旨ヲ時国

ヨリ傳承今朝瀧ノ川神沢乙吉氏宅ニ見舞ニ赴ク

昨夜十時已ニ逝ク歸リテ之ヲ正彦ニ電報シ今夜

棺前ニ造華ト香典（二拾円）ヲ供フ明日密葬ノ筈

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月18日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

工業倶楽部産業
団体常任委員会并
二片岡安氏送別会
午餐会 断

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列シ長津江水電延期出願ニ対スル幹部ノ意向ヲ決定ス永原理事全件ニ付明日午后出発渡韓ノ為メナリ
午后武田管事及松岡參與ノ両氏ヨリ憂慮ス可キ軍部ノ意向ヲ聴取ス
午後四時退出歸宅途次病後初メテ調髪
壽美ハ正午瀧ノ川ニ赴キ神沢母堂ノ蜜葬ニ会葬歸リテ久原ニ赴キ自分病中見舞ノ挨拶ヲ兼ネ房之助氏ノ病氣ヲ見舞フ氏モ同シク下痢数十回ニ亘リタルモ已ニ活動シ居ルトノ事ナリ
今朝宮川一貫氏夫人福岡ヨリ歸京午后折返シ再度福岡ニ向フ夫人訪問ト行違ヒニ同人邸ニ直人ニテ書面ヲ送り援助スル処アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月19日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老将会 断 病氣ニ付

新喜樂

幹事服部

万葉聴講会

華族会館午後五時

断

【本文】

午前十時立原芳彦来訪全人ハ神沢母堂ノ葬儀ニ
参会ノ為メ来訪出京シタルモノナリ相続税届出ニ付テノ
経過ヲ聴取ス

全十一時式十分出社理事會傍聴ニ臨席資料課分

離案上堤セラル原案可決

永原理事渡鮮ノ為午后一時富士ニテ出立三好常務

ハ住友ト打合セノ為メ大阪迄同行

午后三時十分退出歸宅

夜分福井巖氏令妹美與子全伴明日ノ富士号ニテ下

神ノ旨申シ来ル其序ヲ以テ兎狗二匹ヲ長田ニ送ルコトトス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月20日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十時五十分出社途次市ヶ谷小學校ニ立寄り衆
議院議員撰挙投票ヲナス候補者ノ内意ニ満ツ
ルモノナシ櫻内辰郎氏ハ面識ナキモ其兄櫻内前商
相ヲ識ルヲ以テ之レニ投票ス
十一時ヨリ社長室會議ニ臨ミ新設冷蔵（冷凍）会社
借金保証ノ件ニ付三宅川商事会長并加藤常務ノ
申立ヲ聴取シ結果串田銀行会長ノ判断ヲ待チテ
裁決スルコトトス
三時半退出丸ビルニ立寄り歸宅
壽美ハ鳥居坂岩崎邸ニ過般社長來訪ノ挨拶ニ赴
キ手製ノ鮭夾カブラ漬及久原ヨリ到來ノ生シイタケ苗
木ヲ持参ス序ニ井上叔母ノ病床ヲ見舞全シ苗木
（水盤ト共ニ）ヲ呈ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月21日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

夜来西北ノ風吹ク上海ニ於ケル皇軍昨朝ヨリ全線
ニ亘リテ活動ヲ開始シ敵ヲ攻撃今晚ニカケテ江蘇
鎮ヲ攻略ス

午後三時天神下黒崎富蔵方ニ赴キ左諸幅ノ改装
ヲ依頼ス

雲谷等宅筆中文殊左右牡丹三幅対絹本

菊池容斎筆中富士左右嵐山吉野ノ三幅対絹

月岡芳年筆鍾猫（尺八絹本）紙本大黒及福祿
壽ノ三幅

雪山破墨ノ横物紙本

帰途黒門町田島吉之助方ニ立寄り左ノ式幅ヲ購フ

渡辺省亭朝顔尺八絹本 八拾五円

雪村筆芦ニ五位鷺紙本 雅邦極添

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月22日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時十分出社々々長ト対談○○ 撰挙 ニ関スル報告ヲ
ナシ全時ニ共同漁業ノ状体ヲ説明シ置ク
午后一時外務大臣ヨリ国際聯盟オブザーバー来廿八日
横濱入港ニ付相談ノ為午餐ニ来会ヲ煩ハシ度
トノ電話ニ付承知返答ト全時ニ病後ニ付場合ニヨリ
代理出席可為致旨申送ル
午后貳時半三井合名会社ニ団氏ヲ訪ヒ前件其他ニ付
打合せヲナシ尚進ンテ築地ノ集会ニ臨席午後七時過
晚餐ヲ辭シテ歸宅ス
本日松岡源治氏夫人ノ葬儀青山斎場ニ行ハル三
谷一二氏ニ名刺ヲ托ス
佐賀原剛一氏養子三郎（少尉）夫人（原剛一娘）死亡
ニ付生前ノ恩ヲ謝シ剛一氏ヨリ懇篤ナル挨拶来ル
吊電ト共ニ香典拾圓ヲ贈ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月23日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

芳沢外相官邸

案内

午後〇時半、

【本文】

朝九時金子直吉氏来訪巖柳島地処賣却ニ
付依頼ノ件ナリ全時山地土佐太郎氏来訪原脩次
郎氏ノ落撰ヲ確ム氣ノ毒ノ至リナリ

十一時出社々長会議ニ臨席冷凍会社借金保
証ノ件ヲ審議ス未タ決定ニ至ラス

其間中島久万吉男来訪工場懇話会示導費
年額貳千圓參ヶ年間補助依頼ノ為メナリ

十貳時半外相官邸ニ於ケル午餐会ニ臨ム近ク横濱

ニ着ス可キオブザーバーノ一行接待ニ関シ助力ヲ求ム
ル為メナリ石井菊次郎、団、土方、児玉、池田、安川
門野、山川、森、串田、小田切等ノ連中ナリ貳時半
退出歸社

日露ノ川上俊彦氏及大刀川又八郎氏来訪
四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月24日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

10,000

【本文】

午前十一時十分出社

午後武田管事ト会见折柄小野寺経理局長代理ヨリ

陸相会见ニ付都合問合セアリ当方ハ何時ニテモ差支

ナキ旨申置タルモ团氏明日陸相会见ノ筈ニ付其席

ニテ直接取極タキ意向ナル旨再應申越アリ依テ

明日欠席ノ心得ナリシ經濟聯盟ノ午餐会ニ出席

ノコトトス全会ニハ荒木陸相及小磯軍務局長出席ノ筈
ナリ

金子兼二浦所長上京引見

奥村參與引見明晩私宅ニ来訪ノ筈

四時退出木挽町ニ下野氏ヲ訪ヒ六時歸宅

良一妻シヅ子仙台ヨリ上京来訪壽美面会ツイ朱蓋ノ

硯ヲ贈ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月25日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雪

〔予記〕

経済聯盟午餐
工業倶楽部

【本文】

今朝十一時頃迄ハ曇ナリシモノ正午ノ頃ヨリ雪トナリ
夜半迄降り続ケタリ
十一時出社々長欠勤社長室會議ニ臨席
今朝内藤久寛氏ト電話打合ノ結果来月八日会
ノ賓客ヲ芹沢外相ノ代リニ大角海相ニ依頼スル
コトトシ自分親敷海軍省ニ出向キ大臣ニ面会依頼
スル処ナリ大臣快諾ス
正午工業倶楽部ニ於ケル経済聯盟協合理事午
餐会ニ臨席食後來賓荒木陸相及小磯軍務
局長ヨリ上海及満州事件ニ關スル軍務当局ノ意見
ヲ聴取ス来賓ハ外ニ杵山次官及土岐政務參與官ナリ
四時退散歸宅
前項会合ノ際八日会賓客大角海相承諾ノ旨ヲ中
島男爵ニ傳ヘ招待并ニ通知ヲ依頼シ歸宅後電話
ニテ其趣ヲ内藤氏ニ通知ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月26日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

森田儀之平上京

【本文】

今朝天気清朗雪積ムコト六七寸市役所ハ六千人
ノルンペンヲ狩出シ雪カキニ使用シタリ
十一時式十分出社理事会ヲ傍聴ス社長ヨリ招キニ
ヨリ昨日工業倶楽部ニテ陸軍大臣并ニ軍務局長
ヨリノ話ヲ報告ス

午後貳時郵船会社ノ重役会ニ臨ミ退散後共楽
倶楽部ニテ時ツブヲナシ光悦ノ寄合ニ臨ミ八時
半歸宅病後始メテ他処ニテ晚餐ヲトル

今朝出勤ノ際森田儀之平氏神戸ヨリ出京ヲ聞
クモ面会ノ暇ナク出社歸宅早々全人ヲ呼ヒ子息
弥一ノ不幸ヨリ長田退去ハ本人并ニ楠瀬ノ為メ将
来ノ禍根ヲ断ツ唯一ノ方法タル可キ旨ヲ諭シ本人モ
納得ス依テ宇野在住ノ娘亀ノ婿ヲ便ル事トシ金
五百圓ト旅費貳拾圓ヲ給與全人明日歸神ノ
筈

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月27日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時出社全半社長出社会議ニ入り資料課
ノ制度ノ改革ニ伴フ規定ヲ決定ス
十二時工業倶楽部ニ赴キ理事会ニ列席上海派
遣軍慰問資金募集ハ前回満州派遣軍
ノ例ニヨリ四団体交渉ノ事トス
全三時歸社四時退出歸宅
壽美夫ヨリ佐藤梅太郎三橋信三両氏ノ邸ニ病氣
見舞ノ挨拶ニ赴キ歸途井上侯爵未亡人及幸崎
氏宅ヲ訪テ七時過歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月28日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

昨夜ヨリ不快ニ付今朝奥村氏ノ訪問ヲ断ル木村
左衛門氏挨拶ノ為来訪松江ノ鍛工良範浮彫蝶
ノ銀ノ香合ヲ贈ラル

午後貳時壽美ト共ニ白木屋ニ赴キ川部主催翁会
骨董賣立ヲ觀団扇張二枚折屏風半双（三拾五円）
ヲ買約シテ歸宅

關屋宮内次官ヨリ電話アリ不在歸宅後次官邸ニ
通話シタルモ次官外出中ヨリ先方ヨリ更ニ電話アル筈
ナリシモ来ラズ

伊藤信愛氏明日南洋出發ニ付暇乞ニ見ユ

小川健太郎及宿利重一氏來訪不在宿利氏（市外
世田ヶ谷町代田六八貳番地）ハ莊田氏傳記ノ為也

【欄外】

【日記の日付…昭和7年2月29日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時出社今朝關屋次官ヨリ電話アリ
午後一時鉱業会社重役会ニ列席
松村亀太郎氏来社
赤星奥村両參與引見
四時半退出歸宅
壽美窪田仟休氏夫人夫君病氣看護ノ為伊
藤信愛氏同伴明朝タワオ向出立ニ付見舞品
購入ノ為三越ニ赴キ食料品其他購入直人ヲ以テ
夫人ノ寓居ニ送り全時伊藤氏ニモ餞別品ヲ送ル
勝正憲及宮川一貫ノ両氏当撰ノ挨拶ニ見ユ不
在面会セス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月1日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

上海

出征軍人慰問

費寄附金壺千

円

【本文】

午前十時十分奥村政雄氏来訪出社ヲ急クニ付寿美
ヲシテ夜分ノ来訪ヲ約セシム

十一時出社々長室会議ニ列ス懸案タル共同漁業
共保生命ヨリ借金保証ノ件ハ社長意見トシテ三ヶ月

又ハ六ヶ月諾否ヲ保留シタシトノ事ニ付三宅川商事会
長ヲ招キ一先ツ鮎川トノ交渉ヲ断ルコトトス

午後貳時家庭事務処ニ茅町男爵ヲ訪ヒ撰挙ニ關
スル報告ヲナス

三時帰社四時退出丸ビルニ立寄り歸宅壽美ノ高
島屋ニ幸崎弟就職依頼ノ為赴クニ会シ自動車

ヲ譲ル

夜八時奥村政雄氏来訪壽美ハ森川肇氏細君

死去ノ報ニ接シ悔ニ洗足ノ宅ニ赴キ十一時歸宅

水戸觀梅会員券（十円）三枚ヲ万朝報社ニ返送ス

上海出征軍人慰問費ノ内トシテ金壺千圓ヲ工業倶楽部
ニ送ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月2日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

上海表ニ於ケル陸海軍
（陸約二ヶ師団海二千五百）
ハ協力シテ一日ヨリ二日ニカケ
壮烈ナル総攻撃ヲ開始
シ先大場鎮ヲ陥シ三日
ノ朝敵軍総崩レ我軍ハ
次テ南翔真如ヲ攻略
シテ嘉定ニ入城呉スン
ノ砲台モ完全ニ陥落
シタリ敵ノ死傷ハ弐
万五千ヲ超ユ我軍ハ
其十分ノ一二足ラズ

【本文】

午前十一時出社
社長ヨリ武田、青木両管事ニ対スル退職手宛其他ニ關
シ提案ヲ求メラル
午後弐時電気会社ノ重役会ニ列ス
午後四時半退出歸宅

「三月三日の日記から続く」

①②外ニリツトル卿秘書アスター、クロデル陸軍リ医ジュー
レ博士及副官ビテイル
随員書記長アース、シヤレール（伊）ベルト（和蘭）フオン
コツツエ（獨）バスチュホフ（チエコ、スロバキヤ）ノ五名
協会々長石井子爵ノ演説ニ次テリツトン卿ノ答辞アリ会
衆百数十名十時退散

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月3日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

国際聯盟協会長

石井子爵案内

国際聯盟支那調

査員一行歓迎ノ為

工業倶楽部午後

六時半 請

国士舘高等拓殖学校

卒業式

午前十時 断

【本文】

午前十一時出社々々長室会議ニ列席シ今朝歸京出社ノ

永原理事ヨリ朝鮮總督府ノ長津江水電延期ニ關スル

意向ヲ聴取ス

午後一時小田切万寿之助氏来訪東方時論レイ氏援助ノ金額

約千五百円本年ニ限り増額依頼アリレイ氏ハ米ノオブ

サーバー「マツコイ」將軍ハ親交アリ其必要ヲ認メ承知

返問シ其旨ヲ三好常務ニ傳ヘ置

塚越卯太郎氏来訪南樺太シスカ山林千三百万石ヨリ忒

千万石松下ノ件ニ付来訪（必要金ハ四五万円）田原製紙

会長ヲ招キ其旨ヲ傳ヘ書類ヲ渡シ全氏ヨリ返答セシムルコトトス

末松偕一郎氏挨拶ニ来ル

田所美治氏 普通學務局長及聾啞學校長帶同聾

啞協會ニ毎年忒千圓宛三ヶ年間寄附依頼ノ為来訪書類ト

共ニ三好船田ノ両理事ニ移シ詮議セシム

四時半退出歸宅タキシニ改メ六時半国際聯盟ノ觀迎会

ニ臨ム一行伯爵リットン（英）クロードル陸軍中将（仏）マツコイ少將

（米）シュネー博士（獨）伯爵マレスコツテイー（伊）
○○○「三月二日日記」

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月4日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十時十分奥村政雄氏来訪出社ヲ急クテ以テ寿美
ヲシテ夜分ノ来訪ヲ約セシム

十一時出社々長室会議ニ列テ其全漁業ヨリ其保生
命ヨリ借金保証ノ件ハ社長意見トシテ主々用又ハ木
々用間保留研究シタシトノ事ニ付其旨ヲ主宅川南事
余長ニ通シテ先ッ鮎川トノ交渉ヲ断ルコトトス

朝十時俵孫一氏来訪撰挙費不足分（五千円）援

助依頼アリ鳥居坂男爵ニ直接依頼ス可ク男爵

面会ヲ欲セザレバ特ニ考慮ス可シト答ヘ置ク

十一時半出社理事会列席社長ヨリノ招ニヨリ対談

日露漁業合同資金ニ対スル三土通信大臣ノ意向

ヲ傳ヘラル

四時退出歸宅

今朝俵氏ニ先チ小川郷太郎氏挨拶ニ来ル面会ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月5日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日独協会長山本
梯二郎氏案内
独代表ドリトル、シユ
ネー氏歓迎ノ為
東京会館午後七時 請

海軍協会

水交社午後式時 断

丸ビル美術会ニ台湾

土器花生三点代

四拾参円五十錢ヲ支払

【本文】

午前十一時出社々長欠勤社長室会ノ当日ニ付上海并ニ漢
口在勤社員慰問ノ為先日全処ニ渡航シタル高橋商事
常務ヨリ社員ノ模様ト戦況ヲ聴取ス其間串田

銀行集会所ヨリ歸来只今三井ノ団理事長全合名会

社ノ入口ニテ暴漢ノ為メ狙撃セラレタリトノ報列席ノ池

田成彬氏迄電話アリト聊興奮ノ体ナリ驚愕ノ至

リニ不堪

俵孫一氏来訪社長ニ面会ヲ申込タルモ断ラレタリトノコトニ付自
分ヨリ意向ヲ糺シ置ク可シト答ヘ置

十二時二十分三井合名会社ニ至リ先ツ秘書役ニ就キ現況ヲ尋ネ
タルニ十一時四十分三越ガワノ入口ヨリ扉ヲ排シテ入ラントスル際若年
ノ者ヨリピストルニテ右乳一寸バカリ上ヲ射撃セラレ其場ニ倒レ扶
ケラレテ四階ノ医務局ニ搬ハレタルモ丸ハ心臓ヲ貫キ左肺ニ入りタル
モノ、如ク八分ノ後息絶ヘタリトノ事ナリ暴漢ハ其場ニ捕縛
セラル茨城縣ノ者ニテ菱沼五郎ト称シ井上準之助ヲ射
殺シタル小沼正ト關係アル如シ（次ノページニ続ク）

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月6日（日）】

【予記 等】

「天気」

晴

「予記」

「右欄外の△から続く」

△午后七時東京会館ニ於

ケル日独協会シユネー

博士歓迎ノ宴ニ臨ム加藤

寛治海軍大将、渡辺錠太郎

陸軍大将枢密顧問 大将

小山検事総長下村宏入沢

達吉博士独大使公使館員

等約二十五名食後余

ハ森孝三氏ノ通釈ヲ以

テ約十五分間シユネー氏ト

対談シタリ

【本文】

朝十時内ヶ崎作三郎氏使ヲ以テ挨拶ノ手紙ニ添へ豊太閣

俳句ノ横物（かさもてはかならすふらぬ時雨かな）ヲ贈リ時局

人心啗ナラヌ際用心ニ付注意スル処アリ挨拶申送ル

牛込神楽坂警察署高等係島次郎吉氏（署電牛込³⁴

二七〇一 二七〇二番）来リ出門ノ際三十分前署ノ方ニ通知アリタク往来

警護致ス可キ旨申出ツ壽美面会ヨキ程ニ挨拶致シ置ク牛

後留守中柳町派出処ヨリ神楽坂署ヨリノ指図ナリトテ全様

ノ件ニ付巡查来訪」十一時宿利重一氏来訪面会セス

午後一時半壽美ト共ニ久振りニテ吉祥寺ニ到リ園内紅梅ヲ

賞シ七時半歸宅

五日ノ続き」秘書役ノ報告ヲ聞キ福井菊三郎氏ニ誘ハレ医務室ノ粗

末ナルベツトニ横臥セル団氏ノ遺骸ノ許ニ到ル令夫人令息令婿牧

田夫婦在リ深甚ナル悼詞ヲ述ブ令夫人ハ余ノ為メニ男ノ面部

ヲ蔽フタル白布ヲ取り最後ノ対面ヲ許サレタリ余ハ万感具サニ

至ル夫人ノ顔ニハ雄々敷モ涙ヲ見ズ辞シテ会社ニ還ル式時半ナリ〇〇「右欄外へ」

【欄外】

①①詳細ヲ電話ニテ茅町男爵ト社長ニ報告ス」三宅川商事会長ヨリ北洋漁業合同大要成就

ノ見込アル旨ヲ聞ク」武田管事及松岡、赤星両參與ヲ引見ス四時退出歸宅△
「上の予記欄に続く」

【日記の日付…昭和7年3月7日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

国際観光協会

評議員会

午後一時半

本省第一会議室 出席

断ル

鐵道大臣案内

帝国ホテル午後六時 請

日仏協会茶会

クローテル將軍ノ歡迎

午後四時 断

【本文】

小沼菱沼黒沢川崎等之血盟五人組ト称スル者ノ首領タル井上日召及び古内栄司 ノ写真新聞ニ揚ケラル右ノ内 先月八日鼠賊ノ来リ犯サント

シタル日ノ午前十一時内玄關ニ来リ暫ク容子ヲ窺ヒ立去

ラザリシ僧侶ハ日召ノ貞ニ似タリト女中共ノ話ニ之レヲ

警衛ノ為来リタル特高係ニ話シ午後警察ヨリ四人

取調ニ来リタリトノ事ナリ

壽美ハ飾雛ノ參觀ニ招カレ鳥居坂ノ邸ニ赴ク（弑時）

十一時出社明日ノ代リニ本日社長室會議ヲ開催ス

国際観光協会評議員会出席ヲ断ル赤星氏ニ口

頭依頼

四時一應歸宅六時帝国ホテルニ於ケル床次鐵相大臣

主催ノツーリスト、ビュロー二十年記念祝賀会ニ臨ミ宴終ル

ヤ否八時原宿ノ団氏邸ノ通夜ニ赴キ全処ニテ望月 原

三土、俵 木村清四郎等ノ諸氏ニ会合十時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月8日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

八日会幹事

内藤久寛及余

来賓大角海相 請

国士館中學校卒業

式案内

午前九時半ヨリ 断

塚越卯太郎氏

来社

【本文】

朝八時半青山斎場ニ赴キ團琢磨男ノ葬儀ニ列ス九時半ヨリ一般ノ告別式アリ十一時十五分迄待立ス斎場ニハ純白ノ造華ヲ供ヘタリ会葬者ハ新紙ニハ誇張シテ五千人不称スルモ余ノ推算ニテハ弍千五百位ト思フ然カモ渋沢子爵以来ノ盛大ナル会葬者ナリ團氏以テ瞑ス可シ

十一時五十分出社去ル五日俵氏来訪ノ趣意ヲ話シ其承諾ヲ得午后式時全氏ヲ招キテ手交スル処アリ

光村利之来社余ノ身辺ヲ氣遣ヒ護衛人ニ付紹介

スル処アリ」赤星氏モ亦運轉手助手ノ陪乗ヲ勸ム余

ハ寧口時アルニ際シ一人ノ代リニ数人ヲ死傷セシムルヲ悲ムト傳ヘ置然シ厚意ハ心カラ之レヲ亨ク

四時退出赤星氏ト丸ビルニ立寄り五時半山口ニ於ケル八日

会ニ臨ム篠山、福井両ヲ除キ出席シ食後來賓大角

海相ヨリ上海出兵并直接行動問題ニ付当局トシテ詳細○

【欄外】

○ナル説明アリ十一時歸宅

【日記の日付…昭和7年3月9日（水）】

【予記 等】

「天気」

晴

「予記」

「本文からの続き」

一弗利半額ヲ速ニ寄

贈シ社会ノ暗雲ヲ

除去シ大三菱ノ胸度

ヲ示スカ

一左傾モ赤化モ大和民

族ニハ絶対ナシ此罪ハ

團輩ノ如キ自ラ作タ

ル思想銃ニ依リテ

墓穴ヲ掘ルニ於テ

ナリ速々範ヲ示スカ

天誅ヲ受ルカ

注三月七日ヨリ四月

七日迄国士天誅組

木村久寿弥太へ

【本文】

朝来風強ク吹ク十一時出社々長欠勤

午後島村秀雄負債弁済援助ノ為金貳千圓ヲ

送金ス（第二回分）―倉成文太氏来訪

宿利重一氏来訪莊田氏傳記編纂ニ關スル件ナリ莊

田氏ニ係ル見聞ヲ傳へ全時載 濱 田氏ヨリ預リタル莊田

氏傳記ノ原稿ヲ返却ス

丸ビル骨董店福永来ル大雅堂ノ画幅及引出手箱

各壹百圓ニテ引受ヲ返事ス四時歸宅」

下谷区西町三大川長介名義（三月七日付消印京橋九日

午前八時）ヲ以テ左彌 脅 迫状来ル曰ク

貴下ニ近日天誅下ル一、近時思想悪化世ヲ毒スルモノハ

故團ノ如キ悖德輩ノ多数有ルニ依ル一、時局重大時ニ

国民ヲ侮蔑シタル事万死ニ値ス銃前銃後ノ援助ハ失

業乞食ニ至ル迄至誠ヲ盡シ報国ノ念ニ燃ヘツヽ有リ
此時機ニ於テ

咄三菱ヲ目スルニ弗買ノ仲間ヲ以テセラルヽハ余ノ從來ノ主張ニ対シ
頗ル迷惑ナリ真ノ国士ハ斯ル悪戯ヲ為ス者ニアラス何ソ畏ルニ足ラン
〔予記へ続く〕

【欄外】

〔右欄外〕

結婚一周年記念トシテ久原■子挨拶ニ来ル

〔一年前結婚したのは、寿美の妹清子（久原房之助妻）の長女泰子（堤正安妻）〕

〔上欄外〕

血盟五人組ノ一人星沢大二叔父ニ伴ハレ自首シテ出ツ

【日記の日付…昭和7年3月10日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十時出社本日陸軍記念日聖上外山學校行幸十時廿分御出門ノ為途次警衛厳重ヲ極ム
十時ヨリ社長室會議長津江水電ニ關シ東拓中野氏ニ対スル返事ノ件并ニ冷凍会社ニ關スル件
警察ヨリノ注意ニ拠リ本日ノ往路ハ備車歸途ハ会社ノ車ニ乗ル

昨日ノ彌 脅迫状ヲ赤星地処部長ニ示シ歸リテ自邸見張ノ特高係島氏ニ渡ス右ノ結果トシテ神樂坂警察署巡查部長益子亀次郎氏来邸明日ヨリ朝夕正服巡查派出ノ事ヲ傳へ来ル

夜分全署高等主任警部補酒井伴太夫氏来訪

福永ヨリ大雅堂曲水山水（百円）及箱物持参箱物不工合ニ付返却

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月11日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

慨世

国おもふ心も知らて

いたづらに（ひとの身を）（ひたすらに） 呪ふ *ノロウ* 徒 *ヤカラ*
のおどましくある

【本文】

午前十一時十五分出社々々長ト対談ス

午後貳時長澤林太郎氏来訪満州軍司令官本

莊大将ニ贈呈ス可キ万葉聴講会員ノ感謝状

巻物井上通泰氏和歌ノ奥書アルモノ会員署名

ノ為持参署名ス長沢氏満州ニ持参ノ筈ナリ

午後三時愛宕下慈恵会ニ出席本年度ノ歳出

入豫算ヲ議了ス徳川家達会長長崎、森村、高木

理事外ニ成瀬氏及關谷監事出席セリ四時半歸宅

本日会社ニテ大雅堂画幅代百圓ヲ福永ニ支払フ

今朝島村秀雄ヨリ「御送金難有拝受」トノ電報アリ

今朝四時権藤成卿ノ借家ニテ古内栄司ヲ捕縛井上日

召ハ午前十時大野総監邸ニ自首ス外ニ大橋新太郎邸

ニ糞便ヲ投ケ遁走横濱ニテ逮捕セラレタル川上正三（廿六）

ハ均シク水戸生レニテブローニング拳銃ヲ処持シタリ尚八挺ノ内

五挺残レリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月12日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

【本文】

昨夜半ヨリ雨午後 六時頃 ヨリ曇トナル
十一時出社々長ハ出社前家庭事務処ニ茅町男ト
武田、青木両氏ノ退職手宛ニ付協議セラル結局余
ノ提案ヨリハ双方五万圓減ノコトトナル上ヲ視ルト下ヲ
視ルノ相違致方ナシ奥村ニ關シテモ已ニ云フ可キ
コトハ云ヒ尽シタリ遺憾ト云フノ外ナシ
午後茅町男ヨリ前内相足立安達謙蔵氏ヨリ八聖殿
建築ニ付経費拾万圓ノ内壱万圓寄附仰キ度ト
親敷依頼アリ木村ニ話呉レタシト申置タリト電
話アリタ刻私宅迄全氏ノ書面ヲ送ラル
此日午後式時ヨリ前長崎兵器所長竹村氏及前崎
戸鉦業所長石渡金之丞氏ノ営葬アリ均シク香典
式拾円ヲ贈シ竹村氏ノ方ハ濱田彪氏ニ名刺ヲ托シ石渡
氏ノ四谷塩町笹寺ニ於ケル告別式ニハ親敷会葬ス
夜分本年度処得届ノ原案ヲ認ム

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月13日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

徳富蘇峰古希

祝賀会午後四時

帝国ホテル（發起人

承諾）請会費五円

【本文】

午後三時五十分島村鐵也氏来訪壽美面会

午後四時十分帝国ホテルニ於ケル徳富猪一郎（蘇峰）

古希祝賀会ニ臨ム会スル者約七八百人朝野ノ名士ヲ

網羅ス開式五時

一開会辞築田欽次郎、一壽詞與謝野晶子作歌

山本直忠作曲独唱平井壽奈子伴奏山本波江夫人

一祝詞會長伯牧野伸顕一記念品贈呈光永星郎

一祝辞犬養總理（代読健）一同伯清浦奎吾

一同村山龍平（代読）一同本山彦一（代読岡實）

一同三上参次一答辞徳富猪一郎

七時半開宴余ノ席ハ馬越大橋有賀氏ナト、同席高砂

ナリ余ノ隣ニ有島幾馬（？）画伯アリ兼 食事 終リ光永氏

演說中退席九時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月14日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

午前十一時出社堤、奥村松岡三氏退社ノ件ニ付話アリ
午後 前十 壱時半安達謙蔵氏来社八聖殿建築費援助
依頼ノ件ナリ詮議ノ上何分ノ返事ス可シト申置ク
奥村氏ノ辞表呈出ハ赤星氏ニ話シテ其意ヲ通シ堤氏ニ
ハ直接話シタルニ已ニ辞表呈出シアリトノコトナリ
武田青木両氏ノ退職ハ社長ヨリ話ス筈ナリ
松村亀太郎氏来社
午後四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月15日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

万葉聴講会

午後五時華族会館

延期

昭和七年度処得

申告書ヲ使ヲ以

テ四谷税務署ニ

呈出ス

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス冷凍会社ノ件ハ

武田氏ノ尽力ニ係ラズ圓滿ナル解決ヲ見ルニ至ラズ頗ル

遺憾ナリ」食後此件ニ付三宅川氏引見

午後大平城郎来リテ歸阪ノ旅費貸與ヲ依頼ス

金式拾圓ヲ贈與ス尚典夫電話ハ成行ニ促セ場合

ニヨリ架設願取消差支ナシト申置ク

今村正美氏来訪川村重一氏倅就職ノ件ナリ

松岡均平氏ニ參與ヲヤメ顧問名義トスルコトノ了解ヲ

得可ク話置ク

三時家庭事務処ニ茅町男爵ヲ訪ヒ昭和六年度合資

会社決算ニ付男爵ノ了解ヲ得併セテ奥村氏解傭

後ノ就職ニ付懇願スル処アリ男爵モ全情アリ全時

ニ南樺太シスカニパルフ工場建築目論見書田原提

出ノモノヲ渡サル四時半退出歸途調髪

五時半戸田マッサージ師来リ按摩九時義介来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月16日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老将会

幹事藤原銀次郎

請

1. 400

【本文】

朝十時中野正剛氏来訪出社ヲ急クヲ以テ明日会社
ニテ話ヲ聞クコトトス但一應ハ面会シタリ

十一時三菱銀行重役会ニ臨席午餐ヲ他ノ重役ト

共ニシ一時半出社

奥村政雄氏辞職勧告ノ件ニ付来リテ余ノ意見ヲ糺ス
能ク其趣意ヲ傳ヘ慰藉スル処アリ辞表ハ余ノ手許ニ
提出セシムル事トス

加藤恭平氏冷凍会社ノ件ニ付引見

午後貳時半信託会社ノ重役会ニ列ス

午後四時半新喜楽ニ赴キ老将会ニ列ス晚餐前

矢野、服部両氏ト対局矢野氏トハ一勝一敗服部氏

ニハ二敗九時二十分帰宅

島村秀雄ヨリ送金ニ対スル挨拶ノ手紙来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月17日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

十時半有賀長文氏来社
軍部ニ対スル三井新幹
部ノ意向ヲモタラシ来
ル従来団氏ト交渉理
解シ来リタルヨリハ著シ
ク軟派トナレリ其旨社
長理事会ニ報告シ
置ク

【本文】

今朝五時横浜警察署ヨリ本日午前二時頃本牧
小湊ノチャブヤ第二キヨホテル（讀賣夕刊ニヨル）ニテ小石川表
町三木村重雄（二三―讀賣二八トアリ）ト称スル者自殺シタル
ガ本人ハ自分妾ノ子ナリ ト自 称シテ昨年来（十二月十二日ヨリ約一ヶ月）
遊興シ居タル廉ニテ関係ノ有無問合セアリ壽美起出
テ、全然由縁ノナキ旨返事シ置ク小石川ノ表町三二ハ全
ク木村姓ノ居住者ナシトノコトナリ
十^〇時 半 出社々長室会議ニ列ス
南晴守治引見
茅町男ヨリ今日田中光顕伯来訪ノ趣意ハ飛行機献
納勧誘ノ為メナリト電話アリ」四時半退出歸宅
夜分八時按摩師戸田来ル全時ニ夕刻東京新聞
横浜支局長岡崎時久、東京通信社々長山崎抱雲
先項ノ件取糺シニ見ユ壽美ノ説明ヲ聞キ不慮ノ迷惑
ニ全情シ挨拶ヲ述ベテ歸ル

【欄外】

浅草区馬道町六ノ十酒井方有政豊八恩ニ感シテ自分
病氣見舞トシテ箱入生菓子ヲ持参ス貧者ノ一燈ナリ挨拶ノ手紙ヲ出ス

【日記の日付…昭和7年3月18日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

喜多又蔵氏追悼会

工業倶楽部

午後五時半 断

工業倶楽部

協議会正午 出席 ○

右協議会ニテ團氏ノ追

悼会ヲ来月五日トシ

井上氏ノ分ハ五月中旬ト

定メ準備スルコトトス

【本文】

朝十一時出社宮内次官關屋貞三郎氏来訪軍部ト接

觸ニ付注意セラル、処アリ（飛行機ノコトナト話ス）

大阪中谷庄之助氏来訪子息死去弔詞ニ対スル挨拶ノ為

メナリ本人ハ倉庫出入ノ者先年大震災ノトキ強羅沾見舞

ニ（谷本ノ為）見ヘタル仁ナリ

社長廿八日自邸ニ始メテ茅町御夫婦ヲ招カル、旨ヲ以テ吾等

夫婦合客トシテ案内アリタルモ若松出張ノ為御断リ致

シタリ

正午工業倶楽部ニ於ケル倶楽部専務理事及経

済聯盟常任委員ノ團氏ノ後任撰定協議会ニ臨席ス

集ル者郷、大橋、池田、土方、串田、中島ト余ノ七名外ニ膳

ト高島ノ両團体理事ナリ余ハ倶楽部ノ理事長ヲ強

イラレ郷氏ハ陳立ノ方法ニヨリ経済聯盟ノ会長ヲ考慮

スル事トナリ散会歸社

加藤商事常務ヨリ冷凍会社ノ件ニ關シ社長ニ陳情ノ報告ヲ

聴ク四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月19日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

荒木陸相案内

官邸午後六時半 請

壽美午後大森青木氏

邸ヲ訪フ

【本文】

午前十一時十分出社々々長室會議ニハ出席セズ製紙会社
ノ田原氏ヲ招キ製紙原料会社設立ニ關スル意見ヲ糺シ
同時ニ自個ノ考ヘヲ述ベ損益豫算書ノ誤リヲ指摘シテ
訂正ノ為メ之レヲ同氏ニ渡シ置ク此間奥村政雄氏ノ進
退ニ關シテ田原氏ノ後継者トシテ考慮ヲ促シ置ケリ
午後窪田阡米氏重体ノ電報ニ接シ憂慮ニ堪ヘ
ズ

末松偕一郎氏満州ニ赴ク為挨拶ニ来ル

午後貳時十分上野府美術館ニ赴キ美術院試作展覽会

及石井柏亭生誕五十年記念展ヲ觀池ノ端ヲ迂回シテ本郷

通りテ直断西巢鴨ニ母人ヲ省シ五時半歸宅

六時半陸相官邸ニ赴ク有賀長文氏已ニ在リ荒木陸相小

野寺經理局長ト四人食卓ヲ囲ンデ時局ヲ談ズ時局ノ

修収満州經營ニ關シテハ意見ノ間隔ヲ見ズ幸ナリ目下

満州新政府ヨリ申込ノ借款貳千万円ハ塩税ヲ擔保トス三年据

置五ヶ年払塩税ハ一ヶ年約貳千四百万圓内貳百八十万円ハ外債ノ

擔保ナリト云フ十一時廿分歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月20日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

終日風強ク速力一時二十メートルニ及ブ

終日外出ヲ見合ス（江口定条氏ヲ訪ネント思ヒシモ風邪引

籠ト聞キ見合セタリ

壽美夕刻深川盆景師宅ヲ訪ネタリ

夜九時按摩師戸田来ル

日本明道会ヨリ高知縣下各學校ニ勤王文庫寄贈資金

寄附ニ關スル報告挨拶来ル（六千四百四拾五円ノ内自分百円）

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月21日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

大祭日彼岸中日昨夕ヨリ風収マリ春日閑ナリ
后老時鮎川みよ子明日母子別府ニ歸省スルトテ子
供ヲツレ挨拶ニ来ル

午后老時半山本ヲツレ壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴ク途次
中渋谷猿樂二七旧堤清六氏邸ニ立寄全氏ガ本
藉処在地ニ遺シタル書画骨董ノ賣立ヲ見会主山田
商店主ニ托シテ数点ノ入札ヲナス
五時吉祥寺着巡覽約老時間七時半帰宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月22日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

橋本圭三郎氏依頼製
糸株五千圓引受ヲ承
諾ス

田原製紙会長及
塚越卯太郎来訪
シスカ工場建設ノ件
ナリ

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス冷凍倉庫株式引
受豫約ノ件ニ付再審議ヲ開始シ加藤商事常務ヲ
招キテ其意見ヲ聴取シ本件ヲ可決ス
一昨夜陸相ト会见ノ顛末ヲ報告シ置ク
ブートン真珠製養所組織改正ニ付従業員手宛
ニ關スル申立書ヲ預リ午後小川末吉 三（主任）ヲ招致シ
其意見ヲ聴取ス
午後一時明日ノ理事会ニ關シ膳工業俱樂部常任理事
来訪」土居貞弥氏来訪
五時退出歸宅
本日午後橋本圭三郎氏来訪平塚ニ 増 設並スル製糸 株 式五
千圓引受ノ依頼アリ承知ノ旨返答ス
壽美今夕久原清子ト約シテ明治座三勇士觀劇ニ赴ク
夜分典夫来ルアパート借りニ付保証人ノ件ナリ
原剛一氏留守中挨拶ニ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月23日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

〔予記〕

工業倶楽部理事会

正午、 請

松村亀太郎氏光村工

場本月分損益預算

表持参来社、

夜分奥村政雄氏来

訪辞表ヲ持参ス

【本文】

午前十一時出社全半家庭事務処ニ茅町男ヲ訪フ

田原氏已ニ在リ共ニパルプ工場建設ノ為南樺太木材払

下ノ件ニ付茅町男ニ説ク処アリ男容易ニ應ゼス熟慮

セラル、筈ナリ

フートン真珠養殖場従業員手宛ノ件ニ付船田理

事ヲ招キ意見ヲ傳フ」社長ヨリ退職者表賞ノ件

ニ沙汰アリ

正午工業倶楽部ニ赴キ理事会ニ列シ先ツ来月五日團男

追悼会順序ノ件ヲ議了シ更ニ有賀長文氏ヲ専務理事

ニ撰任シ次テ専務理事ノ互撰ヲ以テ余ヲ理事長ニ推

挙ス午餐後歸社

午後四時有賀長文氏来訪今朝三井ノ社員会ニ於テ金壺千

万圓ヲ時局ニ鑑ミ防空、恤兵、社会事業ノ為其筋ニ寄

附スルニ付協賛アリトノコトニ付追テ確答可致旨ヲ答ヘ直ニ家

庭事務処ニ茅町男ヲ訪ネ続テ鳥居坂ニ社長ヲ訪問シ協議

スル処アリ歸途池田成彬氏ヲ訪ヒ私見ヲ述ベテ真意ヲ糺ス

処アリ七時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月24日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

万葉聴講会

華族会館五時

「右欄外より」

⊕⊕

ヲ約シ更ニ鳥居坂ノ邸

ニ赴キ社長ニ之レヲ通シ

而シテ華族会館ニ

赴キ聴講会ニ列ス

六時ナリ出席者五名

秋山定輔氏ヨリ身上

ニ付注意アリ九時

歸宅

昨夕刻時車ニ森、

星子ノ両人社長及

余ヲネラヒタル旨明記

セラル、

【本文】

朝七時起床八時茅町ヨリ電話来リ池田成彬氏ト会
見ノ模様ヲ聞カル依テ出勤ノ途次家庭事務処ニテ
詳細ヲ尽ス可キ旨ヲ返事シ九時四十五分家庭事務
処ヲ訪ヒ満蒙新国家ノ国債貳千万圓引受ノ件ニ
付意見ヲ交換シタル旨ヲ告ゲ尚男ノ意向ヲ尋ネ
テ出社々長室會議ニ於テ本件ヲ協議ス各会員
ノ意見ハ三井ノ為サントスル單純ナル巨額ノ寄付ハ返テ
井上日召ヲ神ニスルノ結果ヲ来シ第二第三ノ小沼菱沼
ノ簇出ヲ招ク愚案ナリト認メ寧ロ進ンテ危険性
ノ多キ満州国債ヲ引受ケ其条件ヲ全然陸相ニ委
任シ満蒙政府ニ対スル政策ノ援助ヲナスニ如スト決シ

社長ト共ニ茅町男ヲ訪ヒ其全意ヲ得午後三井合名

ニ有賀氏ヲ訪ヒ其主張ヲ明カニシ三井ノ反省ヲ促ス有

賀氏之レヲ了シ再議ノ上明朝返事ノコトトナル歸途之レヲ

茅町ニ報告シ午後五時更ニ鳥居坂ノ邸ニ赴キ親敷△「右欄外へ」

【欄外】

「右欄外」

△之レヲ報告ス折柄有賀氏ヨリ電話アリ手近ニ付全氏ノ自邸ヲ訪フ有賀氏ヨリ

再評議ノ結果ハ全然当方ノ主張ニ全意トノコトナリ仍テ明日相携ヘテ陸相ノ訪問ヲΦ

Φ「予記闕へ」

「上欄外」

堤氏邸入札落札ノ点数四、名越唐犬釜（三十八円）道八狸手炉（二十八円）西王母及

唐児小屏風一双（八十八円）良信八島合戦二枚折半双（四十円）山田商店ヨリ持参

「左欄外」

フートン真珠養殖従業者過去ノ褒

賞ヲ決定ス

【日記の日付…昭和7年3月25日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

癩豫防協会評議員

会内相官邸午後三時 断

やまと新聞社山内確三郎氏

案内團男爵追悼会

帝国ホテル午後五時半 断

国立公園協会

役員会及晩餐会

學士会館午後五時 断

【本文】

午前十時四十五分家庭事務処ニ立寄茅町男爵

ニ面会三井ハ全然当方ノ処見ニ全意シタル旨ヲ報告シ
テ出社々長室會議ニ列席社規ノ一部之改正ヲ是

認シ三井全意ノ件ニ付諸般ノ打合セヲナス

午後一時臨時理事会ヲ召集シ昨日三井ノ提案ニ対スル

当方ノ処見ヲ三井ノ有賀氏ニ通シタル引続キトシテ三井

ハ全然当方ノ処見ニ全意シタル旨ヲ通ジ三井ノ提案ニ

対シテ批評ヲ為サ、ル様注意スル処アリ

午後貳時有賀氏来訪荒木陸相訪問ニ付打合ス

午後四時有賀氏ト前後シテ荒木陸相ヲ官邸ニ訪フ其要

領ハ第一、軍部ハ滿蒙新政府ノ国債ニ應募ヲ冀望

スルヤ、第二、軍部ト同シク政府全体ニ於テ之レヲ冀望セラ

ル、ヤ、第三、政府之レヲ冀望セラル、ナラバ何等ノ形式ニ於テ

其意志ヲ吾々ニ 表 示セラル可キヤ、 第四、 其意志ヲ表示セラル

ハナレバ吾々ハ滿蒙ニ新国家ヲ樹立スル政府ノ採ル国是

ヲ 應 援助スルノ意味ニ於テ全然無条件ヲ以テ其引受ヲナスノ用意アル旨ヲ述べ
陸相ハ其厚意ヲ謝シ目下新政府ノ支払窮迫ノ際政府ハ喜ンテ其厚意ヲ納ル可キト◎

【欄外】

「上」

◎考フルモ尚政府当局ト協議ヲ遂ケ何分ノ挨拶ヲナス可シトノコトニテ
五時半辞去歸途其旨ヲ社長ニ報告シ置ク

【日記の日付…昭和7年3月26日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

修養団渋谷子爵

追悼会日本青年会館

午後六時 断

全日本方面委員聯

盟会飛鳥山渋谷

子爵邸午前十時ヨリ

副会長大久保侯

及林市蔵 断

【本文】

朝十時半家庭事務ニ茅町男爵ヲ訪ヒ陸相訪問
ノ顛末ヲ報告シテ出社々長室会議ニ於テ全様ノ報告
ヲナシ留守中呼出シアレバ串田氏代リテ有賀氏ト全行スル
事トス

午後青木氏ヲ招キ解職ノ手續キハ留守中ニ行ハル可
キ旨ヲ豫告シ挨拶ヲ交換ス

国司浩介ヨリ面会申来リタルモ旅立先ニ付断ル

午後四時退出歸宅

全九時四十五分各等急行ニテ壽美ト共ニ小林ヲ随ヘ

西下ス正服巡查六名停車場ニテ余ヲ掩護シ警

戒厳重ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月27日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

〔予記〕

修養団支部長、聯合
会長会晩餐会
後援会委員長
森村男爵案内
工業倶楽部午後六時
断

第三回

洞天会午後一時ヨリ

星岡茶寮 断 廿二日

【本文】

拾時十五分頃神戸驛着正彦夫婦ニ迎ヘラレ全
人長田ノ宅ニ入ル庭園ノ掃除行届キ居リ愉快ナリ終
日園内ヲ散策ス
天気次第ニ曇リ夕景ヨリ夜ニ入リテ雨トナル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月28日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨夕晴

〔予記〕

北海道倶楽部衆議院
議員当撰祝賀会
レインボー、グリル午後五時
会費五円、断

【本文】

夜来ノ雨ニテ午前中外出スルヲ得ス午後小降リトナル
式時小林ヲツレ三ノ宮支店ニ赴キ相川商事支店長
ニ面会シテ下ノ關旅宿ニ關シ門司支店ト電話打
合セヲ依頼ス全時栗田神戸銀行支店長桑山山三
宮銀行支店長田中倉庫支店長 保険支店
長ヲ引見
途次西常盤ニ立寄り来■卅 一日歸神ノ際ノ宿泊
ノ打合セヲナシ四時半長田ニ歸宿
午後十時三十五分ノ富士ニテ壽美全道西下正彦赤
坂相川支店長神戸驛ニ見送ラル
壽美ハ午後三時過ヨリ晚餐前迄曾根氏ノ宅ヲ
訪問セリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月29日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

若松築港重役会
午前十一時 請

【本文】

朝七時起床三田尻ノ山ニハ雪白ク積モレリ八時三十五分
下ノ關着伊東彦島造船処長増田商事支店長以下ノ
出迎ヲ受ケ下車直ニ壽美全道会社ノ小蒸汽船ニテ門
司ニ渡ル全車ノ福田大将ヲ誘フテ共ニ渡ル今朝来北西ノ
風強ク關門ノ往来殆ント杜絶セントシタリシモ幸ニ少シクナ
ギタリ壽美ハ門司十時発ノ急行ニテ別府ニ赴キ余
ハ自動車ニテ増田氏ト共ニ若松ニ赴ク着暫時休息
此間井上貞子ト電話ニテ壽美別府訪問ノコトヲ話シ置
ク

十一時築港重役会ニ臨ミ七分ノ配当其他ヲ議了シ三時
若松支店ニカヘリ井上達五郎氏ニ面会貞子養女ト共ニ
明日別府訪問ノ筈ト聞ク
四時門司着ノ汽車ニテ歸来海峡ヲ渡リテ春帆楼ニ入
ル伊東氏外三子ト晚餐ヲ共ニス大吉ノ女将来リテ
周旋ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月30日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

床次鍔相案内

午餐 断

帝国ホテル

【本文】

昨夜風ソフゾヲシク夢圓カナラズ

十時頃増田商事支店長 倉庫支店長次テ伊

東造船処長（彦島）来リ午餐ヲ共ニス伊東氏トハ夕刻

辻囲基増田、 両氏ハ食後辞去

獨リ夕飯ヲトル大吉ノ女主人娘藝者ヲツレ来ル女将ニ三

拾円、春帆楼ヘノ茶代五拾圓女中ニ拾円風呂番ニ一円

ヲ祝儀トス

伊東、増田、 、大吉、春帆楼両女将ニ送ラレ后八時三

十五分ノ富士ニテ発車ス

午餐ノ節東京本社三好氏ヨリ電報アリ「例ノ件ニ付

社長御相談アリタキコトアリ至急歸京待ツト」ト依テ

電話シテ三好氏ヲ呼び出シ其理由ヲ糺シ明後朝着ノ

汽車ニテ歸京スル可ク申送ル」手紙ニテ其趣壽美ニ申

送ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年3月31日（木）】

【予記 等】

晴

【本文】

午前六時五十五分神戸驛ニ着ク正彦夫婦赤坂、島村
秀雄相川加藤ノ両商事支店正副長ニ出迎ヘラレ秀雄全
乗西店ニ入ル小林ハ直ニ長田ニ赴キ移植ノ用意ヲナサシム
秀雄ト対談刻余朝餐後暫時就眠昨夜睡眠
ノ足ラザルヲ補フ午餐後一切ノ支払ヲ了シ三時半長
田別邸ニ入ル小林ハ植辰ノ職人ヲ指図シテ松五本ヲ
移植ス
六時頃正彦歸宅正彦ニ新築家屋ニ対スル財産取得
税宛ニ四百四拾円、千代子ニ山ツヽジ百株代并ニ植木職人
費トシテ母ニ手渡シノ為百円ヲ渡シ置ク外ニ與一二拾円
赤坂ノ母ニ五圓、植木職人酒手五円ヲ渡ス
午後八時八分各等急行ニテ小林ヲツレ神戸驛ヲ発車ス
見送人、正彦夫婦赤坂、堀元夫、楠瀬康雄夫婦保陰
支店長、徳大寺造船所長 安西氏 等ナリ相川氏ハ三ノ宮驛ニ
見ユ一等乗客纔三人静閑ニテ能ク熟睡ス三等ハ増結三
台ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月1日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

植松京氏十年祭案内
東京会館午後五時
夫婦案内
旅行ノ為断、但供物
ヲ為ス筈、

⊙⊙

思ハルニ付寧口軍器ノ
製造費トシテ寄附セラ
ル、ヲ望如キ口供ニ付余
ハ其点ニ付寄附ノ名
義ヲ嫌フ所以ヲ内
外（一ハ 余 師團以上ノ役業
員ノヲモワク、二ハ第二
第三ノ小沼菱沼ヲ奨励
スル所以）ニ亘リテ説明
小野寺釋然其意
ヲ了シ返テ慚愧
至リナリトテ自個ノ内情ヲ吐露シタリ」

【本文】

朝八時半新橋驛着下車小林ヲ伴ヒタキシ一ヲ傭
フテ歸宅ス電話ノ聞達ニテ直田、長則ノ兩人ハ品川驛迄
小堀ト共ニ出迎ヘタリ
十時出社串田氏ヨリ有賀氏ト共ニ小野寺經理局長ニ
面会ノ經過ヲ聞キ社長ニ面会既定ノ方針ニテ進ムコトヲ
打合せス折柄小野寺經理局長ヨリ午後四時会见ノ申込
アリ依テ三井ノ有賀氏ヲ招キ昨日陸相ト会见ノ模
様ヲ聴取シ飽迄モ既定ノ方針ニ拠ルコトニ同意セシメ其
旨ヲ社長及茅町男爵ニ傳ヘ置ク
武田青木ノ両管事本日ヲ以テ退職ス堤松岡ノ両氏モ

辞職セリ」新日露漁業ノ重役撰定ニ付三宅川氏ニ注意スル処アリ
午後四時前後シテ有賀氏ト共ニ陸相ヲ官邸ニ訪フ陸相六
時迄急ニ差支起リタリトテ其無*非*札ヲ謝シ小野寺氏代リテ
應接余ハ單ニ留守中政府ノ意向ヲ聞クニ止マルト思ヒシ
ニ少シク意外ナリ陸相ハ果シテ政府ノ意向ヲ糺シタリヤ
否ヤトツメヨレバ小野寺ハ陸相ハ未タ政府ノ意志ヲ確
メザル可シ陸相ヘノ御申込ハ打算的ニ聞エ豫期ノ效果ヲ挙げ難ク〇〇

【欄外】

「右欄外」

小野寺ハ單純先日申出通りニ進ム可ク陸相ニ進言スルコトトナル

「上欄外」

八日ノ豫算會議アリ一応陸軍ノ豫算ヲトリ其上当方申出ノ額ヲ
軍器其他ニ流用セント企テタルナリ

【日記の日付…昭和7年4月4日（土月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

四日

午後式時蔵相

官邸会合

【本文】

十時出社十時半ヨリ社長室ニテ社長、串田氏ト昇
坐向社直接満州国借款ノ当事者タルカ又ハ満鐵
若クハ鮮銀ノ如キ第三者ヲ介スルカニ付協議ヲコラシ
結局三井側ノ意見モ斟酌シ其取極メハ大蔵大
臣之裁量ニ一任スルコトトシ午后式時有賀氏ト打
連レ蔵相官邸ニテ森書記官長立合ノ上蔵相
ニ一任ノコトトシ両社代表及蔵相署名ノ覚書ヲ
作製シ各自一通ヲ保有スルコトトス蔵相ハ多分
金融機關タル鮮銀經由ノコトトス可シ
三時二十分歸社四時十五分退出歸宅
悼窪田氏

逝く友の心残りを思ひ寝の枕につとふ

夜半の春風

雨？

【欄外】

誤リテ*二日ヲ*四日ノ処ニ記入ス（依テ此ページー八月曜四日ニ代ル）

【日記の日付…昭和7年4月3日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東方

書道会創立会

午後二時、麴町八丁目全

全事務処 断

【本文】

本日ハ神武天皇祭ニ加フルニ日曜日昨日ヨリノ東風ニ

暖気遽ニ加ハリ櫻ノ荅ハフクレ出シタリ

朝十時壽美神戸ヨリ電話ニテ来ル七日犬*（戌）*ノ日ニ付

千代子ノ五月帯ヲ済マセ其晩夜行ニテ歸京シ

タシトノ事ニ付承知返答ス

全時半鳥居坂ノ邸ニ社長ヲ訪ヒ昨夕蔵相邸ノ

模様ヲ話シ貸付ノ手續ニ付テハ明日協議ヲ重ヌ

ルコトトス

午後一時吉祥寺ニ赴ク古川陪乗別邸ニ垂櫻ハ蕾

ヲ破リツヽアリ園内ヲ散策六時ヲ過キテ歸宅ノ途

ニ就ク

夜分調髪

悼窪田阡米君

志なかはもとげで逝く人*友*の心根偲びわれは
なくなり

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月~~4~~2日（卅土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

小松傳一郎氏窪田氏
死去ノ件ニ付来訪、

四時半歸宅スレハ蔵
相官邸ヨリ直ニ面会
シタシト電話アリ之レニ
赴ク有賀氏次テ来ル
森書記官長座ニア
リ貸與ノ手續ヲ打
合ス兩社直接貸
主トナルカ又ハ満鐵
鮮銀ノ如キ機關
ヲ介スルカ四日ノ会合
迄ニ決定ノコトトス」

【本文】

春暖遽ニ到ル朝八時小野寺経理局長ヨリ面会
ノ場処時刻指定アリタシト申来ル依テ午前十一時
陸相官邸ニ罷出ツ可キ旨返事シ十時出社昨日
四時小野寺氏ト会見ノ模様ヲ武田氏ニ話シテ社長
ヘノ傳言ヲ依頼シ将サニ陸相官邸ニ赴カントスルトキ
社長ニ会合其大要ヲ話シテ陸相官邸ニ赴ク小野
寺氏ノ話シハ昨日御話ノ模様ヲ陸相ニ傳ヘタルニ陸
相全然同意ナリ此上ハ寧ロ貴方ヨリ直接大蔵
大臣ニ御申込アリ度当方仲介ハ却テ当方ノ功ヲテラフ
ノ嫌アリトノコトニ付一應有賀氏ト共ニ会社ニ引取り高
橋蔵相ノ都合ヲ聞合セ直ニ二人打連レ官邸ニ赴キ
前日来ノ趣意ヲ話ス蔵相喜ンテ奉公ノ誠意ヲ
認メ閣議ヲ経テ依頼ノ手續ヲ採ル可シトノコトナリ返リテ
之レヲ社長ニ報告シ午後理事會ニ其顛末ヲ知ラセ

置ク

膳工業倶楽部常任理事来訪

【欄外】

「右欄外」

窪田阡休氏遂ニ立タズ「終世ノ恨事御全情ノ意ヲ令聞ニ傳ヘラレタシト電報ス

「上欄外」

櫻組案内

正午断

【日記の日付…昭和7年4月5日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

團氏追悼会

工業倶楽部午後

五時開会 請

大日本国防義会

帝国鐵道協會

午後六時樺山愛輔

氏講演

会費壹円五十錢 断

【本文】

十時五十分出社々長室會議会ニ於テ昨日藏相官邸ニ於テ作製シタル覚書ヲ提出シテ説明スル処アリ午後三時臨時理事会ヲ開催シテ全件ニ關スル説明ヲナス

午後四時半工業倶楽部ニ赴キ團男爵ノ追悼会

ニ臨ム会ノ順序左ノ如シ

一開会ノ辞、郷男、一弔辞 自分

一團伊能（嗣子）氏ノ挨拶

一團男葬儀活動写真、

式終リテ晚餐会ニ移ル会衆約四百名座長郷男爵ノ挨拶二次キ指名ニテ金子子爵、山本農相櫻内前商相及串田万蔵氏ノ追懷談アリ九時半退散團家ノ遺族嗣子伊能氏牧田、小倉、三夫婦及金子子爵親族ヲ代表シテ出席セラル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月6日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

朝十時半中野正剛氏来訪次テ團伊能氏ノ答
札訪問アリ

十二時出社

午後奥村正雄氏歸京来訪全氏本日退職ス

午后茅町男ヲ家庭事務処ニ訪ヒ蔵相ノ間ニ取

カハシタル覚書ヲ呈示シ置ク

四時半退出池ノ端ニ立寄ル雨降り来ル晚餐ヲ共

ニシ対局九時歸宅

留守中新任神楽坂警察署長警視橋高廣氏

先任者西中間末太郎氏ト共ニ挨拶ニ来ル

箱根ヨリ牧太郎妻直来ル別荘経費并式、三

月分全人夫婦給料トシテ百五拾五円ヲ手渡ス内三

拾円ハ台処渡ヨリ借受ケタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月7日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

【本文】

朝十一時出社途次英国大使館及宮城ノ櫻ハ已ニ
四分通り開花シタルニ驚ク帝都ニ於ケル花ノ満開ハ
次ノ日曜頃ナル可シ社長室會議ニ列ス格段ノ議事
ナシ

松岡均平氏引見満州国問題ニ關スル詳細ヲ話シ
置ク

三宅川商事会長、赤星理事引見

江口定条氏満鐵副總裁ヲ免職セラレタルノ報ヲ聞ク
午後四時半退出一寸共楽俱樂部ニ立寄ル見ルニ足
ル者ナシ歸途江口氏邸ヲ訪ヒ全氏ニ面会慰問ス

今朝八時第二回工學大会出席ノ為正彦神戸ヨリ出京
夜九時二十分寿美明朝九時歸京ノ電報来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月8日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

八日会午後六時、
池田郷両氏幹事
山口、請

河西豊太郎氏約束午
后弐時

日仏会館仏語トーキー
案内午後三時

【本文】

朝九時二十分壽美神戸ヨリ歸来正彦ハ母ニ面
会直ニ發明品博覧会戎ノ試験所ニ見學ノ為赴キ
タリ

午前十一時出社々長欠勤

午後二時河西豊太郎氏安達謙蔵氏ノ為八聖

殿寄附金ノ催促ニ来ル道落援助ハ乗氣ニナレ

ズツイソノ俣ニ致シ置キタリト「ユヤ」シタリ

午後四時歸宅和服ニ更メ六時山口ニ赴キ八日会ニ臨ム

大橋藤山ノ両氏欠席来賓ハ芳澤外相ナリ食後

外交并ニ時局ヲ談シ十一時半ニ至リテ退散ス

御濠測＊端＊柳

しとゝふる雨に色そふ青柳の枝たれ＊垂＊に宿る
春の夕暮

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月9日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

十一時出社々長室会議にて八聖殿建築費壹万
円寄附ノ件ヲ議決ス
午後三時退出歸宅

桜咲く木内山の朝＊春 霞のどかきも聞く ＊衛士 エジ の歩みものどか＊
鶯の声

＊にぞ見ゆ＊

霞む大内山の花盛り衛士＊エジ＊の歩みものとか
にぞ見ゆ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月10日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

昨日来風強ク吹ク午後次第ニ静マリタリ

午前十一時牛場老婦人若婦人ト共ニ見ユ全時ニ

久原夫人モ見ヘタリ

午後一時壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴ク枝垂及吉野

櫻ハ満開ナリ本日各所ノ花見ニヲシ出ス都人ハ

無量数十万ナル可シト思フ正彦ハ今朝早クヨリ桐

島ノ児ト共ニゴルフニ赴キタリ

末廣恭二氏死去ノ報ニ接ス急性肺炎ノ為メナ
リ

六時十分前吉祥寺ヨリ歸ル正彦ハ七時半ノ汽

車ニテ歸西壽美東京驛ニ見送ル

松か枝に群れ来て遊ぶ尾長鳥花の

盛りをよそに見なして（吉祥寺実景）

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月11日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

大隅公国民敬慕会

日比谷公会堂

午後五時 断

弔民坂本志魯雄氏

一周忌追悼会

丸ノ内中央亭本店

午後四時

会費四円、断

【本文】

昨夜尼野雀之助長女つた子来ル父ノ窮境援
助ヲ口實トシテ自家（ニテ経営中ノ病院）

ノ負債ニ対スル救助ヲ求メンガ為ナリ壽美ヨリ其

顛末ヲ聴取シ今朝出社ニ先チ当人ヲ引見シ

其懇請ニ應スル能ハザル理由ヲ説明シ旅費トシ

テ金百圓ヲ與フ

十一時出社末廣氏方ニ香典貳拾圓ヲ贈ル

午後三宅川及■＊能＊見ノ両氏引見三宅川氏ヨリ江口

氏負債高尚貳拾五萬圓ニ上ルコトヲ聞ク

午後四時半退出歸宅輝かしき朝に引カヘテ

又花曇リトナレリ

風吹かは花や散りなむ春の野にひめ

もす遊べ心ゆくまで

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月12日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

朝十一時末廣恭二博士ノ青山齊條ニ於ケル告別式
ニ臨ミテ出社々長室会議ニ列席ス
会後社長ヨリ航空会社改革ノ話アリ余ハ会長ヲ存シ
常務ヲ罷免スルノ不可ヲ説キ止ムヲ得サレバ双方ヲ免
シ電機ノ大内ヲシテ之レニ当ラシメ電機常務ノ代リヲ考
慮スルヲ穩当ト認メテ建策ス社長之レヲ承了シ武田
君ト協議其意見ヲ聴クコトトス
午後四時半退出築地ノ会合ニ臨ミ九時歸宅

四月十三日

四月五日及七日ノ臨時總會ニ於テ日本酒造会社解散清算
撰任ノ通知壽美宛ニ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月13日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴少雨

〔予記〕

布哇全米海外貿易会議

出席代表諸氏送別会 請

後藤新平伯四周年

追悼会

午後五時半

市政館内東洋軒 断

調停委員有志

懇親会四時半

上野精養軒

会費拾円、断

欠席ノ場合

記念品代五円

【本文】

朝十時網屋ノ手代野田喜代重来ル肥前忠吉ノ陣刀
及飛騨守氏房ノ二刀ノ砥礪ヲ依頼ス忠吉ハ二代赤
銅造リニテ旧島原藩主ノ佩刀ナリ長崎在勤中購
ヒタル者現今中身已ニテ参百五拾圓ノ價值アリト云
フ造リヲ加フレバ五百圓ヲ出ズ可シ氏房ハ濃州關若
狭守氏房ノ門尾州住天正文祿間ノ刀工上作ノ下ニ入ル
モノ長サ式尺三寸正彦ノ勲軍刀ニ仕込ム為メ研キニ遣
ハスモノナリ
十一時十分出社航空機会社改革ノ件ニ付青木武田ノ両氏
ト打合ス処アリ
午後一時膳工業倶楽部理事来社、同三時内藤久寛
氏来訪
午後四時高柳、矢島、渋谷（正雄）瀬古、野村ノ五氏布哇ニ
於ケル全米＊海外＊貿易会議列席ノ為出張スルニ付送別ノ茶

会ニ臨ム主催經濟聯盟會長郷男爵ノ挨拶ニ次テ瀬古
氏ノ答辭稻畑大阪商工会議所長及永井外務次官ノ演説アリ
五時半退出

【欄外】

〔右欄外〕

京橋区木挽町一丁目四番地網屋小倉惣右衛門

〔上欄外〕

午後四時茶話会工業俱樂部 請

【日記の日付…昭和7年4月14日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

〔予記〕

老将会 午後四時
幹事三宅川百太郎 請

【本文】

朝十時立原芳彦夫婦来訪島津電池就職
ノ件ヲ付相談アリ入社可然旨返事ナ
南十時二十分出社航空全社幹部更迭ノ件ヲ付
武田氏帶南社長ヲ意圖話シ置キ
朝十時大利徳馬來訪引見中須賀地処賣却
手数料ノ件ニ付陳謝將來ヲ注意シ尚大平城郎
宛典夫戸籍謄本發送ノ件ヲ申聞ケタリ
十一時出社々長室會議ニ列ス
午後貳時松村亀太郎氏来社引見
四時二十分退出新喜樂ニ於ケル老将会ニ臨ム手
合セ小田切、矢野、児玉ノ三氏児玉氏トハ四番打分ケ他
ハ敗軍而シ小メトノ囲碁ニハ二目ノ勝ナリ九時退
出歸宅直ニ歌舞伎座觀劇ノ壽美ノ為自動
車ヲ廻ス觀劇ハ亀山宗月誘引壽美蔵ノ為メノ
催ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月15日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

井上準之助氏追悼
会準備委員会
午後三時 請

【本文】

朝十時立原芳彦夫婦来訪島津電池ニ就職
ノ可否相談ノ為メナリ入社可然旨注意ス
同十一時二十分出社航空会社幹部更迭ノ件ニ付
武田氏帯同社長ニ意向ヲ具申シ置ク
午後大川日当ナルモノヨリ電話ニテ面会ヲ求メ来ル用向
ヲ答ヘハ面会ノ上トノコトニ付断ル
午後三時工業倶楽ニ於ケル故井上氏追悼準備委
員会ニ列席日取ト順序ヲ決ス政黨員トシテハ
俵孫一、森恪ノ両氏加ハリ居レリ
夜分奥村政雄氏来訪今回退職ノ挨拶ヲ兼ネ年
来引立ノ謝恩ノ為メ同氏ノ援助ノ許ニ成功シタル横
江嘉純氏ヲシテ余ノ胸像ヲ作ラシメントノコトナリ余ハ
其好意ヲ嘉納シ同氏紹介ノ場合横江氏ニ面会ヲ
約ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月16日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴少雨晴

〔予記〕

満興会

工業倶楽部

午後六時半 断

【本文】

雨ノ為メ到底強羅行見合ノ外ナシト思ヒシモ十時頃ヨリ晴天トナレリ十一時出社々長室会議ニ列ス

午後三時半熱海行急行ニテ壽美ト共ニ箱根ニ向フ

一時花曇少シク降りタルモ途中ヨリ晴渡レリ小田原

ヨリ湯本迄新道殆ント落成垣砥ノ如シ強羅迄ハ

山桜ノ外吉野ハ満開ニテ宮ノ下附近別シテ奇麗ナ

リ六時強羅ノ別邸ニ入ル久振ニテ快感ヲソヘル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月17日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

武蔵野高等学校

十周年記念式

午前十時 断

【本文】

近來稀レナル好天氣春光温和登山ノ甲斐アリタリ

春鶯オチコチニ啼キ極樂ノ思ヒアリ

鶯にとりかこまれて花の山

午後道了下迄登山只山櫻ノ期ノ至ラザルヲ憾ム

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月18日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

服部金太郎氏案内
新喜楽五時半 請

【本文】

午前七時五十八分ノ電車ニテ壽美ト共ニ春ヲツレ下山今
朝ハ昨日ト異ナリ雨模様ニテ冷氣ヲ覺ユ湯本ヨリ自
動車ニヨリタルヲ以テ九時小原発ノ準急行ニマニアヒ十
時半中央駅着直ニ出社
午前十一時武田氏ト共ニ社長ニ面会航空会社幹部
更迭ノ順序ヲ定メ午後舟越会長ヲ招キテ其趣意
ヲ通ス会長驚愕ノ色アリ
午後三時村松亀太郎氏来訪四時歸宅
全五時半新喜楽ニ赴キ服部金太郎氏ノ招宴ニ臨ム
主賓芳沢外相永井、
松島武富、
各局長相客ハ主トシテ老将会ノ連中
ナリ十時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月19日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

〔予記〕

若松築港総会 断

全産聯合会常任

委員会午前十時、

全、内務大臣外招待会

午後六時 請

觀櫻御宴

招待

【本文】

午前十時半工業俱樂部ニ赴キ全國産業聯合常

任委員会ニ臨ミ今夕内務大臣外三名ノ招宴ニ關シ

談合ノ順序ヲ決ス

全処ニテ午餐直ニ新宿御苑ニ於ケル觀桜御宴ニ

陪ス 両陛下ハ弍時半宮城御出門三時御臨場アリ

閑院、叔父高松ノ三親王ハ見当ラズ御召ニヨリ参入ノ者

約九千人余ハ四番ノ群ナリ壽美ハ今回ハ拝辞シタ

リ普現櫻ハ例年ヨリ遅レ三步開ナリ三時半還

幸啓四時歸宅

午後六時工業俱樂部ニ於ケル鈴木新内相 新

警保局長大野新警視總監、丹羽新社会局長官

待招ノ宴ニ臨ミ食後労働爭議問題ニ付意見ノ交

換ヲナシ九時退散集エルモノ東部中部関西ノ常

任委員連約式十四五名ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月20日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

〔予記〕

三勇士銅像建設ニ賛
成ス發起人ハ近衛
一条両公外貴族院
連金杉英五郎主張
ノ如シ

【本文】

午前十一時銀行本店ニ赴キ重役会ニ列シ会后午餐
ヲ共ニス

午後一時半奥村政雄氏紹介ノ彫刻師横江嘉純
氏（市外下目黒九番地）ニ面会来ル金曜日十時自
宅来訪ヲ約ス

歩兵第十四旅團長服部兵次郎氏旭川赴任ノ途次
来訪就職轉換依頼ノ為メナリ

永井外務次官ノ紹介ニテ日本外事協会主事（
稲原勝治（大手ビル第一二―五―三室）氏引見年四回発
行ノコンテンポラリー、ジャパン梓行ニ付余ニ顧問依頼
ノ為メナリ経費ハ外務省情報部ヨリ給與セラル、ニ付
少シモ迷惑ヲカケズトノコトナリ他ニ政界財界ノ名士皆
承諾済トノコトニ付承知シ置ク

四時半退出丸ビルニ立寄り池ノ端ニ赴ク豪雨来ル九時
歸宅壽美ハ久原夫人ト全道明治座ノ觀劇ニ赴キタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月21日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東＊京＊海上保険總會

午前十一時 欠席

【本文】

午前十時半出社々長室會議開催ニ先チ社長ヨ

リ商事会社幹部整理ノ件ニ付協議アリ結局

六月一日ヲ以テ高橋常務ヲ退職セムルコトトシ其旨ヲ

三宅川会長ニ通ス航空会社ハ舟越会長ヨリノ申出モ

アリ先ツ来月初旬ニ舟越会長ヲ退職セシメ而シテ

六月總會後ニ渋谷ヲ更迭スルコトトス

右ノ協議ノ為メ東京海上ノ總會ハ無断欠席串田

氏ハ之レニ臨ミタリ

富田幸二郎氏午後貳時來訪自然寮主

氏經營基金壹万七千圓ニ募集ノ件ニ付了解ヲ求

ムル為メナリ三井ニハ田村鐵次氏三菱ニハ渡辺清松氏ニ話

置キタリトノコトナリ

三谷鉦業会長ヨリ炭鉦整理ノ報告ヲ聞ク九州表ハ

鯨田、上山田、唐津、飯塚、高島等人員半減出炭ハ

三分ノ一減為メニ個人ノ收入上リタリ崎戸坑外積込設備

ハ驚歎ニ値ス」四時過野依秀市氏來訪歸リカケニ付面會

セズ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月22日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

郵船重役会

午後貳時

大日本国防義会講

演会 午後六時

生保協会 断

【本文】

朝十時彫像家横江嘉純氏来訪約壹時間弱余
ノ顔面ヲ石膏ニ写ス

同十一時十五分出社理事会ハ休会

社長ヨリ舟越、三宅川、加藤恭平氏へ話ノ模様ヲ聞ク

午後一時舟越氏ニ向テ来月上旬退職ノ件ヲ申渡シ

引続キ渋谷氏退職ノ期日ニ付相談ス

午後貳時郵船会社ノ重役会ニ臨席三時退出

今朝網屋ノ手代野田喜代重研上ノ氏房ノ長刀（身長

二尺三寸九分）ヲ持参ス（研料拾七円未払）依テ本日歸宅

ノ途次士官學校前豊田屋ニ立寄り正彦ノ為メニ軍刀

ノ製作ヲ依頼シ此中~~中~~*レ*ヲ渡シ置ク五月三日出来ノ筈

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月23日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

拓殖大学新校落成式

午前十時

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス

午後貳時東京美術俱樂部ニ赴キ井上子爵家及某

家ノ賣立ヲ觀ル赤星陸治氏全道賣立テハ井上子爵

家トアルモ池田家ノ品物多ク交リ居レリ余ハ主トシテ刀

劔ノ陳列ヲ見ンガ為メナリ余ニ追從シ来リタル川辺牧寺

ノ兩人ニ造リノヨキモノ三点斗注文シ置ク

四時半歸宅壽美全伴吉祥寺ニ赴ク染井吉野ハ已

ニ散リカヽリタル山吹満開芝生青々トシテ心地ヨシ山櫻ハ

見頃ナリ宿泊ス

【欄外】

【日記の日付：昭和7年4月24日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

聖堂地鎮祭
午前十時半

【本文】

降雨終日止マス書齋ニ閉籠レリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月25日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

〔予記〕

横江氏来ル

武田、青木外三名
送別会

工業倶楽部内
経済研究会講演
茶話会午後四時廿分 断

経済聯盟総会
午前十一時并会員
午餐会○時半、
総理外、大、商、相
招待

【本文】

朝十時吉祥寺ヨリ歸宅横江氏来訪モデルトナル十一時
十分出社

午後○時半工業倶楽部ニ赴キ日本経済聯盟総会後
ノ懇親会ニ列ス席上犬養首相高橋蔵相前田商相及
芳沢外相出席会長郷男ノ挨拶二次テ首相蔵相及外
相ノ演説アリ式時半歸社

五時山口ニ赴キ武田、青木、堤、松岡、奥村五氏ノ退職送別
ノ宴ニ列シ衆二代リテ挨拶ヲ述ブ会社ノ重役各務、松田両
氏ノ外全部出席十時帰宅

東京美術倶楽部落札品ヲ■*牧*寺三樹持参

一拵付大小老振 代百五拾九圓

大 因幡住兼光、小 近江大掾藤原忠廣、

一拵付出羽守行廣 大刀 代百五拾九圓

一銀拵蝶彫梨子地鞘 短刀 代貳百拾九圓

中心無銘

【欄外】

金子直吉氏来訪、

【日記の日付…昭和7年4月26日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

一午後三宅川商事会長
ヨリ混乱状態ニアル
明糖ハ結局大株主タ
ル三菱ニテ経営ノ外ナカ
ル可シトノ意見ナリ
引違ヒニ塚越丘二郎
氏来訪大株主ヨリ
先件ノ申出アリタルトキ
考慮アリタキ旨ノ
申出アリ

一坂本一、松村亀太郎
西川博士来訪面会、

【本文】

朝九時大蔵大臣官邸ニ至ル有賀長文氏已ニ在相伴フテ
高橋蔵相ノ私室ニ赴キ森書記官長立合ニテ鮮銀
ト満州新国家総理ノ間ニ締結シタル借款ノ仮契
約書ヲ示サル

一借款貳千万圓中央銀行兌換準備金トシテ

一貳年据置後十ヶ年間ニ貳百万宛返済

一利率年五分

一担保品ハ据置期間中ニ取極ノ事、

元ノ申込、貳年据置五ヶ年ニ返済利率六分担保塩税
トニハ相違アリ不滿ナレトモ無条件ニテ蔵相ニ一任シタルヲ
以テ政府ニテ至当ト認ムレバ不滿ノ余地ナシト返答シ更ニ鮮
銀総裁加藤敬三郎氏ヲ室内ニ招キ資金供給ノ日割
ヲ鮮銀トノ間ニ協定スルコトトシ鮮銀ヲシテ契約書ノ草
案ヲ起草セシムルコトトス十時前出社十一時社長室會議
ニテ之レヲ報告ス

【欄外】

夜八時横江氏来ル

三谷氏ヨリ村上常務ノ件、濱田氏ヨリ満州出張ノ件ニ付意向問合アリ

【日記の日付…昭和7年4月27日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

鉦山懇話会懇親
会紅葉館午後
六時出席

【本文】

本日ハ聖上皇后両陛下招魂社ノ大祭ニ行幸啓
被遊候ニ付諸官省民間諸会社共臨時休業ス
朝十時横江嘉純氏来宅顔面石膏造リヲ了ス
終テ調髪ニ赴ク

午後五時半鉦山懇話会大会後ノ懇親会ニ列スル為
紅葉館ニ赴ク途次鳥居坂ニ立寄り社長ニ面会濱
田満州出張差留、三谷九炭社長冀望、村上常務ニ
登庸ノ件并ニ明糖統制干與ノ件等ニ付意見ヲ
開陳シ結局自分申出ノ通り満州出張ハ当分見当セ
村上ノ常務モ暫時見送りノコトトシ九炭ハ今後ハ専務
制トナスコト、明糖ハ推移ヲ見定ノ上ノ事トス
鉦山懇話会ノ懇親会ニハ鈴木内相前田商相以下
両省ノ次官參與官及局長連来臨余ハ全会ノ顧問ト
シテ招カレタルモノナリ九時帰宅
一昨日東京美術俱樂部落札刀劔四振代金五百圓*三*拾
■*七*圓ヲ小切手ニテ牧寺三樹ニ支払フ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月28日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

〔予記〕

万葉聴講会 断

済生会乳児院開院式

午前十一時引続キ

閑院宮総裁殿下

賜餐 請

柳谷卯三郎氏招待

紅葉館午後六時 請

【本文】

本日赤羽根ニ於ケル済生会乳児院新築ノ落成ニ
付開院式挙行会長徳川家達公ノ招ニヨリ全処ニ
赴ク式挙行後総裁宮殿下ヨリ午餐ノ賜餐

アリ閑院宮殿下御不例ニ付梨本宮殿下代テ台

臨アラセラル式時半退出々社

午後参時加藤勸銀総裁及有賀三井常務理事

来満州国借款ニ關シ勸銀トノ契約書ニ付打合

ス処アリ

午後五時半紅葉館ニ赴キ柳谷氏ノ招宴ニ列ス集ル

モノ樺山愛輔志立鐵次郎、土方久徴樺山資英

久保勇永井外務次官（柳谷義弟）主客八人歡ヲ尽

シテ十時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月29日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

本日ハ天長節ナリ午前十時網屋手代野田喜代重
研上出来ニ付肥前住藤原忠吉ノ陣刀ヲ持参ス氏房
ノ分ト共ニ砥代ヲ支払フ

氏房 中心研代 拾七圓

忠吉 〃 貳拾五圓

全白鞆ツナキ新規 拾貳圓

合計金五拾四圓也

午後一時吉祥寺ニ赴ク壽美全伴立原武*健*彦稻川
直孝ト共ニ来リテテニス場ニアリ八時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年4月30日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

莊田平五郎氏

十周年忌

東京会館午後六時

夫婦請

【本文】

午前十一時十分出社々長室会議ニ臨ミ勸銀トノ契
約案ヲ示シテ其承認ヲ得タリ

午後貳時加藤勸銀總裁有賀三井常務理事参

集契約書ニ調印ス

全三時坂本一氏来ル金子直吉氏依頼ノ樟脳販売

権肩代リノ件ナリ（鈴木五割五分）先回ノ通り事情ヲ尽

シテ之レヲ断ル氏了シテ去ル

舟越釘沢、永原ノ諸氏引見

午後六時東京会館ニ於ケル故莊田平五郎大人ノ

満十年忌ノ記念宴会ニ赴ク会スル者皆故人恩顧

ノ者ナリ社長御夫婦モ亦来会セラル達弥氏ノ挨拶ニ対

シテ鎌田謙＊栄＊吉氏代賓総代トシテ謝辞ヲ述ブ山本

達雄海比名弾正稲葉子爵夫婦松方正作氏ナド

ノ顔モ見ユ九時歸宅

【欄外】

工業倶楽部料理方小園善四郎廿九日死亡ノ旨ヲ以テ部下山口正太郎及岸本安吉ト
兩人跡々ハ引受ク可シト挨拶ニ来リタリトノコト

【日記の日付…昭和7年5月1日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

明治神宮舞樂
拝観案内アリ

【本文】

午後貳時招魂社ノ参詣ヲ兼ネ久振ニテ改築後ノ
遊就館ヲ見ル刀劔甲冑ノ陳列品著敷増加シタ
ル事ナリ寺社秘藏ノ国宝刀劔ノ展覧数十点ニ
上ル壯觀ナリ

刀劔ノ内余ノ注意ヲ曳キタルハ長坂血槍九郎使用
ノ長槍ナリ鎗身長サ三尺以上群ヲ抜ク恐ラク忠勝
ノ蜻蜒切モ及サル可シ血鎗九郎ハ元茶利九郎毎戦
鎗ニ血塗ラザルコトナキヲ以テ血槍九郎ト号ス可シト徳
川廣忠ヨリ命セラレ改名シタルトノコトナリ其子モ亦豪
勇ヲ以テ聞コエ均シク血槍九郎ト称ス家康ノ秘命
ヲ以テ本多忠勝ニ付セラレ後家臣トナルト云フト出品者
長坂当主ノ説明アリ
上野ノ周漢展ニ廻ラント思ヒシモ五時過ぎ其俣歸
宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月2日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

五二会上野精養軒
午後五時 断

經濟聯盟聴講
工業倶楽部午後式
時

演者参謀少佐
佐花谷正、
上海日日社長
宮地貫道 断

光悦

【本文】

午前十一時出社
午后一時家庭事務処ニ茅町男爵ヲ訪ヒ満州国借款
ニ關シ勸銀トノ契約書ヲ提示説明シ置ク
全式時鶴田久作氏来訪全人ハ嶺雲全集ノ出版ヲ引
受ケタル仁ナリ来訪ノ趣意ハ古典全集八十八冊ヲ更ニ
梓行シ無代價ニテ地方ノ教員ニ交附シ人心ノ立直シニ資セ
ンガ為メ其資金ノ供給ヲ仰ガントスルノ趣意*ニアリ*（金額貳百五
拾円）一言ノ許ニ断リ置ク
渋谷航空常務引見退職内諭ノ理由ヲ申聞ケ置ク今日
合資会社員淘汰ニ付退職ノ者続々挨拶ニ来ル苦痛
ニ堪ヘス

午後四時五十五分着ノ富士列車ニテ窪田阡休氏未亡人故人
ノ遺骨ヲ抱キテタワオヨリ歸着舅鈴木要三郎氏孫六
人（幼児ハ親知ラズ）ヲ伴ヒ迎フ悲惨ナリ友人土橋、小平其他数
十人フラトホームニ在リ余モ亦之レニ加ワリテ憂愁ヲ分テリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月3日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

團男爵傳記編纂

委員会

工業倶楽部正午 請

窪田未亡人ニ社長見
舞金ヲ持参ス

【本文】

午前十時十分小松傳一郎氏来ル窪田阡休氏葬儀
ノ件ナリ全車シテ出社小松氏ヲ佐藤総務課長ニ面接
談合セシム

午前十一時ヨリ社長室会串田青木ノ両氏ト余ノ三人也
正午工業倶楽部ニ赴キ團男爵傳記編纂ノコト

ヲ談合ス郷男坐長トシテ左ノ件ヲ議了ス

一 經濟聯盟、工業倶楽部、十一会ノ三団体ヲ母
体トスルコト

一 經費ハ約壺万五千圓、内五千圓三井家、参千円團家

經濟聯盟及工業倶楽部各壺千圓、各自百圓、

午後一時鉦業会社重役会ニ列ス季末損益計算及
配当案其他ヲ承認ス

安達謙藏氏申込寄附（八聖殿築造ノ為）金壺万円

ハ河西豊太郎氏ニ電話ニテ過日申述ベタル通り時節柄
自分トシテハ異見アルモ兎モ角モ安達氏自身來訪依頼
ニ対シ顔ヲ立ツ可キ旨全氏ニ傳ヘラレタシ
ト申置

【欄外】

午後四時退出太子堂鈴木要三郎氏宅ニ窪田未亡人ヲ訪ネ社長ヨリノ慰藉金壺万円
ヲ手交ス来リ合シタル奥村政雄氏ト途中迄同乗歸宅（斉藤延、モ見ヘタリ）

【日記の日付…昭和7年5月4日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前九時今村繁三氏明石家ニ女子誕生ノ挨拶ニ
来ル面会全十時中野正剛氏来ル面会ノ暇ナキヲ以テ
断ル

十一時十五分出社

午後三宅川、加藤両氏ヨリ日本生糸及清澄製材処
ノ業績ヲ聴取ス

全式時代議士宮川一貫氏来ル鈴木内相後援会加入
ノ説得ノ為メナリ 断ル

商事会社常務高橋鍊逸氏退身ノ件ニ付引見慰

藉スル処アリ

四時半退出歸宅

軍刀仕立ヲ依頼シタル氏房ノ一刀装成リ豊田屋ヨリ
持参ス代金貳拾九圓ヲ仕払フ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月5日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日本放送協会长
岩原謙三氏案内
帝国ホテル午後五時 請

第四回發明博覧会
褒賞授與式案内
午前九時四十分、

【本文】

午前十一時十分出社々長室会ヲ開キ航空会社技師採用外一件ヲ承認ス
会長并ニ取締役退身ノ際ニ於ケル辞令ニ付常務理事及理事ト協議ス
午後四時二十分退出共楽俱樂部ニ立寄り五時十分帝国ホテルニ於ケル日本放送局加入百万突破ノ招宴ニ臨ム岩原謙三社長ノ挨拶ニ対シ犬養首相ノ答礼ノ辞アリ食事後長唄、唱歌、舞踊ノ余興アリ盛会ナリ與ハ單ニ松永和楓（杵屋幸次郎ノコト）ノ新作モノ楠公已ヲ聴ク作者右田寅彦（？）ト聞キタルモ文句ハ案外下劣大楠公ヲ歌フモノトシテハ遺憾ノ点多シ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月6日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

郵船重役会午後貳時

窪田阡米氏葬式

白金瑞聖寺午後三時半

帝国森林会午前十一時三会堂 断

工業倶楽部
理事会正午 請

神楽坂警察署
演武会午前十時

【本文】

午前十一時本日ヨリ初夏ノ候ニ入り気温高ク正午七拾四度ニ上レリ

正午工業倶楽部ノ理事会ニ赴キ理事長トシテ提案ヲ議了ス中ニ計量士法案ニ対スル答申意見書アリ出席ノ理事ト午餐ヲ共ニシ壺時四十分退出郵船会社ニ立寄り各務社長ニ面会本日重役会ニ欠席ヲ断リ白金端聖寺ニ於ケル窪田阡米氏ノ葬儀ニ臨ミテ歸宅ス壽美モ告別式前ノ営葬ニ臨ミタリ夜分典夫来ルオソーン發生器ヲ贈ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月7日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム

午后土居貞弥氏来訪

全四時松村亀太郎氏来訪

全十分退出歸宅壽美全道吉祥寺別邸ニ赴ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月8日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

〔予記〕

八日会 請

幹事土方、藤山
賓犬養首相

金鶏學院農士学校
講堂落成式午前十
時案内

【本文】

朝来曇正午ヨリ雨后五時半日光ヲ仰ク全時吉祥
寺ヲ立チ六時木挽町山口ニ赴キ八日会ニ列ス犬養首
相賓客タリ食後坐談ニ入りタルモ時事ニ及バスシテ
首相退出ス本日朝ヨリ首相ハ横濱ニ於ケル政友会關
東大会ニ臨席シ饗宴半ニシテ辞シテ歸京当席
ニ臨ミタルナリ老躰ノ疲労ヲ察シテ敢テ追ハズ会員
ノ談話ヲ続ケ十時退出歸宅
壽美吉祥寺ニ泊ル
立原健彦、稲川直孝時国姉弟ヲツレ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月9日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

帝国博物館復興翼賛会

幹事会午前十一時

工業倶楽部 請

慶應義塾七拾

五年記念式大講堂

午後式時 断

箱根ノ保険壱万五千円

ノ口ヲ継続ス

壽美后七時四十分

歸宅

【本文】

午前十一時工業倶楽部ニ赴キ帝室博物館復興翼賛会監事会ニ臨席ス監事会ハ理事会ト共ニ開

カル会长徳川公、副会長郷男共ニ欠席前内相理事安達謙蔵氏坐長ヲ代理 理事ノ説明ニテ

昭和六年度収支決算決算ヲ承認シ次テ報告ヲ聞ク正午退出々社

午後今朝歸京シタル松田製鐵常務ヲ招キ河村饒氏退職ニ關スル意見ヲ聴取シ次テ河村氏ヲ招キ今

季総会（月末）限り退身ヲ内諭ス

田原製紙会长来訪過日大阪ニテ日本窒素重役会

ノ際野口ヨリ河原田政務総監ノ内示ニヨリ長津江水電出願シ願書ハ本月三日頃総督府ニ回送セラル、筈

ナル旨報告ヲ得タリトノ報アリ（三菱着手セントスル場合何時ニテモ之レヲ讓ルヲ条件トシテ）野口ノ奸策悪ム可シ

安達謙蔵氏代雪子ニ八聖殿建築寄附壱万圓ヲ手交ス

(横線小切手)

【欄外】

共樂落札穂庵月下狐鹿(三拾円) 烏丸光廣消息(貳拾三円) ヲ受取ル

【日記の日付…昭和7年5月10日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時出社々長室会議ヲ開ク特ニ記ス可キ程ノコト
ナシ

京都滞在中ノ社長ニ対シ留守中ノ經過ヲ報告ス

舟越航空会長ヨリ明日重役会ニ提出ス可キ議案名

古屋工作処長更迭ニ伴人事ノ要件アルニ付承認ヲ求

メラル青木氏退出後ニ付串田氏ヲ招キ協議ノ上提案ヲ

認可ス

午後四時退出上野博物館ニ周漢古銅器ノ展覧ヲ

観池ノ端ノ会合ニ臨ミ九時半帰宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月11日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

明治火災保険満期

弁天町邸内家財

三萬圓ノ口

継続ス

慈恵院理事会

午后弐時 出席返事、

【本文】

朝九時国司浩介氏来訪

全九時半横江嘉純氏立体ノ石膏像持参モデル

トナル

十一時半出門丸ビルニ立寄り十二時十分出社

午後松田製鐵常務引見

午後弐時慈恵院ニ於ケル理事監事評議員会ニ臨

ミ昭和六年度ノ歳出入決算ヲ是認ス徳川会長ヨリ

團氏後任トシテ有賀氏ヲ監事ニ推撰ノ件全意ヲ求メ

ラル三時退出大久保利武侯ヲ内幸町ニ送りテ歸社

四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月12日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

老将会

監事児玉謙次 請

關東全産総会

午前十一時 出席、

日本国防義会講演 断

鐵道協會午后六時

仏大統領ドーメンス祈

禱会關口台町天主公

教会午前十時半、

慶應義塾陸上運

動会本日及明日案内

【本文】

午前十一時出社々長室會議ヲ開ク全三十分工業

俱樂部ニ赴キ關東全産ノ総会ニ來賓トシテ臨

席議事了リ午餐ヲ共ニシテ歸社

河西豊太郎氏八聖殿寄附ノ挨拶ニ來リ全時ニ

富士山麓電氣ノ件ニ付依頼スル処アリ要ハ

全社ハ新ニ四円ノコールヲナシ（現今三十六円払込）約

三十万円ノ金ヲ作り内二十万円ヲ勸銀ニ支払ヒ競

賣ヲ支ヘ他ニ土地ヲ賣リテ十万円ヲ作り貳拾万円ノ

金額ヲ三菱外四軒ノ債権者ニ分配シ殘金ヲ年

賦払トスルニアリ

電機常務河合氏ニ申傳フ可シト返事ス

四時半新喜樂ニ於ケル老将会ニ臨ム加藤敬三郎及

藤山雷太ノ両氏來リ加ハリ來会十名余ハ大橋氏トノ

手合二八一勝一敗加藤氏二八弐敗小田切氏二八弐勝ナリ
九時歸宅

【欄外】

聾教育振興会正午華族会館会長徳川義親 断

【日記の日付…昭和7年5月13日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

朝十時横江氏約束

【本文】

午前九時五十分横江氏来ル約壱時間ニテ原形ノ粘土
立像ヲ完成シ自動車ヲ供シテ持歸リニ便ナラシム
全十一時半出社

午後貳時濱岡光哲氏京都火災保険会社東京支店

長山本竹治氏帯同挨拶ニ来ル

西野恵之助氏来訪莊田君傳記編纂ノ件ナリ

（大分縣人大都留主計監ノ提唱ニテ乃木傳ヲ記シタル宿
利重一氏ヲ嗾シタルモノト聞ク）原稿ノ一部ヲ預ル

舟越航空会長及三宅川商事会長引見松村亀太郎氏来ル

四時退出共楽倶楽部ニ立寄り六時歸宅

社長ヨリ返書来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月14日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

武田青木兩氏より招
待山中

楠公会朝日講堂

午后六時半、

蠶糸興業株式新株
式百株第一回五千圓
三井銀行丸ノ内支店ニ
振込ノ事、堀氏ニ依
頼ス

【本文】

午前十一時出社々長室会議ヲ開ク
蠶糸興業新株式百株ニ対スル第一回払込金五千圓ノ
払込ヲ了ス
山内豊政氏来訪会議中ヲ以テ断ル
午後貳時退出歸宅寿美ト共ニ吉祥寺ニ赴キ八時歸
宅
昨日直人ヲ以テ山本悌二郎（農相）ヨリ澄懷堂書
畫目錄十一冊毫帙ヲ贈ラル依テ今夕挨拶ノ書面
ヲ出ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月15日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

井上準之助氏追悼会

本日迄二

日本鉱業会隅田川、

荒川放水路、東京湾

巡航会 断

午后五時半犬養

首相官邸ニ於テ

陸海軍人ノ為メ射

殺セラル

【本文】

午前七時半壽美全道書生古川ヲツレ宅ヲ出テ東武

電鐵雷門驛ヨリ八時三十分発ノ電車ニ搭乘上州館

林ノ躑躅見物ニ赴ク園ハ驛ヲ去ル十八町榊原忠知

ノ新田義貞ノ古跡ヨリ移植シタルニ始マリ爾後藩主

綱吉、秋元歴代ノ増植ニヨリ今日ニ至リタルモノ花季

已ニ遅レタルモ満開ノ時ノ盛観ハ想像セラル茶店一柳

ニテ午餐了テ自動車ニテ茂林寺ニ至リ有名ナル文

福茶釜ヲ観式時七分同駅発粕壁驛ニテ下車

天然記念物トシテ有名ナル牛島ノ藤花ヲ観ル藤ハ小

島氏ノ別邸内ニアリウワサニタガハス見事ナルモノナリ

四時十分全処発立通シニテ雷門驛歸着食堂ニテ

スキ腹ヲ養ヒ六時自動車ノ来ルヲ待テ歸宅

歸リテイクバクモナク電通ノ光永社長ヨリ首相官邸、

内大臣私邸、政友会本部、日本銀行等陸海軍人

ノ襲撃ヲ受ケ犬養首相兇手ニ倒ル、ノ報ニ接ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月16日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

丁卯会后六時

新喜樂 請 取消

日本銀行ニ爆弾ヲ投

シタルハ計画的ノ如シ（

膳氏ハ三井銀行ト誤リ

タリト聞ク）三菱銀行

西側ノ道路ニテキ弾

投下アリタルモ大事ニ至

ラス

西田税中尉モ川崎長光

ノ為射撃重傷

【本文】

昨夜兇報ニ接シ全夜九時京都ヨリ歸京セラル可キ社長ノ

身辺警衛ニ付鳥居坂邸并ニ三好赤星等ノ諸子ニ移喋シ

テ其手配ヲナシ且兇変ヲ茅町邸并ニ串田氏ニ通シ夜半迄

刻々ノ報道ヲ聴取ス首相ハ十一時半絶命ノ報アリ

朝十時半首相官邸ヲ吊問シテ出社十一時半社長ノ出

社ヲ待チテ留守中ノ報告ヲ為ス

赤星氏ニ昨日留守中ニ私宅ニ来訪シタル田沼茂一ナル者

中野ノ居宅ヲ突キ止メタル処士官學校教官タルヲ聞キ其実

否及性行ノ取調ヲ依頼ス

瀬下清、三宅川百々太郎、倉成文太、朝日新聞社

ノ諸氏引見

西野恵之助氏后壺時來訪莊田氏傳記ノ件ニ關ス

今朝膳桂之助氏十八日井上前蔵相追悼会延期ノ件ニ付來

訪后再度昨日ノ兇変ニ付詳細ヲ携へ來訪兇徒ハ十八名

三隊二分レ三上海軍大尉、 中尉ノ一隊ハ首相官邸ニ（后三

時招魂社ニ勢揃）陸軍中尉ト士官候補生三名ハ牧野内相（泉岳寺ニ集）

私邸ニ他ノ一隊ハ政友会本部ヨリ警視廳ヲ襲ヒタリト

【欄外】

大邸ニテ加藤鮮銀総裁ヨリ見舞ノ電報アリ返電ス

【日記の日付…昭和7年5月17日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

全産総会

午前九時半 請

遅刻保留

【本文】

朝九時三橋信三氏来訪全氏伊勢ニ港湾調査全主座

トシテ水野練太郎氏ト共ニ出張中一昨夜ノ不祥事件ヲ

聞キ急遽歸京見舞ニ来リタルナリ

工業倶楽部ニ於ケル全産総会ノ出席ヲ断ル

十一時出社々長室会議ニ列シ会後社長ト協議シテ舟

越高橋渋谷河村ニ対スル退職慰労金ヲ決定ス

山内豊政氏后式時来訪来年京大卒業ノ次男採用ノ件

及大同電力会社ヨリ三菱銀行ニ対スル取引關係復活依

頼ノ件ナリ（全社ト銀行ノ間ニハ從來貸借ノ關係アリタル処往

来年社債募集ノ際断リナシニ住友ニ赴キタル為絶交ノ形ト

ナリヲルモノ）全社長ヨリ串田会長ニ直接了解ヲ求メラル可シト

注意ス

西野恵之助氏ヨリ預リタル莊田氏傳記ノ草稿ヲ直人ヲ以テ

西野氏ニ返却ス

四ッ谷税務署之問合セニ返事、航空会社配当七百貳拾円（基

本額千貳百円一〇〇〇株）申告漏ヲ訂正ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月18日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

井上準之助氏
追悼会
日比谷公会堂
午后貳時半
出席
延期

【本文】

朝十一時五分出社々長ヨリ航空会社常務後任ノ件ニ付
話アリ
午后一時舟越航空会長ヲ引見シ後任ノコトニ付意見ヲ聴
取ス三好常務ヨリモ全様ノ話ヲ聞ク当方ノ処存申聞ケ
置ク
同三時山内豊政氏来訪大同電力ニカゝル件ナリ
膳工業倶楽部常任理事来訪極右ニ關スル取調
書類ヲ齎ス
同貳時茅町男ヲ家庭事務処ニ訪問
四時半退出歸宅
夜分中島弥團次氏来訪不祥事件ニ付報告アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月19日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

犬養氏告別式
官邸

東京

郵船海上重役会

后式時

出席

オリンピック撰手

派遣ノ為永田町

鳩山文相官邸案内

断

500 200

【本文】

朝九時大阪ノ中谷庄之助来訪時局ニ対シテ見舞
ノ為メナリ全氏ヨリ両三日前銘酒黒松白鷹三瓶
ヲ贈ラル

十一時出社々長室会議ニ列ス

午後式時半首相官邸ニ於ケル故犬養総理ノ告別式

ニ臨ム大衆四列ニ組テ已ニ門内ニ入ラントス官邸ノ玄關番

余ノ顔名染ノ者余ヲ導キテ容易ニ玄關ニ入ラシム幸

ニシテ早く焼香スル事ヲ得タリ四時半迄ノ会葬者ハ

一万ニ達スト云フ喪主健氏ハ余ヲ認メテ特ニ＊進ミ出テ＊黙礼スル
処アリ

歸途東京海上ノ重役会ニ臨ム五時約ニ抛リ築地ニ赴

キ軍部ノ意見ニ關シ聴ク処アリ晚餐ヲ共ニシ八時

半歸宅留守中日電光永社長ヨリ特ニ電話アリタリトノ

コトニ付同処ニ電話シ次席某氏ヨリ軍部ヨリ提出ノ条件ニ付

鈴木氏トノ間ニ意見折合ハス陸軍ハ参議官会議ヲ開キ○

【欄外】

○政友会ニテハ鈴木、鳩山、森ノ三氏鳩首談議中形勢險悪ナリトノコトニ付之レヲ鳥居坂及茅町ニ報告ス

【日記の日付…昭和7年5月20日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

帝国水難救済会評

議員会午前十一時半

華族会館 断

東洋協会講演午后

五時大阪ビル 断

岡山長島愛生園

案内 断

~~東海上~~*郵船*重役会

后式時 請

【本文】

朝九時光永星郎（電通社長） 来訪組閣ニ關スル情報
ヲ聴取ス十一時半出社

午后田沼茂市氏来ル千田勘兵衛氏ヲシテ應設セシム全
人ハ群馬縣人五十一才先月辻士官學校ニテ數學ノ教授ヲナ
シタルモノ退官ニ付成溪學校ニ採用依頼ノ為メナリ自分
甥山岡ノ為メ數學ノ教授ノ為メ半歳斗当方ニカヨイ来リ
両三度家内ニ面識アリトノ事ナルモ家内ハ全然記憶ナシ
多分間違ナル可ク尚成溪學校ノ件ハ直接校長ニ依頼
ス可シト書面ニテ申送ル

式時郵船会社ノ重役会ニ臨席三時歸社四時半退出

歸宅此日舟越航空会會長退職全人ヨリ挨拶アリ

組閣ノ件ハ軍部（陸軍）ノ条件提出ニヨリ政友会新總裁ノ
總理奏請困難トナレリ西園寺公昨夕五時半出京今朝来
高橋臨時總理、倉富枢府議長、午後式時牧野内府ヲ招
致シテ意見ヲ聴取シ居レリ陸海両相モ多分夕刻訪問セン
園公ハ山本、若槻、清浦ノ總理待遇ノ三老ヲ招致セリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月21日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

三高全窓会

第一相互保険会館

東洋軒午後五時半 断

国際聯盟協会講

話 后式時半

中央亭本店 断

【本文】

朝八時半高橋鍊逸氏来訪

全九時網屋小倉惣右衛門氏手代全伴研上ケノ勝光

宗光ノ太刀ヲ持参ス研賃貳拾七圓白鞘拾参圓

計四拾圓ヲ支払フ此際犬養毅氏処蔵ノ刀劔

悉皆金貳万圓ニテ久原房之助氏全盛時代全

氏ニ譲ラレタリト聞ク

十一時出社々長室会議ニ列ス陸軍航空局ヨリ航

空会社幹部更迭ニ付当方ニ糺ス処アリ

午餐後串田氏ト共ニ重役賞與ノ資源ニ付協

議ス

四時退出歸宅吉祥寺ニ赴カントセシモ天気模様

悪敷為見合ス夜ニ入りテ雨降ル

西園寺公ハ朝来若槻清浦ノ両重臣ニ会シ山本伯ノ意向ハ山

之内一次氏ヲ介シテ之レヲ確メタリ上原元帥ハ病ヲヲシテ歸京園

公ヲ訪問シ続テ荒木陸相モ亦駿ヶ台ヲ訪ヘリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月22日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨半曇

【本文】

本日ハ休暇且雨ニ付十一時迄寐リタリ

壽美ハ午后三時半亀山宗月氏ト共ニ梅谷子爵ノ賣立覽

見ノ為本郷富士前町ノ子爵邸ニ赴キ歸途能見氏ノ病

氣見舞ニ立寄タリ留守中羽野氏ヨリ依頼続本ニ旭日

ヲ揮毫ス

園公ハ朝ヨリ大角海相東郷元帥ニ面会シ奉答ノ意

志ヲ決シ午後式時参内シテ齊藤子爵ヲ推撰シ子爵ハ

急遽召ニヨリ葉山一色ノ別邸ヨリ歸京六時半参内組

閣ニ付 大命ヲ拝受シ自邸ニ歸リ目下児玉、丸山等朝鮮

以来ノ郎等参集組閣ニ付協議中トノコトナリ多分明朝ハ

駿河台ニ園公ヲ訪ヒ其足ニテ鈴木若槻両総裁ヲ訪ネ組閣

ニ付協力依頼ス可キ模様ナリ

木芽だつ志げみをあさり親鳥の唄*子*雀は*く*む

又ハくゝむ

雨後の庭もせ（あさる親雀ひなにはこくむ）

だつは「もゆ」としいかに

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月23日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

十時五十分出社々長室ニテ社長武田氏ト会见陸軍ヨリ申出ヲ
参酌シ航空会社幹部ノ後任ヲ會長斯波（兼任）常務郷
古ニ變更スル事ニ決定ス

午后社長再ビ来社駿河台ニコライ聖堂建築中全処ヨリ採

影シタル周囲ノ鳥瞰圖数葉ヲ示サル震災前ノ東京市

ハ此圖ノ外ニ尋ヌ可キモノナシ珍品ナリ

土居貞弥氏政友会ノ情況ヲ齎ラス」山内豊政子来訪

四時退出能見愛太郎氏方ニ病氣見舞ニ立寄り細君ニ

面会病状ヲタツネ五時半歸宅

六時三好重道氏来訪齊藤子爵ノ奏請ヲ先夜鳥居坂邸ニ

於ケル会合ノ結果トシテ佐官ノ向ニ憤慨スル者アリトノ情報

ナリ近頃ハ鳥居坂邸ニ何人モ来集シタルコトナシ寧ロ笑止ノ至リ
ナリ

齊藤子爵ハ午前中園公東郷元帥若槻民政総裁ヲ訪ヒ午后

ハ牧野内府、山本伯、清浦伯鈴木政友総裁訪問組閣ニ尽力中

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月24日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

武田、青木外三名ヨリ
ノ招待、山口、
延期

東京慈恵会
総会伏見宮妃
皇后宮御代理ト
シテ台臨
午後一時 断

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス格別ノ議事ナシ
古河虎之助男生母死去ニ付午後弐時半筭町ノ別邸ニ
赴キ男爵ニ面会吊詞ヲ述べ棺前ニ焼香シテ退出ス
其足ニテ鳥居坂末延道成氏邸ニ赴キ今朝遽ニ心
臓麻痺ニテ死去シタル全氏ヲ吊問シ遺骸ニ対面シ令
閨ト吊慰ノ言葉ヲカワシ別室ニテ各務石川吉松岩原
ニ対面シ引続キ吊問ノ磯野山池ノ諸氏ト雑談時余五
時前帰宅
夜八時半奥村政雄氏来訪十時半帰宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月25日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

神職会館落成式

午前十時（渋谷町

若木十一番地 請

銀行重役会 断

【本文】

神職会館落成式臨席ノ為メ渋谷若木町（定刻ニ）

ニ赴ク会館新築ニ付テハ昭和五年十一月十三日江木千之
翁病余ノ老軀ヲカリテ親敷建築費ノ援助ニ付依

頼セラル、処アリ余ハ其熱心ニ全情シ三井ノ團氏トハカ

リ両社式万五千圓宛十二月四日全氏ニ寄贈シタリ其結

果トシテ此建築ヲ見ルニ至レリ余ノ本日ノ出席ニ対シテハ

江木会長ハ深く喜ハル、ト全時ニ團氏ノ出席ヲ見ルヲ得

ザルヲ慨カレタリ挙式中余ハ寄贈者総代トシテ神前

ニ玉串ヲサ、ゲタリ余ノ名ヲ呼ブ者大声ニテ木村男爵

閣下ト披露ス莊嚴ナル挙式ノ際相争フモ如何ト男爵

ニナリスマシ千人近キ神職来賓ノ前ニテ奉仕シタルモ我

ナガラオカシ過日中央社会事業協会副会長河原田内

務次官ヨリ男爵木村久寿弥太殿ト宛テラレタルモオカシカ

リシガ本日ハ背ニ汗シタリ（書状ニテ男爵ト宛テタル、コト十数回）

十二時半歸社一時鉦業会重役会ニ臨ム諸戸清六氏引見

【欄外】

四時半退出歸宅 寿美ハ正彦結婚一周年紀念ニ付媒妁青木氏方其他ニ挨拶ニ
回リタリ

【日記の日付…昭和7年5月26日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

太平洋貿易会議ヨリ歸

朝ノ瀬古孝ノ助渋沢正雄

ノ両氏招待茶話会

工業倶楽部

午後四時 請

古河男母堂葬儀

青山斎場

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス

午後一時土居貞弥氏来訪

全時智利硝石ノ渡辺三郎氏商事会社ノ不信切（全氏進

退ニ關シ）ニ付訴フル処アリ三宅川会長ニ話置ク可キニ付全氏ニ話

ス可シト申聞ク（三十日三宅川氏ニ傳ヘタリ）

山内豊政氏来訪

渋沢瀬古両氏ノ招待茶話会ニ出席ヲ断リ午后式時半

古河男母堂ノ葬儀告別式ニ会葬シ三時半歸宅

本日斉藤内閣成ル

首相斉藤子爵、蔵相高橋是清 内相山本達雄

陸相荒木居据、海相岡田啓介大将、法相小山松吉

鐵相三土忠造、逋相南弘、商相中島久万吉、

農相後藤文夫、拓相永井柳太郎、文相鳩山一郎

外相首相兼任

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月27日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

鉱業会社総会午後
式時

郵船総会午后式時

万葉聴講会午后
五時華族会館

三谷鉱業会長案内
錦水

朝八時
神谷傳兵衛氏来ル
光村利之来ル

【本文】

朝九時神谷傳兵衛氏来訪子息傳弥氏明夕結婚披
露ノ宴席ノ主賓トシテ挨拶ヲ懇請セラル
引続キ光村利之来訪工場ノ現況ニ付報告アリ花王石鹼
ト三菱商事ヨリ多大ノレベル注文アリト聞ク
十一時出社出社ノ途次中島商相、斎藤首相、山本内相方ニ
立寄ル尚後藤農相及永井拓相ニハ名刺ヲ送りテ祝意ヲ
表ス

午後式時郵船会社ノ総会ニ臨ム社長演説ノ一人相撲ニテ一人
ノ質問ナク原案可決

本日正午陸軍省深沢ト称シ会见申込アリ余ハ官房ノ仁ナ
リト思ヒ明日一時会见ヲ約シタルニ郵船ヨリ歸リテ取調フルニ
官員名簿ニ見当ラス依テ之レヲ取調フルコトトス

本日万葉聴講会ノ出席ヲ断リ午后五時三谷鉱業会長
招待ノ錦水ニ於ケル宴席ニ列シ八時半歸宅明夕結婚披

露ノ席ニ述ブ可キ主意ヲ勘考ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月28日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔寒暖〕

雨少シク降

〔予記〕

神谷傳兵衛長男傳

弥卜和田猪三郎長女

かず子ト結婚披露

帝国ホテル午后五時半

一人 請

永井拓相挨拶ノ為来

邸

【本文】

午前十一時出社々長欠勤会議ヲ開カズ

昨日来訪ヲ約シタル陸軍省深沢ナルモノノ身分ニ付本省

ニ糺シタル処左様ノ者ナシトノコトニテ特ニ小磯次官ノ注意ニ

ヨリ憲兵高等係ヲ二名本社ニ派遣セラレタリ一時深沢（

）陸軍省囑託ノ肩書ヲ以テ来リ第一聯隊ヲ事務所

トシ明治天皇御聖勅ノ梓行物買上ネダリノ為メナリ赤星

氏ノ注意ニテ武藤ニ應接セシム時々オドシ文句ヲ交ヘタリトノ

コトナリ昨日三井ノ池田氏訪問アリトノコトナリ或ハハツシヨノ資金

ヲ作ル為メニアラザルカ聯隊ニ就キ取調ブ可キ様理事ニ注意

シ置ク一昨日肅*吉*村ト称シテ（農民決死党）池田氏ヲオドシタル此類

ニアラザルカ

五時半帝国ホテルニ於ケル神谷和田両家ノ結婚披露ノ宴

ニ臨ム伯耆ノ講談（越ノ海出世角力）并能狂言ノ余興アリ来賓貳

百五六十人媒妁嘉納治五郎氏ノ紹介ニ次テ余ハ来賓ヲ代表シ

テ挨拶ヲ述ベタリ演説中急病貳人イタク弁舌ノ氣勢ヲ

ソガレタリ然シ主人側ハ大喜ニテ傳兵衛猪三郎ノ両氏特ニ感謝シ

居レリ十時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月29日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

〔予記〕

竹内益三郎次男壽平

ト金光庸夫長女英子

ト結婚披露

帝国ホテル午後五時 一人断

【本文】

午前十一時頃神谷傳兵衛和田猪三郎両氏挨拶ニ
来ル面会ヲ要セスシテ歸ル

午後十二時半宅ヲ出テ小山松吉法相并ニ岡田啓介

海相ノ私邸（高槻町廿、一淀橋町角筈）ニ就任ノ祝詞

ヲ述ヘ名刺ヲ通ス夫ヨリ吉祥寺別邸ニ到ル于時后

式時十五分壽美、山本、春、富ヲツレ次テ来ル

菜園ノ苺最盛リニ付採取ス三宅川百太郎氏奥

多摩ノ歸途立寄ルトノ事ナリシモ遂ニ来ラズ

夜十時十五分歸宅今夕ヨリ警官二人宛八時半更代

宿泊スルトノ事ナリ本日國民日本党結党式舉行ノ為

カ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月30日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

安川雄之助次男次郎ト

桂廣太郎娘友子ト結

婚披露ノ茶

東京会館后三時ヨリ

五時迄

夫婦案内一人請

末延道成氏葬儀

青山斎場○時半ヨ

リ三時迄

【本文】

今朝七時頃農民決死隊ト称スルモノヨリ過日銀行ニ爆弾

ヲ投シタルモ改悛セサルニ付議会開会中社長余串田ニ対シ三井ノ池田
ト共ニ決行スル処アル可シト電話ニテ脅迫ノ言ヲ女中ふじ聞込

之レヲ家内ニ通シ家内ハ之レヲ神楽坂警察署ニ移牒セリ

ト聞ク九時頃全署ノ酒井氏特高一人ヲ伴ヒ来ル余出テ

應接一昨日会社ニ書物 冊 賣込ニ来リタル陸軍囑托ト称

スル深沢一派ノ策動ナル可シト推察スル旨告ケ置キ出社ノ上

尚之レガ取調ヲ常務理事ニ督促シ置ク

○時半青山斎場ニ赴キ末延氏ノ葬儀ニ列シ各務鎌吉氏

ニ代リトシテ葬儀委員長ヲ代行ス告別式ヲ合セテ三時

ニテ終ル祭主ハ平田守胤大人ナリ会葬者ハ七百前後ナル

可シ三時半歸宅改装東京会館ニ於ケル安川、桂両家

結婚披露ノ茶ニ臨ミ五時帰宅

警官夜泊ノ便宜ノ為メ庭内ノ茶室ニ臨時電燈ヲ取付

ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年5月31日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

高洲誠一郎ト福原
和子婚姻披露
后六時
錦町キリスト
青年会館
壽美一人請

【本文】

午前十一時出社々長室会議クロンビーノ解雇ノ件ハ再考ヲ
商事会長ニ勧告ス
明日ヨリ彦弥太君見習トシテ出社ニ決定社長ヨリ社長会
議ノ席ニテ全君ヲ紹介次テ自分ヨリモ全君ニ注意スル
処アリ
常務室ニテノ取調ニヨレバ深沢某ハ陸軍省ノ囑托ニアラズ一
聯隊発行印刷物普及会ノ販賣囑托ニテ毎夕新聞社員手
数料働ナルコト判明シタリ
昨日葬場ニテ有賀氏ヨリ話アリタル軍人会館建築費ノ件
ヲ三好氏ニ移シ置ク三井ハ五万円出捐ノ意向ナリ
土居貞弥、松村亀太郎野口栄三郎三氏来訪引見
七月初旬復ブラジルニ舉家轉住ス可キ海外殖民學校長
崎山比佐衛氏ニ金貳百円（全氏依頼ノ額）ヲ贈與ス
后四時半歸宅壽美ハ福原高州両家結婚披露ノ宴
ニ臨ミ九時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月1日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

〔予記〕

田中都吉大使

講演茶会

工業倶楽部午後四時 請

【本文】

午前十一時十分出社

午後一時小山悦之助氏江木千之氏ノ依頼ニテ旭硝子

会社ニ周旋採用セラレタル子息ノ挨拶ニ来ル

武藤山治氏高橋亀吉氏維新經濟史編纂ニ付向

三ヶ年間半季二千五百円宛援助依頼ニ来ル之レヲ船田氏ニ

移シテ詮議セシム

内田嘉吉氏朝鮮ニテ水力出願ニ付長津江水力出願

ニ關スル顛末問合ニ来ル具ニ之レヲ話置ク

茅町男ヨリ家庭事務処ニ於テ池田成彬氏ヨリノ注

意ニ付社長ノ了解ノ許ニ彦弥太君ハ当分不定時出勤

ノコトニ承知致呉度旨話アリ

午後四時工業倶楽部ニ於ケル講演会ニテ田中大使ヲ紹

介シ全氏満蒙処見ニ關シ相当思切リタル演述アリ

六時鳥居坂社長邸ニ赴キ三宅川氏申出ノ山本氏救済ノ

件相談ス誤解ヲ招ク恐アルニ付断ルコトニ決シ其旨電話ニテ

三宅川氏ニ通シ置

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月2日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

白川大将葬儀

福田大将吊問

【本文】

午前十一時十分出社々長今朝箱根別邸ニ赴カル串田青木ノ両氏ト共ニ社長室会議ヲ開ク格別ノ議事ナシ

午後貳時山内豊政子来訪大同電力社長増田氏陳謝ノ

件ハ瀬下常務申出ノ通当分見送ル様申置ク

午後貳時半白川大将告別式会葬ノ為メ青山斎場ニ赴

ク葬儀ハ陸軍葬ナリ、戦功ニヨリ大将先ニ男爵ヲ授ケラ

レ死後從二位旭日桐花章、（勲二等）ヲ賜リタリ会葬後

一昨夜病院ニテ逝去セラレタル福田雅太郎大将ノ邸ヲ弔

問ス大将ニハ三月下旬下ノ關ニテ会合（全車）四月下旬小田原ニテ

会合同乗歸京シタリ氏ハ濱口内閣ノ時全力枢蜜顧問

ニ推挙シタルヲ徳トシ三月並ニ四月ノ会合ニ付テモ家人ニ話シタル

旨本日執事ヨリ承知セリ終テ池ノ端ヲ迂回シテ巢鴨ニ出テ

母ヲ省シ歸途桐島氏ヲ訪ヒ七時過歸宅ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月3日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

工業倶楽部経済研
究会 午後四時 断

【本文】

午前十一時十五分出社

松岡均平男来リ昨日陸軍将校斉藤首相ヲピストルヲ
擬シテ脅迫シ憲兵ノ為メ逮捕セラレタリトノ風聞アリ永田
秀次郎氏財部前々海相ヲ介シテ之レヲ糺シタルニ實際アリ
タリトノ報告アリ

京都火災ノ社長濱岡光哲ノ書面持参全処取締役

氏本日午后複来社三菱保険ヲ親会社ニ頼ミ度ニ付

口添依頼アリ

午後貳時關屋宮内次官来訪土佐人入交好保及安藝

盛無産救恤院建設ノ件ニ付話アリ国家社会党ノ籍ニアル

モノ、話ハ耳ヲ傾クルニ足ラザルモ知事ヨリ社会有益トノコトニテ相談
アレバ其時始メテ考慮ス可シト答ヘ置ケリ其節首相脅迫

ノコトヲ糺シタルニ知ラザリシ歸省後ノ電話ニヨレバ右ハ土岐政務
次官ガ石川參與官ヲ首相ニ紹介ノ為メ全行訪問シタルヨリスル

訛傳ニアラザルカトノコトナリ而モ尚疑ヲ存ス四時半退出

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月4日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

〔予記〕

福田枢蜜顧問官

葬儀青山斎場

式時―三時

【本文】

今曉六時迄大雨アリ九時頃雨止ム雖然終日曇天ナリ
十一時十五分出社問題ナキ為メ社長室会議ヲ見合ハス
午后〇時倉成文太氏来訪光村工場ロール増設ノ件ナリ
午後貳時半青山斎場ニ赴キ福田雅太郎大将ノ告別式
ニ会葬三時過歸宅
夜十時野依秀市ヨリ速達ニテ書面ト共ニ明朝刊
ノ我等力新聞ヲ送り来ル新聞ハ新ニ氏ノ経営ニカゝル
論説ノ欄斉藤内閣ハ三菱内閣ノ見出ノ一章対策ニ
付考慮ヲ要ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月5日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

日比谷公会堂

講道館案内

柔道選拔紅白大試合 断

【本文】

今朝十一時古河虎之助男挨拶ニ来ル
雨天ニ付書齋ニ引籠終日外出セズ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月6日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

愈梅雨ノ天候トナレリ十一時二十分出社
午后野依ヨリノ申越ニ付串田、三好ノ両氏ト協議スル処アリ
午后壺時十分井上角五郎氏来訪面談半刻
引続キ神戸ノ高陪権太郎松村亀太郎両氏来訪
引見尚三輪某来社シタルモ面識ナキニ付千田勘兵衛
氏ニ應接セシム趣意ヲ云ハスシテ歸ル素生ヲ取調
ベシム
午后四時半退出共楽倶楽部ニ立寄ル見ルニ足ルモノ
ナシ

偶感

おしむべき身にはあらねと世を思ふ
心一つをいかてすつへき

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月7日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

発明博総裁ノ資格）

伏見宮殿下御招

宮庭園茶話会

午後三時

雨天順延八日ノコト 御請

【本文】

伏見宮殿下御招キノ御庭ノ茶会ハ雨天ノ為順延トナレリ

午前十一時出社々長昨夕箱根ヨリ歸京出勤セラル野依

ニ關スル件ハ自分ニ委任セラル

午前一時今村眞揚氏來訪込ノ事話シ置

千田氏ヨリ三輪龍陽氏身元調査ノ報告アリ全時全人

書面持参早川鐵治氏満鐵総裁推挙運動ニカゝル

件ナリ明日一時会见ス可シト電話ニテ申送ル会社ハ政治運

動ニ關與セザル旨申聞ケル為メナリ

三好永原ノ両氏ト中元手当ヲ協議ス

航空会社及能新任支配人及後藤名古屋新工場長引見

伊集院旧工場長ニハ親シク慰藉スル処アリ

赤星陸治氏ヨリ古今鍛冶備考式冊及名刀拵絵卷一

卷ヲ贈ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月8日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

八日会

【本文】

午前十一時出社

午后一時三輪龍揚氏来訪三菱ト齊藤首相トノ關係

ヲ話シ三菱ハ政治ニ關與スルコト＊ヲ避タル＊方針ナル旨ヲ告ゲ後日ノ誤

解ヲ慮シ仝氏ノ書面ヲ返却ス

安田衞氏来リ大連汽船社長退任ノ顛末ヲ告ゲ江口等ノ

狭量ニ付訴フル処アリ

午後三時伏見宮殿下御園ニ参候 殿下御出庭ノ上芝

生ニテ茶果ヲ賜フ大角、山本、前田ノ前大臣關谷宮内次官

内田嘉吉藤山雷太等其他約五十人四時退出歸宅

五時四十五分改装八日会ニ赴キ田中都吉大使滿州視察談

ヲ聴取ス土方池田ノ両氏欠席坐談ヲ尽シ十一時過退出

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月9日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

10,000

故伊藤博邦公

一周忌赤坂表町私邸

三時ヨリ四時

久原氏先考先妣

牛忠

~~午前十時ヨリ十二時~~
追

【本文】

午前十時半出社々長室会議ニテ軍人会館ノ寄附ヲ拾万

圓ト更正ス

午後一時五十分野依秀市氏来訪引見品性ノ向上ニ付訓戒シ
日刊新聞発行ノ不得策ヲ注意シ金壺封ヲ與フ

次テ万朝社長長谷川善治氏来訪三井ノ寄附金ニ対スル先
方ノ意見（嘲笑的ナル）ヲ聴取シ真率ニ自個ノ意向ヲ

説明ス氏訕々トシテ歸ル

濱田造船会長ヨリ共同漁船大阪鐵工処ニ注文傾向ノ件并ニ
松田製鐵常務及野田製鐵技監ヨリ中島弥團次氏關

税委員会ニテ銑鐵課税加重ニ付キビシク質問ノ模様

ヲ聴取、注意ヲ加ヘラレン事ヲ依頼セラル

牧山耕藏氏ヨリ夜分關稅改正ノ件ハ次期ノ議會ニテ修正ノ
冀望条件ニテ政民両党ノ協議會通過ノ報アリ

壽美久原清子ト歌舞伎座觀劇夜分調髪

壽美ハ本日故伊藤公ノ一周年祭ニ臨ミタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月10日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

隆弥君案内
金田中、

服部時計店新築
案内 十時ヨリ五時迄

【本文】

午前十一時出社々長室ニテ社長ト三宅川氏ノ対談ヲ聴取ス社長ハ商事ノ營業トシテハ可成小前ノ商人ヲ圧迫セサル様注意アリ全時串田氏ニ銀行ヨリ監査役トシテ串田氏ノ後任ヲ推挙ス可キ話アリ
午後三時万朝社長長谷川善治氏来訪其窮迫ヲ憐ミ手許金トシテ金若干ヲ援助ス
午后参時半退出服部時計店新築落成ノ披露ニ臨ミ各階ヲ順覧茶果ノ饗應ヲ受ケ退出暫時光悦ニテ休憩六時金田中ニ赴キ隆弥君ノ招宴ニ臨ミ九時頃歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月11日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇晴

〔予記〕

井上会（井上友一氏十回忌

午後五時商工奨励館

断

帝国森林会評議員会

午前十一時

断

【本文】

朝九時半瀬下銀行常務来ル商事監査役タルコトニ
付異見ノ陳情ナリ能ク申聞ケ置

十一時出社々長室会議ニ列ス商事ノ龍動支店副長ク
ロンビー氏退職手宛ヲ五千封度ト決定ス

關稅問題冀望条件付ニテ衆議通過貴族院ノ委員

人名報告ノ為メ松田貞治郎氏来訪能ク其委員ノ一人

タル松岡均平男ニ話置ク可シト沙汰ス

製紙会社志貴常務パルフ關稅■*率*引上反對ノ陳情ノ

為貴院委員訪問ノ件ニ付相談ニ来ル銑鐵關稅引上

ケハ三菱トシテ大局ヨリ之レヲ支持セザルヲ得ス今回ノ政府
提案ハ輸入全般ニ亘リテノ引上（三割五分）ニテ一部ノ改正

ヲ強ユレバ全体ノツブレトナル除外若クハ低減運動ハ衆

議院ノ冀望条件モアルコト故次ノ議會ニ譲ルコトトシ三菱ノ

統一ヲ保ツ体面上面会陳情ハ見合ス可シト申聞ケ尚此点

田原氏ニ注意アリタシト申添ヘタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月12日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

昨夜八時頃壽美ト共ニ吉祥寺ニ到リ泊ス梅雨入りノ
日ナルニカヽハラス一天澄ミ亘リ旧暦八日ノ月ハ松ノ梢
ニ懸レリ

さみだれに入るてふ今宵空澄みて松の梢
に係る月影

と詠めり今日ハ曇天雨ニ至ラス終日園内ヲ散策
スル已

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月13日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

老将会

幹事小田切氏

請

~~井上友十氏十四回忠~~

~~井上金~~

~~府南工奨励館~~

久原氏先考先妣

年忌私邸

十時ヨリ

【本文】

午前九時十五分壽美ト共ニ吉祥寺ヲ出テ久原房之助氏邸ニ赴キ全氏ノ先考先妣ノ法要ニ列ス先考ハ本年二十三回忌先妣ハ十七回忌月日繰上ケナリ席ニ中橋前内相夫婦アリ茶果ノ饗ヲ享ケ十一時退出々社

社長欠勤

大久保百人町山田清磨ナル物ヨリ全情者トシテ左翼

ラシキ書面来ル取調ヘシムルニ書面記載ノ番地ニハサル

人物ナシ例ノイタツラト見ユ」横江嘉純氏来訪

松村亀太郎氏来ルロール三台ノ内一台ハ己製品四千六

百円ニテ注文セリト報告アリ

四時半退出新喜楽ニ赴キ老将会ニ列ス此日大隈信

常氏入会ス大橋君ト一勝一敗藤山君ニ一敗小メト

碁ノ手合ニハ小メ未曾有ノ大敗九時歸宅

夜分雨

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月14日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

〔予記〕

日本産業協会
内田嘉吉君送別会
工業倶楽部午后四時
断

【本文】

朝九時工業倶楽部ノ膳桂之助氏来訪十七日正午
理事会開催ノ件ナリ
十時五十分出社々長室会開催
午后三時京都四園工業展覧会ニ臨ミ六点ノ買物ヲ
ナス（約百円斗）小雨降り来ル
昭和六年度所得申告高卜決定額ノ相違取調ヲ平田氏
ニ依頼ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月15日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇雨

〔予記〕

協調会吉田茂氏

案内

星ヶ岡茶寮午後

五時半 請

【本文】

朝十時曾根忠兵衛氏神戸ヨリ上京来訪氏ハ横山一平氏ノ
葬儀参列ノ為上京シタルモノナリ

十一時半出社

午後土居貞弥氏来訪

全四時半退出和服ニ改メ五時半星ヶ岡茶寮ニ至ル主人吉

田氏ヨリ労働課長町田辰次郎氏ヲ紹介セラル安岡正篤氏モ

坐ニ在リ来会スル者三菱ニハ串田濱田三谷、三井ニハ有賀

福井、池田磯村、警保局長松本學、酒井忠正、馬場鏐

一ノ諸氏ナリ九時歸宅頭重ク入浴ヲ見合ス

夜半*半*ヨリ雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月16日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

【本文】

不快ニ付出勤ヲ見合ス
午后森祐三郎氏夫婦来訪鮎川義介モ来ル皆余ノ病氣
ヲ過信シテ見舞ニ来リタルナリ
按摩戸田ヲ招キ療治ス
三谷一二氏伊藤一郎氏貴族院議員ノ件ニ付来訪
来十九日武岡豊太氏ノ一周忌ヲ平野祥福寺ニ於テ営ム旨
神戸須磨天神町四丁目嗣子忠夫氏ヨリ案内アリ沈香一
箱ヲ郵送シ参列ヲ断ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月17日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

朝九時半光村利之来ル機械増設ノ件ナリ
十一時出社々長自宅執務理事会出席
十二時工業倶楽部ニ赴キ理事会ニ臨ミ議事ヲ整理ス式時半歸社
四時前退出歸宅服装ヲ改メ柳谷卯三郎氏母堂
千代子刀自逝去（昨日午前十時）ノ吊問ニ赴キ中橋徳
五郎、中田敬義ノ諸氏ニ会合ス六時帰宅
夜八時鮎川義介来ルトロール船壺隻大阪鐵工処ヨ
リ彦島ニ分譲ノ話アリ
全九時戸田ヲ招キ按摩ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月18日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

朝十時加藤武男氏来訪藤沼警視總監来訪ノ件ナリ
玄關ニテ立話

十時五十分出社々長室会議

十一時半藤沼總監加藤氏帯同来訪串田三好両氏
ト共ニ應待ス

午后加藤恭平氏、近ク満州視察歸朝シタル若林

氏及九炭常務ニ就任シタル吉田一郎氏引見

全三時半退出共楽俱樂部ニ立寄り歸宅

夜分按摩戸田来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月19日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

明治神宮内苑菖
蒲拝観
十時ヨリ五時迄

【本文】

朝九時半起床
后○時半江口定条氏邸ニ赴キ全氏ニ面会貴院議員
勅撰ノ喜ヲ述ブ坐ニ頭山満氏三男秀三氏アリ紹介セ
ラル対談十五六分辞シテ神宮内苑ニ赴キ花菖蒲ノ
最盛リヲ視ル招待日ノ事トテ苑内別シテ清掃セ
ラレ池中ノ水蓮モ奇麗ニ咲キ揃ヘリ清正ノ井戸迄到
ル余ガ内苑ヲ拝観スルコト之レヲ以テ三度トス
退出シテ吉祥寺ニ赴ク全処着忒時半、四時半頃壽
美山本ヲ伴フテ来ル
立原武彦テニスニ来リ居レリ友人八人内三人ハ娘ナリ
福原俊丸ノ娘モアリトノコトニガニガシキコトナリ
七時半迄十六日ノ月ノ出ツルヲ待チタルモ顕ハレズ思棄テ
、歸宅」今朝ヨリ警戒ヲ解ク
大神の恵みに誇る花菖蒲培植＊ツチカ＊ふ水は清正の
井戸

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月20日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

柳谷母堂葬儀

青山斎場一時半

ヨリ四時

日本経済聯盟会

理事会午後四時 断

【本文】

朝十時国司浩介自分病氣ト聞誤リ見舞ニ来ル壽

美面会

午前十一時出社々長引籠リ莊田達弥氏小田急線カ

ンツリークラブニ於テ昨日輕微ノ腦溢血ニカヽレリト聞ク

午后一時半青山斎場ニ赴キ柳谷卯三郎氏母堂ノ葬

儀ニ臨ミ尚三時ヨリ四時迄ノ告別式ニ待立助勢ス

歸途神樂坂警察署ニ立寄り過般来警戒ノ

挨拶ヲナス橘署長不在名刺ヲ残シ置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月21日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

〔予記〕

万葉聴講会 断

調査員再應寄国ニ付

対策打合せ会

工業倶楽部

午後四時 請

【本文】

午前九時神田雷蔵氏来訪横濱倉庫三菱倉庫

ニ委任経営依頼ノ為メナリ三橋氏ノ意見ヲ糺ス可シト
返答ス

全十時五十分出社々々長室会議ニ列ス本日社長ヨリ中元
慰勞金ヲ給與セラル

福原俊丸男紹介武井刀自童謡ノ件ハ千田勘兵衛氏
面接断ハラシム

濱田造船会長及伊東彦島所長ヨリ共同漁業ツロラー
一隻鐵工所ヨリ分譲ノ件ニ付挨拶アリ

高知縣下ヨリ飛行機一台軍部寄贈ニ要スル寄附
金ハ岩崎両家分トシテ壺万圓受附ノコトニ決定ス

午后四時工業倶楽部ニ赴キ四團體（日本經濟聯盟及
日本商工会議所、日本工業倶楽部、日華實業協會）

ノ国際聯盟調査委員ノ一行接待準備ニ關スル協議会
ニ臨ミ大使館参事会伊藤述史氏ヨリ一行ノ經過ヲ聴取シ

六時退出

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月22日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇雨

〔予記〕

科學博物館高松
博士案内正午 請

【本文】

午前十時四十分出社其前壽美ハ東京驛ニ森祐三郎
夫婦ノ十時ノ汽車ニテ歸郷スルヲ見送りタリ
十二時上野科學博物館ニ赴キ秋保館長高松豊
吉博士牧田環ノ三氏ト午餐ヲ與ニシ高松博士ヨリ科
學智識（科學智識普及会）繼續出版ニ付三菱三井
両社ニ対スル冀望アリ乍然最小限ニ之レヲ維持スルコト
トスルモ援助ヲ要スル計數ノ基礎ナキヲ以テ先ツ之レヲ
算出シ改メテ相談ヲ受クルコトトス
歸途池ノ端ヨリ黒門町ニ迂回シ田島方ニテ立原
杏処筆紋本淡彩葡萄ニ雀ノ尺五幅（代金
百七拾五圓ヲ預リ来ル）
夜分戸田ヲ呼ヒ按摩

【欄外】

〔上欄外〕

600、

【日記の日付…昭和7年6月23日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

道路改良会総会

工業倶楽部

午后三時 断

【本文】

午前九時半膳桂之助氏明日午后満州使節接待ノ件打合セノ為来訪

全十一時出社々長室会議ニ列ス

午后松村亀太郎氏来訪

膳氏ヨリ右傾者一覽表ヲ贈ラル

午后四時退出途次小松旅館滞在ノ播摩氏二名刺ヲ通シ置キ五時歸宅

鮎川義介会社ニ来訪奥村政雄氏顧問囑託ノ件ニカゝル

夜分奥村政雄シ来訪東洋窒素会社ニ關シ海

軍次官ト面会ノ顛末并ニ桐島氏訪問ノ件ニ付

報告アリ自分ヨリハ鮎川義介来訪ノ趣意ヲ話シ
全人ト面談ス可シト注意シ置ク

白川大将傳記編纂会主体松嶽会ノ發起人
ノ一員タルコトヲ承諾ス

【欄外】

〔上欄外〕

1200、

【日記の日付…昭和7年6月24日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

満州国＊協和会＊使節ト

懇談会

午後三時

工業倶楽部 請

【本文】

午前九時村田敏氏退職挨拶ニ来ル

全十一時出社

全一時三宅川商会长引見

全半高橋鍊逸氏引見全氏昨日退職

全兼＊三＊時工業倶楽部ニ赴キ近ク来朝シタル

満州協和会ノ要人ニ面会懇談ス

来賓于静遠、夏文鼎丁波近藤義

晴、小澤開策外一人

主人 郷、自分、大橋、門野、井坂、有賀、

串田、磯村、高橋、膳

于静遠ハ于冲漢ノ長子ナリ

工業倶楽部ニ到ルノ前式時郵船重役会

ニ臨ム」神沢正雄氏来訪氏ハ故築也氏ノ長子ナリ

夜分九時永井拓相来訪

今朝七時正彦上京自分設計ノヂーセル取付ノ東京湾汽船

二隻ノ試運転ニ立会ノ為メナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月25日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨晴

〔予記〕

外務次官官舎

午餐 請

○時半

【本文】

午前十時五十分出社々長室會議ニ臨席青木氏古河電気
重役会臨席欠席

午後○時半有田外務次官招待ノ午餐会ニ臨ミ調査

團一行来月四日更ニ来朝ニ付其接待ニ付打合セアリ来会
者ハ各種団体約二十名以上ニ上ル式時半退出歸宅

正彦十時五十五分ノ汽車ニテ歸神

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月26日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十時二十一分ノ*電*汽車ニテ壽美ト共ニ山本ヲツレ横
須賀ニ赴キ全処ヨリ自動車ニテ浦賀ヲ經テ久里
濱ニ到リヘルリ上陸ノ紀念碑ヲ視小川茶店ニテ
弁当ヲツカヒ油壺ニ後戻リシ三浦道寸及全荒
次郎父子ノ墓ニ展シ当年激戦ノ跡ヲ偲フ墓
ハ天明年間ノ建立ニカゝル（天明元年ハ百五十二年前）夫ヨリ
油壺ニヨリ立又登リテ大學水産研究所ヲ見全所ノ茶
店ニ休息三時頃全所ヲ立チ和田ヲ經テ葉山ニ出テ
鮎川義介別荘ニテ休憩五時十六分*逗子発*ノ電気車ニテ六時
十五分新橋着全所ニ迎ヘノ自動車ニテ歸宅ス逗子ニ
テ井上達ニ博士ニ会合下婢春ノ病症ヲ詳ニス油壺ニ
赴キタルトキ全処ホテル前ニ自動車三四十輛ツドイタル
ニハ驚キタリ歸路モ途上車輛ヲ列ネ砂塵ヲナク日
曜ノ三浦半島囲リハ考ヘモノナリ自動車ハ拾円也

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月27日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

郷氏自宅案内

午后五時半 請

明治神宮奉賛会

理事会

飛行館午前十時
断

海陸軍部歡迎

会午後一時半 請

全晚餐会 断

東京会館

【本文】

午前九時村田敏氏退職ノ挨拶ニ来ル

全十一時十分出社

午后一時高橋鍊逸氏

午前十一時銀行重役会ニ臨ミ全処ニテ午餐ヲ共

ニシ十二時四十分出社日本窒素ノ配当用紙ヲ秘

書役場ニ渡辺勝利ノ提出書面及長谷川善

治氏ヨリ書面ヲ千田氏ニ渡シ置ク

午后一時半日比谷公会堂ニ於ケル凱旋海陸将星

ノ歡迎会ニ臨ム市長（永田）ノ歡迎辞ニ対シテ植田

中将ノ挨拶引続キ室陸軍中将植松海軍少将ノ

挨拶アリ香坂府知事ノ天皇陛下万歳郷会頭

ノ陸海軍万歳ヲ以テ式ヲ終ル」歸途愛宕下東京

美術倶楽ニ立寄り瓢家中村家ノ賣立ヲ見ル

午后五時半和服ニテ郷氏ノ招待ニ臨ム中島商相主賓

タリ合客十一名土方池田磯村大橋児玉門野有賀、串田

宮島例ノ通赤坂吉原ノ老妓酒間ヲ周旋シ貞山ノ講談

アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月28日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

樺山愛輔氏案内
紅葉館午後五時
請

【本文】

朝七時半貴族院議員菊地武夫氏ノ名ヲ以テ電話アリ代人ナル事ヲ確メタルヲ以テ会社ニ来ル可ク傳言シ午后代人來訪アリタルニ付其趣意ヲ聞カセタル処滿州国外交部長來朝ニ付工業俱樂部ニテ一日歡待致シ呉レ度トノコトニ付俱樂部ノ膳常任理事ニ申込ル可シト申置ク
午前十時五十分*半*出社濱田造船會長ヨリ本日重役会ニ提出ノ議案ニ付説明ヲ聴取シ十一時半社長室會議ニ臨ム
松村龜太郎氏午后貳時來訪
本日彦弥太君社長室會議ニ臨マレタリ
午后三時半退出築地ニ立寄り（光悦）囲碁ニ回紅葉館ニ赴キ樺山愛輔君ノ招宴ニ臨ム会スルモノ大久保利武、土方久徵永井松太郎、樺山資英、志立鐵太郎、串田萬藏等主客八人老女給ヲ相手ニ旧ヲ談シ大ニ若返リタリ九時半退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年6月29日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

野村中将以下歡
迎晚餐会
水交社午後六時 断

【本文】

午前十一時十分出社
午後一時鉦業会社重役会議ニ列ス
全時半土居貞弥氏来訪其際今朝町田忠治氏紹介ノ
山田道兄来訪アリタルニ付平田羽野秘書役ニ應接依頼
ノ処全人ハ某通信員ニテ金貰ノ定連今春モ二三年
ハ申出デサル約束ニテ千圓渡シタリトノ事ヲ聞ク
金光庸夫氏ノ紹介ニテ 来訪秋葉山ノ堂宇修
膳ノ發起人依頼アリタルモ断リタリ
全三時井上雅二氏札幌地処ノ件ニ付茅町男ニ依頼ノ可
否（斉藤首相關係）問合セアリタルモ良好ノ結果アルマジト
注意シ全人了解引取りタリ
午后四時退出東美俱樂部（丸善向横町）ニ浮世展覽会
ヲ視ル内ニ芳年筆彰奇隊ノ青年勇士ノ大作アリ満身
血ニ染ミ刀ヲ杖ニ竹垣ノ側ニ憩フ圖筆勢淋漓眞ニ迫ル
雖然余リニ物凄キヲ以テ入札ヲ見合セタリ

【欄外】

〔右欄外〕

午席*前*室田義文氏出勤前ヨリ待合セリ水戸大洗 明治天皇御聖像ニ付属宝物館
ノ陳列処建築助成ニ付依頼アリ（二万円見当）

【日記の日付…昭和7年6月30日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

〔予記〕

午后四時郷氏ト共ニ
三井訪問ノ約束

永井拓相来訪

【本文】

午前九時半工業倶楽部常任理事膳桂之助氏来訪
満州国交通部長丁鑑修来朝歓迎午餐会ノ件ニ付
打合せノ為メナリ
全十一時出社々長室会議ニ臨席社長欠勤
午后一時西野恵之助氏来訪莊田平五郎氏傳記貳百
五拾部引受依頼ノ件ナリ造船処ニ打合せ返事スルコトトシ
斯波常務ニ濱田会長歸京ノ節談合ヲ依頼ス
午后四時三井合名会社ニ赴キ有賀、福井、郷ノ三氏ト会
合三氏前後シテ荒木陸相ト会见ノ顛末ヲ聴取シ尚郷
氏ヲ介シテ陸相ノ理想ノ具対的ノ案ヲ敲カシムルコトトス
夜分九時永井拓相来訪時局ニ關シ意見ヲ闘ハシ満
州国ノ確立ヲ速進セシムル為張學良ヲ敵視スルコトヲヤメ
現在ノ地位ヲ擁護スルノ意向ヲ通シ妥協スルノ必要ヲ述
ブ拓相之レニ共鳴シ陸相ニ会见其意ヲ傳フル事ヲ
約ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月1日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

埼玉縣内務部長
横尾惣三郎氏農村
対策講演
午後三時工業倶楽
部 請

經濟聯盟委員会
午後四時 請

【本文】

午前十一時十五分出社理事会列席
室田義文氏依頼ノ陳列館（水戸）經費援助ノ件ニ付社長
ニ協議金額ノ取極ヲ委任セラル依テ三井ト談合ス可ク三
好常務ニ話置ク
土居貞弥氏来訪全人援助金五百圓ヲ交付ス
午後三時工業倶楽部ニ赴キ農村対策ノ横尾氏ノ講演
ヲ聴取セントシタルモ全人ノ来館遅レタル為單ニ其貌ヲ見
タル已ニテ全四時經濟聯盟ノ委員会ニ臨ミ先ツ製鐵
并ニ造船ニ船ノ問題ニ關シ委員ヲ設ケル事ニ決ス
午後五時過退出雨ヲ■シテ黒門町ニ赴キ田島ノ店舗ニ
入り書画ノ幅ヲ点検シ過日預リ歸リタル立原杏処葡
萄ノ書幅代百七拾五圓ヲ支払フ七時歸宅

【欄外】

500

350

【日記の日付…昭和7年7月2日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

昨夜ノ大雨ニテ關西九州四国ニ水害アリ
午前十一時出社々長室會議ニ列ス
午後一時十五分万朝報社長長谷川善治來訪自分立場
ヲ説明シ当分援助ノ出來サル旨ヲ諭ス全氏了解シテ去ル
樺山資英氏來訪田中丸勘七氏ヲ日露漁業ノ分系製
鐘会社ニ重役トシテ推撰ノ件ニ付懇談アリ之レヲ三宅川
商事會長ニ通シ尚漁獲販賣ニ付テモ可成一部ヲセール商
会ニ委ヌルノ方針ヲ探ル様注意シ置ク
野依秀市ヨリ手紙來ル船田理事ニ渡シ置ク
午后四時半退出
夜七時半望月圭介氏來訪時余ニシテ辞去

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月3日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

正午近ク迄睡眠

午後貳時半発若神井武田秀雄氏ノ別邸ニ到リ全氏ノ

病氣ヲ見舞ヒ居合セタル三宅川百太郎氏ト三人閑話五時

過全処ヲ辞シ三宅川氏ト共ニ吉祥寺ノ別邸ニ立寄り

八時過歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月4日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

江口氏勅撰祝

日本倶楽部午后五時

会費参圓 出席返事

【本文】

本日ヨリ炎暑遽ニ加ハリ日中八十度ニ上ル

十一時半出社」午后二時倉成文太氏来訪

午后四時半退出共楽倶楽部ニ立寄り五時半日本倶楽

部ニ於ケル江口定条氏ノ貴族院議員勅撰祝賀会ニ

臨席会衆七拾四名盛会ナリ九時歸宅

夜分關東紡績争議團ノ一人木村久壽弥太ヲヤツツケロ

ナル宣傳ビラヲ門扉ニ張札シ数百葉ヲ街路ニ散布

ス小堀、古川之レヲ収集ス

君塚勝彦再ヒ草稿ヲ持参

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月5日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔寒暖〕

正午八十三度

【本文】

午前十時五十分出社々長室会議ニ臨ム武田秀雄氏久振
リニ出社

今朝水戸愛国團ノ名義ヲ以テ不穩ノ印刷物ヲ土浦

ノ消印ニテ郵送シ来ル赤星氏ニ渡シテ警視廳ニ提出セ

シム印刷セン明市中ノ印刷処ノモノニアラズ軍部ノ物ヲ

使用シタルガ如シトノ話ナリ

光村利之来ル面会セズ

午后四時鮎川義介来訪奥村氏ノ件ナリ全氏幸ニ

来社中義介辞去後其旨ヲ通シ義介ニ面会セシムルコトト
ス

四時半歸宅福井夫人来訪中ニ面会

夜分太刀川平治氏来訪單ニ中元ノ挨拶ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月6日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

〔予記〕

主宅川氏案内
山口

丁鑑修（満州交通
部長）歓迎午餐会
工業倶楽部、

小磯陸軍次官ノ紹介
ニテ根布川 氏
石塚忠氏全道来訪
武藤氏（地処）面会

【本文】

朝九時半崎戸炭坑ヨリ大夕張炭坑長ニ轉任シタル西原民平
夫婦赴任ノ途次暇乞ニ見ユ夫婦面会
午前十一時出社

全十一時五十五分工業倶楽部ニ於ケル經濟聯盟、工業俱
楽部及日華実業協會兩団体ノ満州国特派使節ノ

一行歓迎ノ午餐会ニ臨一行左ノ如シ

正使丁鑑修（交通総長）副使林檎 ＊ケイ＊（最高法院々長）

随員 金振氏（交通調査課長丁氏ノ婿）森田成之（交通鐵道司長）

安国政（交通部員欠席）林丙炎（実業部科長）

万沢正敏（鐵道司庶務科長）鐘景拭（最高法院書記官）

外ニ陪賓菊池武夫男（日滿中央協會々長）林十郎（全理事）

光山百川（全理事

来会者郷児玉ノ両團体会長ノ外三団体ノ理事幹事約四十人

食事ノ終リニ余ハ三団体ヲ代表シテ挨拶ヲ述ヘ之レニ対シテ丁、

林兩使ノ答辞ト菊池中將ノ演説アリ式時散会郷児玉ノ両

氏ト残リテ満州調査團リットン卿一行ニ会见ノ件ニ付

打合セヲナシ三時歸社

【欄外】

「右欄外」

三時歸社望月圭介氏待合セ居リ面会先日余ノ話ニ連關シ注意ノ為新聞切ヌキ
持参態々立寄タルモノナリ余ハ其厚意ヲ謝ス

【日記の日付…昭和7年7月7日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

少雨曇

〔予記〕

三宅川氏案内
山口

内田伯歓迎会発起人
承諾ス

【本文】

朝九時大橋新太郎氏来訪故渋沢子爵銅像并ニ飛
鳥山本邸公衆使用ノ為メ維持基金募集ノ為メ百万
圓募集ノ趣意ヲ以テ当方（三井モ）ヘ拾万圓寄附勧誘
アリ依テ之レヲ社長室會議ニテ話シタルモ縁故者全様
ノ寄附ハ今日ノ時局ニ於テ断ル方至当ナリトノ意見ナリ
全十時三橋信三氏来訪長男過春カルモチンヲ嚙下自
殺ヲ計リタル件（慶大本期卒業ノ部ニ入レラレサリシヲ憾ミ父ニ
対シテ面目ナシトテ）話アリ
十一時半出社々長室會議ニ臨ム
午后式時川崎卓吉氏来訪若槻総裁援助ノ件ナリ断ル
全四時赤星氏引見
四時半退出光悦ニ立寄り山口ニ於ケル三宅川商会长ノ
招宴ニ臨ミ九時半歸宅
昨夜矢来町ニテ威嚇宣傳ヲ電柱ニ張り居タル者捕縛
シタル旨神楽坂署ヨリ今朝通知アリ

【欄外】

〔上欄外〕

【日記の日付…昭和7年7月8日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

八日会午后六時
大橋串田両氏幹事、
斉藤首相案内

【本文】

名古屋大阪ヨリ九州ニカケ又豪雨アリ河川氾濫汽車
不通ノ処アリ
午前十一時半出社々長ト打合せスル処アリ
午后二時三谷鉱業会長ヨリ撫順炭移入制限ニカゝル其
後ノ經過ヲ聴取ス
光村利之来ル面会セズ
后四時歸宅和服ニ改メ山口ニ於ケル八日会ニ臨ム斉藤首相
賓客タリ食後時局ニ付首相トノ間ニ應答アリ首相ハ八
時半歸ル居残リテ大地震ノ時ノ話ニ花咲ク十時半歸宅
此日過日ノ不穩文ノ出処ハ確メラレタリ北一輝ノ徒大川宗明
ヲ極刑ニ処セシメン為メノ苦肉策ニテ同志ノ内釘ノ表ハレナリ
印刷物ハ東京ヨリ土浦ニ運搬投函セントシタル処千枚ノ内七
百枚ハ差扣ヘラレタリトノコトナリ
大橋新太郎氏ニ渋沢翁邸宅保存費基金募集ニ
關シ三菱ノ意見ヲ述ベ置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月9日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

〔予記〕

土佐ノ航空機献上費ノ
内へ貳百円寄贈現金
ヲ坂本正治氏ニ渡ス

会社ヨリ石塚忠氏ニ金
千円ヲ援助ス

后三時生田来ル近藤ヨリ
依頼ノ熊川及五島重油
特約店継続ノ件ナリ
油資部長野間氏ヲ
招キ取調ヲ依頼ス

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス全員出席格別ノ議事
ナシ

午后一時加藤商事常務引見奥村氏戸畑鑄物取締役
就任其他ニ付開陳スル処アリ引続キ濱田造船会長ヨ
リ長崎出張ノ模様并ニ職員整理ニ付報告アリ
松村亀太郎氏来訪

午後四時退出歸宅壽美ハ両岩崎家井上先侯未亡人其
他十一家ニ中元ノ廻禮ニ赴キ薄暮歸宅
永ラク書生タリシ古川 本日午后二時半ノ汽車ニテ北
海道ニ歸省ス旅費五拾圓ヲ給與本人脚氣ノ気味ナ
リ出京ノ友人十七人病死シタリトテ非常ニ氣ニ病ミ居レリ
夜學ニテ電気學校ヲ卒業セシメ昨年ヨリ早稲田ニ入學
セシメ電気ニカゝル高等ノ課程ヲ修メシメ居タルモ非常ノ神
經家ニ付恐ラク再度出京セザル可シ偏屈ナレ共正直者ナ
リ先途不惑ニ思フ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月10日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

青木信光子媒妁

下郷傳平氏長男寅吉

ト伯爵佐久間俊一ノ三

女文子ト結婚披露

内幸町仁壽講堂

午后貳時ヨ五時迄

茶 断

能見愛太郎氏

逝去

【本文】

永ラク病症ニ呻吟シタル能見愛太郎氏今朝七時過死
去ノ電話アリ

午后一時青山七町目ノ能見氏ノ宅ニ赴キ未亡人ニ対シテ弔

詞ヲ述ベ当人ニ最後ノ缺別ヲ叙ス冷キ遺骸ハ床上ニ

横ハリ復言葉ヲ交スニヨシナシ諸行無常当人数日

来幾分意識ヲ回復シ回春ノ望ミヲ繋キタリシニ俄然

急変今曉心臓麻痺ニテ斃レタリ營葬ノ指圖ハ万

事妻木栗造氏ニ依頼シ辭シテ貳時半吉祥寺別

邸ニ赴キ逍遙数刻八時半歸宅歸路纔ニ貳十七分

神戸長田典夫地处水害工事其他ノ件ノ処置ニ付萩原

善六氏ニ返書ヲ出シ全時スミ処有家屋納税代人届ヲ

林田区ニ提出ヲ依頼ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月11日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

老将会午後四時
幹事服部金太郎
請

池田成彬氏案内
午後六時錦水
請

【本文】

午前十一時出社々々長ヨリ造船人操リノ問題ハ伊東ヲ本社
郷古ノ後任トシ原ヲ長崎ヨリ彦島造船処ニ轉勤処長
トスルノ案ニ同意ヲ求メラル余ノ主張ニ符号スルヲ以テ之レニ
賛成ヲ表ス全時ニ奥村政雄氏戸畑鑄物取締役承
認ノ件ヲ提出ス三菱色濃厚トナルノ理由ヲ以テ難色アリ
更ニ茅町男ノ意向ヲ糺シ何分ノ決定アル可キ筈トナル
午后右ノ次第ヲ三宅川氏ニ話シ尚船田理事ヲ招キテ余
ノ意向ヲ傳ヘ三好永原ノ両氏ニ移喋セシム
金子直吉氏来訪鈴木処有樟脳式肩代リノ件断然断
リ置
午後四時半老将会ニ臨ム＊手合セ四番＊服部金太郎ニ勝中濱東一郎氏ニ
負矢野恒太氏ト互ニ勝敗アリ
六時錦水ニ於ケル池田成彬氏ノ招宴ニ臨ム全国 東京
府知事引合セノ為ナリ藤沼總監松本警保局長主賓ト
シテ臨席主人二十一名食後藤沼警視總監居残りテ時局
ニ關シ意見ノ交換アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月12日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

新内閣員招待会

新喜楽

主人郷、福井及自分、

末延道成氏忌明案

内東宮会館

午后六時 断

白川大将

松嶽会

日比谷東洋軒后五時 断

【本文】

午前十一時半出社々々長室会議ニ列ス社長多摩墓地ニ赴キ
欠勤

午后一時半有田外務次官代トシテ秘書官 氏

来訪東京府会議員香西氏渡米費援助懇請ノ為

メナリ全氏ニハ今春已ニ全様ノ目的ニテ千五百圓援助致
シ置タルニ付周囲ノ事情ヲ話シテ断リタリ氏了承シテ
去ル

午後三時半退出全五時半新喜楽ニ赴キ郷男福井氏
及余ノ三名ニテ招待シタル内閣員及主ナル實業家ノ

宴席ニ列ス岡田海相及永井拓相高橋蔵相ヲ除キ斉

藤首相ヲ始メ閣僚全部出席主客式拾九名貞山講

談ノ余興アリ九時半退散暑気強ク夜半八十二度ニ上ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月13日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴少雨曇

〔予記〕

能見氏告別式午后

式時ヨリ三時

青山斎場

【本文】

午前十一時出社

午后一時青山斎場ニ赴キ能見愛太郎氏ノ葬儀ニ参

列二時ヨリ告別式ニ移リ待立壺時間会葬人物約六百

三時式終ル社長モ告別式ニ臨マレタリ三時半靈棺ノ

雀見総持寺ノ墓地ニ向フヲ送リテ歸宅葬儀委員長

ハ妻木栗造氏ナリ

夜分典夫来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月14日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

故森田儀之平三女亀
ヨリ正彦ニ対シ病中入
費援助申出アリ其
処置ニ付今朝問合セ
アリ森田父子ニハ永年
十二分ノ援助致シ尽
ス可キ以上ヲ尽シタルニ
付不幸者ノ弥一兄弟
ヲ此上救フ因縁ナシ
断然断ル可シト申
送ル

【本文】

午前十時五十分出社奥村氏戸畑鑄物重役就任承
認ノ件ハ社長ヨリ反対意見ノ表示アリ余ハ最早強テ
抗弁ヲ試ミス人事如斯将来社運ノ隆盛ヲ危フム次
テ社長室会議ニ移ル
午後一時半中橋徳五郎氏ノ紹介ニテ芝原亀二氏
ニ面会ス在學中ノ旧知ナリ仝氏譯ハ―レー 氏
ノ資本主義ト社会主義ノ対照論~~を~~*数*冊ヲ持参シ右ノ
主義ヲ資本家ニ講演ノ機会ヲ與ヘラレントヲ乞ハル
依テ工業倶楽部主事~~中~~村元嘉氏ヲ招キ右ノ著
書~~を~~冊ヲ渡シ膳主事ト講演会開催ニ付打合セ、
シムル事トス尚他ノ一冊ヲ三好常務ニ渡シ長岡經濟
研究処長ニ一應通読セシムルコトトス加藤武雄氏ニモ一冊
渡シ置
金子直吉氏来リ又々前日ノ懇請ヲ操カヘシ強テ余
ノ腕ニスガラントス余肯ンセサルモ依頼ヲ残シテ歸ル
四時半退出

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月15日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

万葉聴講会

小山氏入閣祝賀会

午後五時

本日リットン卿秩父

丸ニテ退京

【本文】

午前十時五十分出社理事会ニ列ス社長出社ト聞キ面
談十八日開催セラル可キ渋沢子爵銅像建設發起人会
ノ件ニ付打合ス処アリ

午後一時半丹羽社会局長官来訪失業防止委員会

組織改正ニ關シ委任*員*再任依頼アリ承知返答ス

午後貳時半東電本社ニ郷男爵ヲ往訪渋沢子爵

銅像ノ件ハ市民トシテ三菱之レニ賛同スルモ飛鳥山邸

寄附ニ伴フ基金募集ノ件ハ縁故薄キ三菱トシテハ

賛同ヲ躊躇スル旨ヲ述べ一方ハ單ニ縁故者ニ止メテハ如何

ト提議シ十八日ノ發起人会ハワザト欠席スル旨ヲ述べ其

了解ヲ得タリ郷氏可成其方針ニテ話合ス可シトノコトナリ

四時十分退出共楽俱樂部ニ立寄ル強雨雷鳴アリ五

時半華族会館ニ到リ万葉聴講会ニ臨ミ井上博士講

義ノ後晚餐卓上平沼騏一郎男小山氏法相就任ノ

祝詞及冀望アリ之レニ対シ小山氏答辞ヲ述べ食後閑談

九時半歸宅会衆拾人

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月16日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

米ノマツコイ、佛ノクロー
デル両將軍以ノマレウ
ツチ伯ノ調査員今夜
退京神戸ニテ秩父丸ニ
乗船青島ニ向フ筈

關東紡績職工團
来邸面会強要

【本文】

午前十時中島弥團次氏来ル過般議會開催中委員
トシテノ氏ノ動作ニ關シ弁明ノ為メナリ
全十一時半出社々長室會議ニ臨席ス
土佐ヨリ献納ス可キ飛行機製作費ノ内ニ貳百円ヲ
寄附スル為現金ヲ坂本正治氏ニ托シ置タル処強テ參百円
トノ依頼ニ付百円増加シ立替置呉レタル武田秀雄
氏ニ現金ヲ交付ス
午后一時半茅町男爵ヲ家庭事務処ニ訪中元手宛
ノ挨拶ヲ述ベ序ニ大磯別邸留守居萩原唯一氏退
身冀望ノ依頼ヲ述ベ良ク了解ヲ得タリ
前民政党代議士支那通神田正雄氏荒木陸相ノ紹介ニテ
面会氏ニハ先日今回支那行ノ旅費トシテ三井ト共ニ各五
百円ヲ援助シタル仁ニテ挨拶ノ為来リタルナリ
全三時頃關東紡績職工團約四十名来邸不在中ノ余ニ面
会ヲ強要土足ニテ台処ニ踏込又玄關ノ硝子戸ヲ破リタリ報ヲ
得テ神樂坂警察署ヨリ署長在署ノ全員ヲ率ヰテ来リ
内拾五名ヲ檢束他ハ散乱ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月17日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

朝来昨日ノ出来事ニ付電話ニテ見舞ヲシ新聞ニ出
デタル為メナリ巡查ハ警衛ノ為メ三人詰切居レリ
今後暫クハ復大臣待遇ヲ受クル事ナル可シ
午後一時半ヨリ壽美ト吉祥寺ニ赴キ夜分九時
歸宅吉祥寺ノ庭ニハ白百合咲キ初メタリ

關東紡績職工襲来ノ次キ

神田正雄氏辞去十分程ニ家内ヨリ電話ニテ右ノ次第ヲ通
知シ来リ追テ沙汰スル迄歸宅ヲ見合ス可ク申来レリ会社ヨ
リハ報ヲ得テ地所課ヨリ両武藤ヲ弁天町ニ派遣シタリ尚工業
倶楽部ノ中村氏ヲ招キ丸ノ内署ト連絡ヲトラシム中村旨ヲ齎
シテ警察ニ往復ス四時半事静マリタル報ヲ得会社ヲ退出
ス護衛ノ為メ会社ヨリ一人上乘リシ丸ノ内ノ警官一人自動
車ニテ付添フタリ余ハ高木健氏蒞*昨*日死亡ニ付悔ノ為全邸
（浄瑠璃坂）ニ立寄り棺前ニ焼香シテ歸宅
見舞客、原脩次郎、赤星陸治、中島弥團次、山室宗文
乙部融

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月18日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

神楽坂警察署長
ハ橋氏ナリ

午後貳時大橋氏再應
来訪郷男ト会见ノ上
了解ヲ承メス来ル

【本文】

朝九時大橋新太郎氏来訪渋沢子爵ノ記念事業
ノ件ト一昨日ノ出来事ニ付ノ慰問ナリ
午前十一時十分出社々々社ノ途次神楽坂警察ニ挨拶ニ立寄ル
午后尅時吉田博光氏来訪橋幸三郎（愛郷塾主）
陰ニ歸国シ居ル旨ヲ述ベ時局ニ關シテ注意スル処
アリ

土居貞弥氏来訪」横江嘉純氏ヨリ明日銅像持参ノ旨来訪豫告アリ
午后三時三菱信託ノ重役会ニ臨ム会終リテ各務鎌
吉氏余ノ室ニ立寄り渋沢記念事業ニ三万圓寄
附ノ件」横濱船渠整理ニ關スル件（減資ノ上優先株
百五拾*■*円募集、倉庫切放シ郵船貸金六百万円ノ擔保
（収入）トスルコト）及郵商合併ニ付テハ堀氏自身ニ快トセサル
為行ナヤミ居ル事等ノ報告アリ（翌朝社長ニ報告ス）
右ノ話ノ途中總同盟本部ヨリ廿人斗一團トナリ何レカニ出向キ
タルニ付暫ク歸宅ヲ見合ス可シト神楽坂署ヨリノ注意 ○○

【欄外】

○○ 宅ヨリ申来ル五時半ニ至ルモ襲来ノ模様ナキニ付丸ノ内警察ノ先驅ニテ
歸宅ス

【日記の日付…昭和7年7月19日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

昨午后四時總同盟
員卅人斗上野公設
食堂ヲ襲ヒ社会国
家党員弑名ヲ袋タ、
キトナシ又国家社会党
ヨリ逆襲セラレ負傷
者ヲ出セリ昨日ノ
警戒ハ之レヲ誤リ
傳ヘタル為メナリト思フ

【本文】

今朝十時横江嘉純氏製作ノ銅像ヲ自ラ持参ス
像ハ奥村正雄氏ノ贈ル処ナリ余ハ嘉シテ之ヲ受
納シ奥村氏ニ深厚ナル謝意ノ傳達ヲ依頼ス
午前十一時出社々長室會議ニ臨ム
午后光村利之来訪
赤星陸治理事ヲ招キ十和田湖畔仕設ニ關スル小
松尚氏ノ書面ヲ交付ス
午后三時三菱保險ノ重役会ニ列席ス
電報通信ノ光永星郎氏再昨日ノ出来事ニ付見舞
二来ル
四時退出築地ノ寄合ニ顔出シ、六時五十分歸宅
此日共樂落札ノ石堂は一ノ大小（代四拾円）并ニ
拵付初代忠吉（武蔵大掾忠廣）ノ太刀（代金五拾
円）ヲ受取ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月20日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

土佐二十日会丸ノ内常盤

午后六時

幹事金子喜代太、別府

丑太郎 断

【本文】

午前十一時十五分出社

全半赤司鷹一郎氏文部省社会教育官水野常吉

氏帯同職業指導教員養成ノ件ニ付三ヶ年間毎年

式万圓ノ經費ノ幾分援助方依頼アリ之レヲ船田氏ニ移シ

向後全氏ト直接交渉ノ事ヲ申置ク

午後貳時花王石鹼株式会社長瀬商会常務取締役

矢野正世（谷孫六ペンネーム）来訪光村工場へ注文ニ關スル

件ト造船処購買組合ニ花王石鹼納入冀望ノ件ナリ

此間且テ福田大將ニヨリ紹介セラレタル豫備砲兵大佐斎*遠*

藤壽儼祐氏来訪商事ノ秋山氏全氏知人タルヲ以テ会见セシ

ム一月廿二日余トノ会见ニ付返事ヲ聞カンガ為メナリ余ハ此事

件ハ船田氏ニ移シ置タリ本日秋山氏トノ会见ニテ金額纔

ニ五百円位ナルヲ以好意ノ考慮ヲ返事スルコトトス

三時半高知縣産業組合長会議代表者北村勝馬及

奴田原俊吉ノ両氏縣下ニ鐵道普及運動ノ為出京余ニ顧

問タランコトヲ求ム（田中伯其他土佐名士床次竹二郎氏モ署名セリ）

余ハ寧ロ其不可ヲ論シ個人ト池田線トノ連絡已ニ条件トシテ署名ス

【欄外】

五時半歸宅八時半調髪

【日記の日付…昭和7年7月21日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

勲三等木村久壽弥太
国際觀光局委員会
委員被仰付

昭和七年七月廿一日

内閣

右重任

【本文】

午前十一時出社々長室會議ニ列ス

午后貳時半東京海上保險ノ重役会ニ臨ミ海外

投資整理ノ説明ヲ聴取シ四時五分退出歸宅

企処ノ秤ニテ觀貫シタル処体重拾九貫宅ニ歸リテ

風袋ヲ計リタル処約壹貫目弱アリ正味約拾八貫也

夜十時明朝燕号ニテ福井夫人神戸向出發スルニ付

壽美ヨリ其旨神戸ノ正彦千代子ニ電話ス

暑氣嚴敷正午九十度五分ニ上ル本年ノ最高ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月22日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

鳥居坂岩崎邸

案内 午後六時

勲三等木村久壽弥太

失業対策委員会

委員被仰付

昭和七年七月二十二日

内閣

失業防止委員会廃止

【本文】

午前十一時出社

全半東洋文化協会ノ山本悌二郎、大島健一、藤田四郎、

加藤政之助ノ四氏来訪全協会設立ノ學校維持費トシテ

五拾万円寄附依頼（本政府ヨリ年額十七万円十ヶ年二百

七拾万円援助ノ筈ナリシモ財政ノ都合上十式万円八万円ト減

シ今ハ單ニ四万円ノ補助ヲ受ク）三井ヘモ全様依頼セリト

ノ事ナリ余ハ今日ノ場合貴意ニ応スルコト困難ナル可キモ一

應ハ相談致ス可シト挨拶ス

午后倉成文太氏引見」近ク休職トナリタル神戸造船ノ野中

巖氏挨拶ノ為メ来訪

午後貳時半郵船会社ニ赴キ重役会ニ臨席横濱船

渠ニ対スル方策ニ付前日全様（各務氏申条）ノ説明アリ

一全余儀ナカル可シト賛同ス四時帰宅

六時鳥居坂岩崎邸ニ赴キ社長御夫婦ヨリ懇切ナル

饗應ヲ受ケ九時半退出帰宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月23日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

築山の岩間くゝり
て瀧つせの音につ
たはる庭の涼風

【本文】

両三日来暑気次第第二強ク堪へ難シ十一時出社々長室会
議ニ列席其席ニテ昨夜ノ感想ノ腰折両三首ヲ
披露ス

寄庭祝

千代ふへき松の木立に囲まれて池の鏡の曇る時
なし

燈火 ＊トボシビ＊ をけ ＊ケ＊ してをり立つ池の辺に螢飛かふ庭
の涼しさ

宵闇の松の木間に飛ふ螢燃ゆる思ひを池に写
して

滝水を落として庭に螢かな（赤星氏ノ句を修正）

本日午后式時頃關東紡績ノ女工拾人男工一人附添例ノ宣傳
ビラヲ町内ノ郵便受ニ投函發見セラレテ女工五人檢束セラル
午后四時壽美ノ来ルヲ待全乗吉祥寺ノ別邸ニ赴キ宿
泊

【欄外】

【日記の日付：昭和7年7月24日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

本日モ暑氣強ク九十二度以上ノ温度ナリ時々園内ヲ散歩シテ消閑

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月25日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

郷男自宅案内

午後五時半

【本文】

暑気強シ午前十一時吉祥寺ヨリ出社濱田彪氏退職慰

労金及年金ニ付社長ト協議スル処アリ

午后宇垣朝鮮総督ヲ訪問セントシ先方ノ都合ヲ聞ク只今

伊東ニ出發セントスル際ニ付三四日後歸京ユルユル会談ス可シ

トノ事ナリキ

来訪ノ君塚勝彦氏引見巡回講演ノ旅費トシテ金百

圓ヲ贈與ス

午後四時退出全五時半和服ニテ郷男爵邸ニ赴キ荒

木陸相、有賀長文、福井菊三郎主客五人時局救済

ニ付愚見ヲ交換シ十一時半歸宅

吉祥寺邸紅蓮ノ花開クヲ觀テ

紅蓮ノ花咲く朝や親こひし

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月26日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

本日モ暑氣強ク九十度以上ニ昇ル流汗淋漓午前十一時
出社々長室會議ニ臨ム
午後一時半地処課ノ武藤秀三、及武藤能隣ノ両氏
ヲ招キ齎ラス処ノ石堂は一ノ白鞘ノ大小ヲ分與ス刀
ハ新々刀文久二年ノ作大ハ秀三氏ニ小能隣氏ニ何レモ過
日来東洋紡績爭議ニ關シ總同盟ノ連中面會強
要ノ為私邸ニ殺到シタル際ノ勞ニ酬ユル為メナリ
莊田平五郎氏傳記五十冊引受ニ付代金百五拾圓ヲ西
野恵之助氏ニ支払ヒ三拾八冊ヲ俱樂部及社内ニ分與
ス
松村亀太郎氏來訪「長岡徳治氏ヨリ柴原亀二氏譯
ハートレー、ウイザール著資本主義ノ合理性ノ要項ヲ聞ク
膳工業俱樂部常任理事來訪柴原氏ノ講演ヲ來廿
九日午後四時廿分聴取ノ事ト取極メノ報告アリ
后四時退出三好氏ト共ニ經濟研究処ノ移轉先ヲ臨見シテ
歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月27日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

失業対策委員会

内相官邸午後式時

東洋協会研究会第

四十七回

大阪ビル午後五時

永井柳太朗氏講演 断

【本文】

午前十一時出社途次郷男邸ニ一昨夜ノ挨拶ニ立寄ル
社長明日ヨリ箱根登山ノ筈

午后一時万朝報社長長谷川善治過日来再三再四救急

懇願ノ書面ヲ齎ラシ之レニ應セザル為本日人ノ噂トシテ

岩崎両家ニ讒誣ノ辞ヲ羅列シタル書面ヲ送ル憤懣ニ

堪ヘズ余ハ内相官邸ニ臨ムノ時間ニ迫ラレタルヲ以テ船田

一雄氏ヲ介シテ全氏ノ来ルヲ待テ之レヲ面責セシム

午后式時内相官邸ニ於ケル失業対策委員会ノ顔合セニ

臨ム官吏ヲ除キ悉皆元ノ防止委員会ノ連中ナリ開会

ニ先チ山本内相ノ挨拶アリ社会局長官（丹羽）ノ報告之レ

ニ対スル質問ヲ以テ本日ノ会合ヲ終ル五時退散

歸宅スレハ長谷川ヨリ長文ノ詫状来レリシカモ尚依頼

ヲ捨テス

橋本關雪ニ忌明志ニ対スル挨拶状ヲ出ス

君塚勝彦ニ嶺雲文集一冊ヲ與フ全氏ハ本月ノサラ

リーマン雑誌処載ノ記事弁駁ニ使用スト云フ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月28日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

正彦及秀雄ニ宛
送金

經濟研究会茶話会
工業倶楽部
午后四時廿分

松本健次郎君講演 断

【本文】

本日ハ会社室内ニテ気温九十度ニ上ル壽美ヲ飯田橋
ノ齒科医院ニ送りテ十一時出社々長室会議ニ臨ム社長ハ
今朝登山

午后来月ヨリノ家計費宛式千圓ヲ正彦ニ送金ス
本月上旬正彦ヨリノ勘定書ニ尚参百八拾余圓ノ残金アリ

島村秀雄ニ金千圓ヲ送金ス昨年来ヨリ兩度ニ已ニ四
千圓今回ノ分ヲ合セテ五千圓全人債務全部ハ弁済
完了ノ筈ナリ

四時退出歸宅

夜分万朝、長谷川善治ヨリ又書面来ル

白川大將傳記編纂費豫算壹万円ノ内へ拾口分式
拾圓ヲ寄贈ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月29日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

柳谷氏忌明ノ挨拶トシ

案内

帝国ホテル午後六時 断

經濟研究会臨時茶

話会午後四時廿分

柴原亀二氏講演 断

【本文】

午前十一時十分出社全半理事会臨席

午後一時半香坂知事及永田市長府下教員家族六万

人ノ為駿河台鈴木町二七十五万圓ヲ以テ病院建築ニ付

三拾万圓不足ノ分ヲ一般ノ寄附ニ待ツコトトシ当方ニ勧誘ニ

来リタリ皇室ヨリ三万圓御下賜トノコト詮議ス可シト答

ヘ置

万朝社長長谷川善治窮迫哀願煩ニ堪ヘサルニ付船田氏

ヲ介シテ金千圓ヲ渡シ向後ハ自分ニ対シ一切申出デサルコト

ヲ誓フ先日ノ誣告ハ石井陸軍参事官ノ口ヨリ出デタリト云

フモ信ズ可カラズ

四時半退出茅町ニ対シ暑中見舞ノ挨拶ヲ為シ閑話歸

途池ノ端納涼ノ設備ヲ見酷暑ニ堪ヘザル大衆ノ蜩集

ニ驚ク七時帰宅

朝奥村政雄氏来訪

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月30日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

渋沢子爵記念会
創立（準備委員会）
發起人ヲ承諾ス

【本文】

暑氣依然トシテ強シ十一時出社々長室會議ニ臨ミ将来ヲ警戒シテ商事会社ヨリケンテツ会社ヘノ融資四万圓ヲ承諾ス
午後一時鉱業会社ノ重役会ニ臨席ス終テ松田製鐵常務ヨリ銑鐵販賣会社設立ニ付關係会社協定
大要ヲ聴取ス
松村亀太郎氏來訪七月分光村工場損益予算長ヲ持参ス
大東文化大學設立維持資金募集ニ付詮議ノ処差当リ貴意ニ副ヒ難キ旨山本、大島、藤田、加藤ノ四氏宛書面ヲ以テ断ル
四時半退出歸宅
神戸ノ鹿島房二郎氏病死ニ付弔電ヲ発シ供華ノコトヲ倉庫ノ三橋氏ニ依頼ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年7月31日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

此朝珍シク鶯ノ来リナクヲ聞ク
午后三時宇垣総督長岡ヨリ歸京ヲ確メ電話
打合セノ上明朝八時会见ノコトトス
全半壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴キ八時半歸宅本
日モ尚夕立ノ模様ナク気温ハ九十度以上ト思フ

時しらで鶯を聞く

今頃は深山の奥に棲むへきになど
都地に独り啼くらむ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月1日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝八時前日ノ約ヲ履ミ宇垣朝鮮総督ヲ私邸ニ訪問時局ニ關シ談話約一時間長津江水電ハ最早三ヶ年以内ニ着手ノ見込立タザルヲ以テ任意ニ処置セラレタキ旨申置ク」一應歸宅十一時出社

午后食後濱田造船会長ヲ招キ全氏退職ニ付心付ノ廉申傳へ置

午后式時三十四分発ノ汽車ニテ壽美ト共ニ新橋驛ヨリ箱根ニ赴ク岩崎隆弥君家族連レニテ宮ノ下ニ避暑スルニ会合五時半強羅着別荘ニ入ル涼風襟ヲ吹テ俗塵ヲ洗フ快云フ可カラズ夜ニ入りテ少シク雨アリ

照りつく暑さにあへぐ人も木も今宵の雨に
よみかへりける

夜雨来リ白百合庭にそよぎけり
快ク熟睡ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月2日（火）】

【予記 等】

〔予記〕

満州国総務長官駒井

徳三氏歓迎会

東京会館午後六時

会費五円） 断

【本文】

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月3日（水）】

【予記 等】

〔予記〕

經濟聯盟造船及船

舶調査委員会

午后弐時 断

【本文】

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月8日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

〔予記〕

弘法大師報讃会第一
回総会及根本大塔
立柱式
午前十一時ヨリ 断

【本文】

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月25日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

昨夜半歸京シタルモ本日引籠リテ静養ス
午后四時半ふじ知恵之兩人歸宅東京驛迄ハ貴志
文四郎同伴ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月26日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

濱口前首相一年祭

午前八時半

北満水害ニ付打合せ

午后三時

工業倶楽部

午后四時

齊藤首相案内

官邸

【本文】

朝八時半濱口邸ニ赴キ（和装）雄幸前首相ノ一年祭

ニ臨席ス平田守胤氏祭主タリ若槻民政総裁町田倭幣原

田中等ノ前々閣員等列席安達富田ノ諸氏モ見ヘタリ

式典約三十分ニテ終ル歸途財部前海相ト余ノ自動車

ニ全車歸宅車中ニテ發明特許品製作着手援助協

会員トシテ加入勸告ノ為メナリ承諾ノ旨返事ス会社ヨリハ

已ニ武田氏加入シ居レリ

午後三時工業倶楽部ニ於ケル工業倶楽部、日本商工会

議所、經濟聯盟協会、日華実業協会四団体北満水害

救済資金募集ノ打合会ニ臨ミ郷氏坐長トナリ募集ノコトニ

決定三菱三井ハ前回通り直ニ五萬圓ノ寄附ヲ申出テ拾貳万五

千圓立所ニ集マリタリ余ハ先回通り千圓ヲ義捐ス全四時首相

官邸ニ臨ミ首相代内田外相ヨリ全上資金全国的募集

ニ付懇談アリ一同之レニ賛シ徳川家達公委員長トナリ内、外

拓殖四省ノ次官郷、余、児玉、阿部、稲畑、林滿鐵總裁等委員

ニ指名セラル、各団体募集ノ金額ハ此

中央機關ニ集ムル筈ナリ」退出後築地ノ会合ニ赴キ八時半過歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月27日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

朝十時五十分出社々長室会議ヲ開催ス
午后貳時秋保科學博物館長來訪經過報告ト共鉾山
ニカゝル標本出品ノ依頼アリ三谷鉾業会長ヲ招キ適當ノ
モノアルヤ否ヤヲ詮議セシム
斯波造船常務ヨリノ報告ヲ昨日聴取ス
午后三時退出歸宅
夜分雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月28日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

【本文】

午前中雨午后一時頃壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴ク
中野辺迄ハ雨降リタリ別荘ニ到ル頃ハ天候次第
良好トナレリ
トマトヲ、唐黍、唐辛、茄子等自作ノ收穫多
量ヲ齎ラシ夜八時半歸宅
八日会通知状發送ノ件ニ付午前手紙ヲ佐和田一雄
氏ノ自宅ニ出シ内田外相出席承諾ノ件ヲ内藤久寛
老人宅ニ電話ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月29日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十時出社三宅川商会长ヨリ日本生糸及日
露漁業ノ模様ヲ聴取ス
午后船越石油会长ヨリ雀見臨港鐵道株引受ニ付
相談アリ

彦弥太君出社面会

万朝ノ長谷川善治氏来面会ヲ断ル代理ニテモト
ノコトニ付船田氏ニ面談セシム

山内豊政氏、是松準一、君塚勝彦ノ諸氏面会

午后貳時十分故和田豊治氏母堂ノ告別式ニ芝山

ソージヨウ

内ノ増乗寺ニ臨ミテ歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月30日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

【本文】

秋晴レノ天候気温高ク八十四五度ニ上レリ途中壽
美ヲ東京齒科医專ニ送リテ十一時十分出社々長室
会議ヲ開催シ郷古航空常務ヨリ海軍ノ出師準
備ニ關スル秘蜜ヲ聴取ス

弁天町建物ニ係ル火災保険料ヲ明治三菱ノ両社ニ
納ム神戸海上ニ係ル分ハ昨日支払済

午后壺時柴原亀二氏挨拶ニ来リ尚趣意宣傳

ニツキ援助依頼アリ（入費六千圓）千圓位補助ノコト

ヲ三好氏ニ話シ置ク

午后四時退出歸宅

夜分小林茂来ル吉祥寺地面賣買ノ件ニ付話アリ

式反八畝三千五百圓迄ナレバ買受ク可シト申置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年8月31日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

午前十時出社

午後二時半膳工業倶楽部理事来訪北海道出張

ニ付認許ヲ得ンガ為メナリ

午後三時退出途次調髪歸宅

夜半雨降り風強ク吹ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月1日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

【本文】

本日ハ弐百十日ノ厄日ニテ又震災十年忌ナリ
幸ニ暴風ノ微モナク世間モ案外穏ナリ
十一時出社々長室会議ヲ開ク議題ナシ
赤星陸治高橋鍊逸ノ両氏午后引見
柴原亀二氏寓処宛ニ千圓助成ス可キ旨船田氏
ヲシテ申送ラシム全氏弐時頃訪問シ来リタルモ未
タ詮儀セザルヲ以テ一應其旨ヲ話シ面談ヲ断リ
置タリ
午后三時四十分壽美ノ来ルヲ待受全乗シテ
本所震災紀念堂ニ参詣ス五時歸宅
馬杵氏今朝来訪提出ノ書類拾読ノ上一括佐
藤梅太郎氏ニ手交ス
今朝湊川神社宮司藤卷正之氏平沼騏一郎及三上
参次両氏ノ紹介ニテ来訪全社境域改修奉賛会賛
助員ノ名簿ニ署名ス其乞ヲ納レタルナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月2日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時壽美ヲ東京齒科医專ニ送リテ出社
午後一時土居貞弥氏来訪
三菱合資并二分系会社第七、第八回向一ヶ年後ノ収支
并損益計算表ヲ点検ス
午後四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月3日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時十分出社々長室会議開催彦弥太君
出席セラル

一昨日自分認可シタル商事会社大連支店油房六
万五千圓ニテ買入ノ件取締役会通過ノ分ノ追認
ヲ求メ置

午后貳時来訪ノ君塚勝彦氏細君肺炎ニテ高田
耕安氏病院ニ入院ノ為費用ヲ要スルニ付自分幼時
ノ傳記残り六百冊（二冊十錢）庶務課ニ買入依頼シタキニ付自
分ノ了解ヲ得度トノ事ニ付之レヲ止メ自分ヨリ金
百圓ヲ給助シタリ

三時半退出歸宅壽美ヲ伴ヒ吉祥寺ノ別邸ニ赴ク
庭園ニテ

紺青の空に流るゝ天の川源近し稲妻のする

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月4日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

【本文】

終日閑居暑氣強シ各種ノ小鳥庭園ニ群レ来リ遊ブ
夜九時壽美同伴歸宅
つゝれさす
機をおる苦勞も知らぬ人々の月にうかれて
めつる虫の音

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月5日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日仏会館

新任仏国極東海軍司令

長官ベルトロー中將

歡迎会

工業倶楽部午後七時

会費六圓 断

日仏協会総裁閑院宮殿下
台臨

【本文】

今曉三時頃室内ニテ鼠生捕ノ為壽美女中達ト大騒
ヲナシタリ

午前十時出社三菱銀行總會ニ出席原案異儀ナク

可決

午后山内豊政男来訪

白石寿士良氏来訪地錐機械ニ關スル件ナリ

日本生産党三品 ノ面会要望ヲ断ハル（書面）

光村工場紙代手形壺万式千余圓支払ノコトニ付松村倉成
兩氏ヲ招キ之レヲ糺シ深ク今后ヲ注意ス

四時半退出歸宅

夜分九時式十五分ノ汽車ニテ壽美西下神戸正彦ノ
宅ニ赴ク千代子出産間近ク種々打合セノ為メナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月6日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

ベルトロー中將旗艦
ニ茶ノ案内夫婦
共 断、

【本文】

午前十一時式十分出社々長室会議ニ列シ加藤商事
常務ヨリ重役会報告ニ付説明ヲ聞ク
午后自席ニテ串田氏ト共ニ加藤商事常務ヨリ
布島ノ百合根ニ付重ネテ詳細ノ説明ヲ聴取ス
午后三時五十分退出歸宅
壽美ヨリ神戸安着ノ電報アリ
平生鈆三郎氏母堂逝去ニ付悔状發送ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月7日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

正彦長男出生

【本文】

午前十時半出社

午後三時半退出池ノ端浅野屋ノ会合ニ列席九時半歸宅

十一時正彦、全二十分壽美ヨリ千代子安産男子出生ノ快報アリ（午后七時五十五分）

男子出生ヲ喜ブ千代子出来シタリト返電ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月8日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇時々雨

〔予記〕

八日会午后六時山口 請

内田外相賓客

幹事内藤及自分

東園子爵来訪ノ筈

午后一時ヨリ弑時ノ間

【本文】

午前十一時十分出社々長室會議出席

午后一時東園賢光子滿蒙輸出協會并ニ關東国粹團

ノ件ニ付三宅川、三好ノ両氏ニ口添依頼ノ為メ来訪

午后四時半退出歸宅改装ノ上六時山口ニ於ケル八日会ニ

臨ム内田外相ハ御殿場ニ園公訪問ノ歸途直ニ来会セラル貞

山ノ講談ノ後食後閑談十時頃歸宅

此朝久原光夫出産喜ビニ来ル全正安ハ后八時留守中ニ来

レリ昨夜ノ吉報ニ対シ神戸ニ祝電ヲ発シ尚会社ニテ壽美

ノ来信ニ対シ返書ヲ認メタリ

水田政吉氏ヨリ台湾産パイナップル五個ヲ贈ラル

楠公社宮司藤卷正之氏来社社殿改造ニ付会社ヨリ新規ノ

寄附ニ付話アリタルモ断ル

壽美ヨリ今朝着ノ書面ニテ千代子ハ昨曉徳岡病院ニ入

院シタルコトヲ確メタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月9日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨強雨

〔予記〕

正彦長男命名、

【本文】

朝九時半近藤眞一氏来訪嫡孫出生ノ喜ビヲ述ル為也全時
ニ目黒ノ旧邸ハ拾貳万圓ニテ賣却セル旨ヲ聞ク（始メハ拾七万円
ヲ値引）十一時式十分出社理事會出席

午后川上俊彦氏挨拶ノ為来訪

武田秀雄氏ヨリ杵山茂丸氏申入レノマニラニ於ケル中村精七郎
氏獲得ノ森林伐採權ニ關スル当方謝絶ノ模様ヲ聴取ス

福永丸ビル骨董店員持參ノ經家ノ大小及忠吉真改両

人ノ大小拵付ヲ赤星氏ト共ニ視ル値段各八百五拾圓高過クルヲ
以テ笑テ返ス

三時半退出歸途商工会館ニ立寄り実用品ノ見本市ヲ視ル

全館主事安本重治氏ニ案内セラル巡視中日本第一ノ

ハンケチ店中西儀兵衛商店息同苗進氏ニ紹介セラル新館長

矢野恕氏（元長崎控訴院矢野検事長息）ニ対面ス五時歸宅

強雨」森川未亡人来訪邸宅賣却廣告ノ件ナリ

正彦長男ヲ宅之助ト命名命名書ヲ別封ニテ神戸ニ送付

案内書ヲ發送ス夜半雷鳴

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月10日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時十分出社々々長室会議ニ列ス格段ノ問題ナシ
午後三時頃藤村紫朗男来訪無線電話会社創

設ノ件ナリ無線電信会社トノ干係説明アリ実際ハ

感情問題ナリ十七八日ノ頃逋信大臣ヨリ招集ノアル

筈ナリ

午后四時退出丸ビルニ立寄り歸宅

夕刻陸軍大臣官邸ヨリ電話アリ明日面会シタシト

ノコトニ付明日ハ日曜外出ノ豫定ニ付明後日ニ願ワレ

間敷ヤト返事シタルニ大臣ノ意向ヲ聴キ返事ス可シ

トノコトナリシモ夜半迄返事ナシ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月11日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

午后貳時巢鴨ニ老母ヲ訪ヒ曾孫ノ誕生ヲ報告ス母
ハ其男子ナル聞キ大ニ喜ベリ閑談中大工清水ノ息子
法政大學經濟科本年卒業ノ者年廿六偶然尋
ネ来リテ就職ノ件ニ付依頼アリ五時歸宅
壽美ヨリ今朝井上ニ電話カヘリ幼子宮参リノ衣装
新調ノ為久原ニ問合セ依頼アリトノコトナリ待チキレヌ
喜ビヲ表彰シタルモノナルヲ思ヒ笑ヲ禁ゼズ
母ハ先日使ヲ以テ遣ハシタル吉祥寺ノ野菜就中スイート
ポテト―カボチャヲ喜ヒ居レリ本日ハ手作ノ黄水仙トパ
巾シアツプル二個ヲ持参ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月12日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

十一時半出社」此朝光村利之来訪
今朝八時半陸軍大臣ヨリ午后三時半官邸ニテ会见申
込アリ依テ全時刻全邸ニ出頭荒木陸相ト面会ス
話ハ比島内中村精七郎氏稼行森林地帯伐材継
続ニ付テノ内談ナリ海相トモ話合ノ上ト云フ尚近日三井
清一郎（先ノ經理局長貴族院議員）ヨリ説明ヲ受クル
筈ナリ本件ハ過日杉山茂丸氏ヨリ武田秀雄氏迄話
アリ營業トシテハ考慮致シ難シト返事シ置タル件
ナリ詳細ヲ承リ岩崎トモ相談ノ上返事ス可シト申置
ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月13日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

本日神戸ニ於テ嫡孫命名ノ式ヲ舉ケ宅之助ト命名セルヲ以テ心祝トシテ千代子里方福井氏ノ邸ニ今朝赤飯ト焼鯛ヲ贈ル

ヒロ

久原清子夫人泰子ト共ニ祝ニ見ユ先タテ生鯉三尾ヲ贈ラレ又小供ニ対シテ小机小椅子ノ目録ヲ贈ラレ全時ニ裕ノ内祝モ持参セラル新家ヨリハ小供ノナプキン入フオーク、スプーン入ノ箱ヲ贈ラル談話中福井氏夫婦美代子嬢ト共ニ喜ビニ見ヘラレタリ

十一時半出社々長室会議ニ列シ洞海湾築港ニ關シ港湾委員会ノ報告ヲ三橋倉庫常務

ヨリ聴取ス

四時半退出丸ビルニ立寄り福中ニ面会左ノ短刀ヲ入札ス

夜分奥村正雄氏来訪

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月14日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

〔予記〕

老将会

幹事加藤敬三郎氏

西原清東及西山政猪

両氏送別午餐会

中央亭正午 断

【本文】

朝八時中野正剛氏来訪不快ニテ尚就寝中ノ旨

ヲ以テ面会ヲ断ル後朝刊新聞ニテ今夕渡満ノコト

ヲ知ル

十一時十五分出社

午後四時十五分退出新喜楽ニ赴キ老将会ニ臨ム本夕

出席主人ノ外五名碁ハ小メニ全敗將碁ハ大橋氏

ト一勝一敗服部氏ニ一敗十時帰宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月15日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

満州国承認

中秋無月

待わひし今宵の月

に雨の降る復一年
の後を待たなむ

【本文】

午前十一時出社々長室会議開催別段ノ議事ナシ
武田氏病氣ノ為先回ヨリ引籠

キク

午后一時半朝鮮總督府會計課長菊山＊嘉男＊氏来訪

春畝山博文寺来月廿六日落成式举行ニ關シ宇垣

總督ヨリ案内ノ口上傳達ノ為メナリ

丸ビル美術店落札左文字ノ短刀（貳拾八円五拾錢）

ヲ受取代金ヲ支払フ

斯波造船常務及三谷鉾業会長引見三谷氏明

日ヨリ静養ノ為メ強羅別邸ニ赴ク筈

山内豊政子四男（京大經濟科明春卒業岡本武

彦方寄偶）ヲ伴来訪

満州国承諾本日后四時発表

三時半退出共楽俱樂部ニ立寄り入札スル処アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月16日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

〔予記〕

東洋協会東亜經濟
中央滿蒙協會滿
州国承認祝賀会
東京会館午后五時 断

北滿水害救援中央
委員会
東京会館
午后五時 断

【本文】

午前十一時半出社
鮮人朴栄勲ナルモノ過般両度書面ヲ送り来リ近親
四名月謝ニ窮スル旨ヲ以テ援助ヲ乞ヒ来ル不■ニ思ヒ学
校ニ就キ取調ヘヲナサシメタル処轉學後出校ノ場合少ク
（本年四月目白学院ヨリ轉校）月謝ハ兩人翌月納メタルノミ
憐ム可キモノニアラザルヲ以テ其儘ニ打棄置タル処昨日
ヨ今朝ニカケ五六度来訪セルニ付会社ニ参ル様申聞ケ
タリトノコトニ付其旨ヲ武藤氏ニ通シ面会セシム
午后一時半九大総長松浦鎮次郎氏来訪理科大學
ヲ加設ノ為メ基本金募集ノ為メナリ余ハ其時機ニ
アラザル可キヲ返事シ單ニ冀望ヲ聞置クニ止ム
来十九日通信大臣ヨリ国際電話株式会社設立ノ件ニ
關スル招待ニハ串田氏ト打合セ欠席スル事トス
四時退出上野下ノ会合ニ臨席九時半歸宅
中秋無月 山田三次郎氏作
傘さして無月に月を待ちにけり

【欄外】

留守中典夫来訪パイナップルヲ持セ歸ヘスト聞ク

【日記の日付…昭和7年9月17日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

昨夜雨今曉モ依然曇天雲深シ正彦社用ニテ今
朝九時東京驛着一度本店ニ入り十一時歸宅壽美
ヨリノ書翰ヲ齎ラス千代子出産ノ一部始終ヲ聞ク
十一時十五分出社々長室会議ヲ開キ雀見臨港株約
三千株三菱石油ノ為メ買入ヲ承諾ス
若松築港重役会期日ニ付問合セアリ廿九日好都合ナ
ル旨返事ス
三時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月18日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

江木翼氏死去

【本文】

正彦ハ早朝ヨリ友人ト共ニコルフニ行ク
午后一時吉祥寺ノ別邸ニ赴キ五時半歸宅讀賣タ
刷ニテ江木翼氏本日午后〇時死亡ノ凶報ヲ知ルト
全時ニ留守中弑時頃江木氏邸ヨリ其旨報知アリタ
リト女中ヨリ報告

正彦ハ后弑時半歸宅更ニ福井氏宅ヲ訪ヒ自分
歸宅少シ許先ニ歸リ居レリ晚餐ヲ共ニシ七時半
ノ汽車ニテ下神長則ヲ送ラシム昨夜認メタル壽美
ノ手紙并全人渡金弑百圓ヲ正彦ニ托ス
自動車ノ歸リヲ待チ八時江木邸ニ悔ニ赴キ棺前
ニ焼香ス俵、原、渡辺ノ前大臣、鈴木、中島、湯浅
松村等ノ諸氏ニ面会ス時余ニシテ歸宅ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月19日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

国際電話株式会社
設立ノ件ニ付南弘通
信大臣ヨリ案内
午前十一時
総理大臣官邸 十七日 断

【本文】

今晝七時神田雷蔵氏来訪横濱ニ於ケル倉庫ノ
件ト想像スルニ付就寝中ノ旨ヲ以テ面会ヲ断ル
十一時十五分出社
松村亀太郎氏来訪面会
午后一時半茅町男昨日小岩井ヨリ歸京本日出勤
セラレタリト聴キ家庭事務処ニ往訪ス
元神戸造船処附属徒弟學校長上月為直氏ヲ引見
ス今回在勤二十五年ヲ以テ円満退職ノ挨拶ニ見ユ將
来ハ楠公協会ニ尽力スル筈ト云フ全氏ノ家ハ神職ノ家
ニテ父ハ海神社ノ宮司タリ兄ハ先年物故シタルモ夫迄
楠公社ノ宮司タリ藤巻現宮司モ父ノ門下ト云フ
四時半退出歸宅
共楽落札二代康繼ノ刀（三五円）来国長ノ刀（二八円）梨子
地桐紋飾太刀肥前忠宗（六八円）康繼手槍（一六円）
關兼時手鎗（一六円）古九谷富士形双鴨ノ皿五客（五五円）
蕭白筆若松ニ女夫雀（式耄円）ノ七点ヲ受取ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月20日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

土佐二十日会幹事川渕、坂本正治
丸ノ内常盤午后五時
半 請

學術進歩研究＊振興＊ノ件ニ
付鳩山文相案内
東京会館午后四時半、
請

【本文】

午前十一時十五分出社々長室会議ニ臨ム
午后一時半三井清一郎氏（貴族院議員）荒木陸相
ノ依頼ニヨリ中村精七郎氏ノ稼行セシマニラニ於ケル
木材会社ノ成行ヲ説明ノ為メ来訪圖面其他書類
尅袋ヲ預ル

午後四時半東京会館ニ於ケル學術研究振興ノ件
ニ關スル鳩山文相ノ招待ニ臨ム文相ノ挨拶之レニ對スル
櫻井錠二、財部前海相小野塚總長坂谷芳郎
藤沢利喜太郎ノ演辻アリ余ハ六時半中坐、丸ノ内
常盤ニ於ケル土佐二十日会ニ臨ム食後永野海軍中
將ヨリ軍縮會議ノ模様報告アリ十時帰宅
此日会社ニテ武田秀雄氏ニ對シ三井清一郎氏来訪
ノ趣意ヲ傳へ岡田海相ノ意向ヲ糺サンコトヲ依頼ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月21日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

〔予記〕

瀬豫防協会理事

余内務大臣寓邸

午前十一時

江木翼氏葬儀

午前九時十時ヨリ十

一時迄告別式

青山斎場

日本経済聯盟片岡

安氏招待茶話会

断

【本文】

朝九時青山斎場ニ赴キ江木翼氏ノ葬儀ニ列シ

民政党智囊ノ斃レタルヲ憐ミ全時ニ壮志ノ半途

挫折シタルニ全情ス養父千之翁歿シテ未タ月余

ニ過キス而シテ今復君ノ逝クアリ江木家ノ不幸之レニ過

キタルハナシ九時五十分出社

午后一時半済生会ノ馬淵鋭太郎氏来訪三百万圓

ノ分配ニ付冀望ヲ述ベテ歸ル

今朝彦弥太君出社閑談中武田秀雄氏来リテ昨夕

寄合退出後ノ経過ヲ報告セラル

午后五時三菱倶楽部開催ニカ、ルムソリニートヒトラ

ート題スルフアツシヨニ關スル講演ヲ傍聴シ六時半

退出歸宅

午後九時鮎川義介来訪十二時半歸ル

福中又次ノ手代山城住藤原国清及肥前忠吉ノ太刀

ニ振ヲ持参一覽ノ上持歸ラシム

【欄外】

来栖武夫氏妻貞女ニ子供苦學費拾五円ヲ贈與ス

【日記の日付…昭和7年9月22日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

經濟研究会講演

五来欣造氏於工

業俱樂部午后四時

二十分 請

全產理事*常任委員*会并二片

岡氏招待午餐

十一時 請

故團男傳記編纂会

評議員会午后一時

昭和ビル台灣クラブ 断

【本文】

朝九時新日露漁業会社々長窪田四郎氏来訪旧日

露漁業会社ニ対スル幫助ノ挨拶トシテ三段織ノ甲冑ヲ贈ラル

全時町田忠治氏来訪党ノ費用ニ關スル内談ト察セラレタル

モ余ガ出社ノ時間迫リタルヲ知リテ其話ニ不及辞去江木翼

氏ガ年々某社ヨリ拾万円ヲ受領シ居リ病氣就床中忒

万五千圓宛兩度ニ党ニ送り来リタルト聞クハ初耳ナリ

十時四十分出社々長出勤ニ付三井清一郎氏来談ノ大要

ヲ話シ次テ社長室会議ニ入ル全員出席彦弥太君モ列

席ス

十二時工業俱樂部ニ於ケル全国産業團體常任委員会ニ

臨ミ引継ギ過般労働會議ヨリ歸京シタル政府代表川西

氏使用者代表片岡安氏一行歡迎ノ午餐会ニ臨ム

郷委員長歡迎ノ辞ニ次テ川西、片岡両氏ノ報告演説アリ特ニ

片岡氏ノ米国ニ於ケル一ヶ年ノ家屋建築費ハ五―六十億円

過去弐十年間二千弐百億弗ヲ費シタル

モノ本年ニ入リテ全然停止セラレタリ全国不景氣ノ一大原因ナリトノ△

【欄外】

△話ハ注意ヲヒキタリ弑時半歸社四時半退出今朝井上ニ家計費トシ百円ヲ渡ス

【日記の日付…昭和7年9月23日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

〔予記〕

泉州界土佐烈士館
建築地鎮祭案内
断

【本文】

今朝ハ来客ヲ謝絶シ十二時迄熟睡ス桐島氏夫婦喜
ビノ為来訪セラレタル面会スルヲ得サリキ
后十二時半典夫来ル三時全道上野ニ赴キ日本美術院
ト二科会ノ和洋両畫ノ展覧ヲ視ル三枚橋ニテ典夫
ニ分レ田島ニ立寄り長春美人（百三十円）光琳楓（三
十円）ノ式幅ヲ購ヒ歸宅ス
昨日千代子退院明朝壽美歸京ノ電報案内アリ
夜分共樂俱樂部ヨリ雅邦富士ノ小点（三拾円）
次札落トシテ持参ス本品ハ桐ノ二重箱入りニテ秀邦
ノ箱書ナリ田島ニテ本日雅邦紙本小点山水ヲ看ル代
金百円ヲ称ヘ秀邦ノ鑑定箱書ニ式拾五圓ヲ要スト
云フ之レニテ推断スル時ハ代金ハ二重箱ト鑑定箱書
料ヲ償フニ足ラス中身ハ無代トナル呵々
夜十一時廿五分輕微ノ地震アリ
馬杓遲氏ヨリ挨拶ノ書面来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月24日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

癩豫防協会理事
会午前十一時半
内相官邸副会頭及
理事長改撰ノ件

【本文】

朝十時半壽美神戸ヨリ歸京詳細ノ報告ヲ待タ
ス会社ヨリノ電話ニテ急遽出社々長室會議ニ列ス
全十一時半内相官邸ニ於ケル癩豫防協会理事会ニ
臨ミ副会頭兼理事長河原田前次官ノ代リニ潮次
官ヲ推撰シ六年度ノ収支決算ヲ議了シテ午餐ヲ
共ニシ式時歸社
全貳時十分神田正雄氏來訪全氏支那視察ノ報告
書（北平ヨリ南京迄）ノ一冊ト雜誌海外十月号ノ送
付ヲ受ケ全氏ガ支那要人段驥端、吳佩孚、王跳銘
等ト交渉ノ顛末ヲ聴取ス
全三時京都火災ノ奥村 、両氏挨拶ノ為訪問
四時退出歸宅
夜分壽美ヨリ神戸滞在中ノ模様ヲ聴取ス
日露漁業社長窪田四郎氏ヨリ挨拶トシテ甲冑ノ贈與
ヲ受ケタル旨ヲ報告シ認可ヲ得タリ三宅川氏受贈承認
ノコトモ報告シ置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月25日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

吉野神宮奉賛
会役員総会及御
造営竣工報告祭
午前十時（半） 断

観光局佐渡行案
内 断

【本文】

午後一時半壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴キ八時歸宅
明日西下ニ付小林ヲ帶同ス可キ旨全人ニ申聞ケ置、
昨朝網屋ノ手代拵付忠光ノ太刀、康光ノ小刀及左安吉
ノ大刀ヲ持参ス左安吉ノ大刀拵付ヲ参百八拾圓ニテ買
約シ処有二代康繼（越前）ノ大刀（白鞘福井市長旧蔵）ト
共ニ磨ニ遣ハス安吉ノ大刀代金未払ナリ康繼ノ刀ハ
三百圓ノ價值アリト云フ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月26日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

銀行重役会

十一時 欠席

【本文】

午前ハ秋晴レノ好天氣ナリ十時五十分出社武田
秀雄君ヨリヒリピン木材会社ニカゝル岡田海相ノ意見
ヲ聴取シ兩人打連レ社長室ニ入り全件ニ關シ意見
ヲ開陳ス余ト武田氏ノ意向ハ事業再開ニ必要
ナル資金ノ内圓價下落ノ額ヲ補足シ且テ軍部ヨリ
給與ノ拾參万余圓ヲ以テ従前ノ通中村精七郎氏
ヲシテ之レニ当ラシメ無限ノ負擔ヲ逃レントスルニアリ社長
純理ヲ主張シテ頑トシテ之レニ應セズ兩人之レヲ諫メ余
ノ旅行ヨリ歸京スル迄ニ社長ヲシテ再考セシムルコトトス
尚社長ノ意見ニヨリ余ヨリ成行ヲ三好、船田、永原
ノ理事ニ傳ヘ考慮セシムルコトトス
鉱業会社河手、 ノ両常務ヨリ美唄炭坑付近
浅野系稼行ノ炭坑ニ一手販売獲得ノ代リニ金五
拾万円（已二十万円貸出）貸増ニ關シ意見ノ開陳アリ
異儀ナキヲ答フ
夜分九時廿五分小林茂ヲ従ヘ
急行ニテ下神

【欄外】

式時半松村亀太郎氏来訪

【日記の日付…昭和7年9月27日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

万葉聴講会 断

【本文】

米原驛ニテ目醒メ衣服ヲ更メ食堂列車ニ入ル琵琶湖畔ノ秋色ハ稲田ノ實リト共ニ高シ京都大阪ヲ歴テ九時卅五分三ノ宮新驛着移轉以来全驛始メテノ下車迎ヒヲ受ケテ西常盤ニ入り茂ハ土産物ヲ携ヘ其自動車ニテ直ニ長田ニ赴ク

午后貳時中食後長田正彦ノ宅ニ赴キ始メテ宅之助ニ対面ス赤ン坊ニテおもちゃトナルハ年余ノ後ナル可シ母兄健全ナル肥立ヲ觀テ喜ブ正彦休暇ヲ受ケ在宅セリ正彦茂全道邸内ヲ巡視指図スル処アリ
六時半歸宿夜分雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月28日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

大久保利武氏案内
紅葉館午后六時 断

【本文】

昨夜ヨリ降続キ外出ニ便ナラス午后貳時半三宮支
店ニ赴キ全処ニテ栗田、桑田、相川（貞吉）西脇長尾ノ各
支店長及船舶部長ニ面会閑談時余ニシテ歸宿
午后六時登原剛藏氏（造船ノ）来訪
夜十時五十六分ノ特急ニテ小林ヲ伴ヒ神戸驛ヨリ西下島
村秀雄相川貞吉赤坂等見送ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月29日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

水難救済会評議員
会午前十時本部ニ於テ 断

【本文】

夜半糸崎通過ノ頃ヨリ雨止ム朝食前始メテ黒田長知
男ノ隣室ニ全車セルヲ知ル八時五十五分下ノ關着原造
船、板倉商事、 倉庫、小村若松、島村門司ノ鉱業
支店正副長、国司浩助、大吉、春帆楼ノ女將ニ迎ヘラレ小林
ヲ春帆楼ニ残シ小村国司ノ両氏ト若松ニ赴ク大吉女將ハ
小倉迄全行浩助氏トハ戸畑ニテ別レタリ
暫時若松支店ニ入り十一時築港会社ノ重役会ニ臨ム松本
社長ノ外黒田吉田両取締役大倉監查役列席議事ヲ
進ム弐時終了洞海湾内埋立ノ模様ヲ視察シ三時上
陸支店ニ入り更ニ自動車ニテ井上達五郎夫人ヲ自宅ニ訪ネ
歸リテ門司ヨリ来合セタル島村ニ小村ヲ帶同シテ門司ニ向フ戸
畑驛ニテ復国司浩介ノ海軍々需局長ヲ門司迄送ルニ会合シ
全人ヲ加ヘテ春帆楼ニ入り各場処長ト晚餐ヲ共ニシ十時
就寐

【欄外】

【日記の日付…昭和7年9月30日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

【本文】

朝十時小林ヲツレ長府ニ赴キ鮎川母堂ヲ省ス宅之助
生後五日目ノ写真ヲ渡ス姑氏大満足ナリ全処ニテ光夫

ヒロシ

ノ長男久原裕ノ生後十五日目ノ写真ヲ視ル十二時歸宿
途次安徳天皇ノ御陵ニ参拝ス

夕刻板倉、島村、ノ三氏訪ネ来ル板倉氏ト暮戦ニ
回皆敗北ス全氏ハ備中高梁ノ旧藩主板倉子爵家ノ出ナリ
特盆栽ノ仕立ニ精通ス晚餐ヲ共ニシ八時三十分ノ特急
ニテ歸東ス高松宮殿下同車ニ御搭乗アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月1日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝六時五十五分神戸着秀雄及支店某ノ出迎ヒヲ受ケ西常
盤ニ入ル小林ハ直ニ長田ニ赴ク
高松宮殿下モ全処ニテ御下乗楠公社御参詣ノ上楠公史蹟
御研究ノ為河内国ニ向ハセラルト承ル
午后貳時長田ニ赴ク小林車中ニテ腹痛下痢長田ニ入ルヤ否ヤ
直ニ就床医師ノ診断ヲ受ケ平臥中ト聞キ之レヲ見舞フ
正彦赤坂幸作ノ歸宅ヲ待合セ明日ノ行動ヲ打合セ七時半
歸宿
此夕宅之助入浴ノ模様ヲ視ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月2日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

△八尾大阪ヲ經過シ七時
諏訪山旅宿ニ歸着
正彦等ヲ送ルニハ別ノ
自動車ヲ以テス

【本文】

昨夜ノ打合せニヨリ午前八時秀雄、康雄、正彦、幸作打揃フテ
旅宿ニ来ルいろはタキシードノ自動車ヲ午後七時借切（二十八円）
リタリ本日ノ行動左ノ如シ
九時半ヨリ十一時半迄大阪城見物史跡展覽十二時ヨリ一時半
朝日食堂ニテ午餐（十円弍十錢）

弍時十五分ヨリ三時迄ニ四条畷ニ赴キ先ツ楠正行ノ墓ニ詣ツ
塋域約千坪斗二本一鉢トナル楠ノ大樹ノ下ニ遺骸ハ埋葬セラレ
タリト聞ク側ニ石垣ヲ結び贈從三位楠正行朝臣ノ墓ト記セル石
碑アリ大久保利通ノ書ナリ明治十年＊サイシユ＊界縣令指図ノ許
ニ塋域ヲ調ヘタルモノト聞ク去テ和田賢秀ノ墓ヲ吊ヒ飯盛山ノ

ヌカツク

石段ヲ上リテ四条畷神社ニ頓首社殿ヲ辞シテ若江ニ赴キ木村重
成ノ墓ニ詣ツ途中遺牌寺ノ筋向フニ新シキ重成ノ銅像建テラル
墓ハ田甫ノ中ニアリ去ル事町余墓石ハ粗末ナルモ回ラスニ石垣ヲ以テス
下ニ老松アリ之レ埋葬ノ遺跡ニアラザルカ贈位祭近キニアリ塋域
擴大ノ為工事中ナリキ道ヲ隔テ重成ニ打タレタル山口重信ノ墓
アリ重成ノ分ヨリハ見事ナリ△

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月3日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

朝拾時半ノ急行ニテ相川商事支店長ト共ニ大阪ニ赴ク
十一時五分梅田着出迎ヘノ高木銀行、上野商事ノ両支店長菱
三商会ノ三品、江戸川分工場（十条）長ノ長田ト共ニ十条ノ工場ニ赴
キ蔦酸及蟻酸製造ノ模様ヲ視十二時一同ヲ伴ヒ雀屋
ニ入り午餐ヲ共ニシ諸子ノ報告ヲ聴取シ三時四十五分ノ急
行ニテ相川氏ト共ニ歸神三宮ヨリ商事ノ自動車ニテ長田
ニ至ル小林ハ病氣全快作業中ナリ赤坂母ト妻宛拾円正彦ノ
女中律女外一名ニ各五円與市ニ五圓ヲ与ヘテ歸宿

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月4日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十一時田中倉庫支配人來訪全半辞去
后一時和田岬造船処ニ赴キ徳大寺間ノ造船電気兩処長ニ面会
作業ノ近況ヲ聴取シ造船処ノアイドル職工一日百五十名内外ニ下リ
昨日潜水艦二隻ノ修膳下命ヲ受ケタルニ付近クアイドル皆無
トナル可シトノ報告ヲ聞ク
三時長田愛久沢直哉氏邸ニ仝氏ノ病床ヲ見舞ヒ氏ト談話
ヲ交換四時正彦宅ニ赴キ宅之助ヲ視ル乳吞過キノ為メ栄
養器ヲ害シ少シク発疹ノ徴アリ小兒科ノ医師ヲ招キタ
リトノコトナリ五時半正彦歸宅医師ノ來診ニ会フ容躰ヲ停
車場ニテ聞クコトトシ歸宿
晚餐ヲ終ヘ八時三十八分ノ急行ニ神戸驛ニテ搭乘小林ヲ随ヘ
歸東見送り正彦、幸作ノ外康雄島村八重子母子徳大
寺間ノ兩処長西脇安西ノ諸氏ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月5日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

丁卯会新喜樂

幹事岡田、望月

池田原各務 断

「〔撫順粉炭ニテ一キロ五釜ノ發電ニテ〕は本文に挿入」

【本文】

昨夜車内ニテガスパー（ヅルサー工場ノ）ニ遭遇シ独
ノ近況ヒトラ一ノ活動ニ關シテ意見ヲ交換ス

朝九時東京驛着造船ノ伊東取締役及森豊之

助長則ノ出迎ヲ受ケ一應歸宅

午前十一時五十分出社々々長欠勤

午后三時斯波男爵（忠三郎）吉田陸軍大將（豊彦）

ノ両氏前者ハ満鐵ノ顧問後者ハ満州国ノ顧問トシテ

左ノ三件ニ付了解ヲ得ル可ク来訪

一新製鋼所ヲ式千四百萬圓ヲ以テ鞍山ニ置キ製品ノ内式十萬

屯ハ八幡製鐵処ノ薄板ビレットノ分肩代リヲナシ十

萬屯ハ満州ニ於ケル鐵道用レール橋梁材トナスコト

一＊撫順粉炭ニテ一キロ五釜ノ發電ニテ＊

リー安九萬屯製作（水素等肥料塩ト化合シテソーダ

灰製造等ノ為）主トシテ台湾南洋ニ輸出ノ見込

一満州五ヶ処ニ於ケル原料ヲ以テアルミニウムノ製造ニ着手

ノコト、以上主トシテ内地トノ競争ヲ避ケルコト、

四時半退出

【欄外】

三宅川商事会長ニヒリピン木材会社ニ付糺ス処アリ

【日記の日付…昭和7年10月6日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前九時大東文化協会々々長山本悌二郎氏代理ト
シテ全學館教授某氏來訪本月十三日開催ノ全
会創立十周年紀念祝賀会費用三千圓ノ内半額
ヲ寄附ニ待ツ事トシタルニ付應分ノ義捐アリタシ
トノ事ニ付安達謙藏山岡萬之助氏並ニ金五拾
圓ヲ出捐スルコトトシ即時其金額ヲ交付シタリ
十時半出社十一時開催ノ社長室会議ニ臨ム全員
出席彦弥太君モ陪席余ハ昨日斯波吉田両氏訪問
ノ趣意ト出張中ノ見聞ヲ報告シテ後ヒリピン木材会社ニ關
スル荒木陸相ノ依頼ノ対策ニ付再應社長ト論議ヲ
闘ハシ遂ニ理事（本社）ヲ併セタル協議ノ結果ニヨリ社長
再考スルコトトナル依テ午后三時社長ヲ除キ串田、武田、青木
三好、船田、永原ノ六氏ヲ招キ余ノ意見ヲ説明ス全員余
ノ意見ニ全意ス依テ三好氏ヨリ社長ニ報告セシムルコト
トス」斯波造船常務ヨリ報告ヲ受ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月7日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

【本文】

午前十時五十分出社三好氏ヨリ報告ヲ受ケタル社長ハ
全然余ノ主張ヲ納ル、コトトナリタリ
午席前十一時半河村金五郎氏田坂一郎氏ノ件ニ付来訪
同氏ノ病症（バンク、ヒーバー）永ク上海ニ止マルヲ許サ、ルノ情報
ヲ聴取シ午餐ノ際三宅川氏ニ打合せ一旦歸任ノ上最近ノ
機会ニ轉勤取扱ノコトトス
午后、倉成文太、山内豊政、土居貞弥、中村元督（謝
介石廿四日ニ四團體共同シテ招待ノ件）松村亀太郎ノ
諸氏ニ面会
護国青年義勇團ノ件ニ付光川某*文相俟*来訪平田ヲシテ應
接セシム基金拾万圓寄附依頼ノトコトニ付人事係ニ回シ
タリト聞ク
松田製鐵常務朝鮮ヨリ歸京報告ヲ聞ク
四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月8日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

護国義勇團創立

ノ件ニ付

鳩山文相官邸ニ招集

午前十一時半

鳩山、永井、永田、手塚、

小笠原長生、柴田徳

次郎 断

八日会后六時

鈴木政友総裁案内

幹事、郷、池田、 請

【本文】

午前十時五十分出社々々長室会議ニ列ス

午后貳時半船田理事ヨリ彦弥太君交際費自分手

許預金ヨリ支弁方依頼アリ依テ金五千圓ノ振替ヲ

ナス可ク堀録亮氏ニ申聞ケ置ク

后三時退出歸宅

全六時和服ニ改メ木挽町山口ニ赴キ八日会ニ臨ム藤山、中

島、内藤ノ三氏欠席賓客ハ政友総裁鈴木喜三郎氏

ナリ食後閑談一時間余十時半歸宅幹事ハ郷誠之

助男ト池田成彬氏ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月9日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

【本文】

午後一時半壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴ク道路頗ル悪シク
車体ノ動揺甚敷夕八時歸宅

此夕四時頃尾長鳥群ヲナシ（約百羽内外）テ別邸ノ園
内ニ来リテ水浴ス式参十羽ノ来リ集ル事ハ珍シカラサル
モ此日ノ如キ光景ハ始メテ見ル処ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月10日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

江木千之、翼逝去ノ
際助勢挨拶ノ為メ
相続人芳郎氏ヨリ
午後五時東京会館ニ
案内 断

【本文】

午前十時四十分出社
全十一時半磯部鉄吉氏（麹町区山元町二丁目八番地）
来訪某氏著除虫菊殺虫剤ニ關スル著書ヲ寄
贈ノ依頼ヲ著者ヨリ受ケタル為メナリ
午后岡田岩藏氏鉾山会社顧問引退ニ付挨拶ノ為
メ出京引見
午后三時東武（政友）山本厚三（民政）金子元三郎
田中清輔ノ四氏北海道水災救助金募集ニ關シテ
解ヲ得ル可ク来訪報告書ヲ三好常務ニ渡シ置ク
午后四時半退出歸宅
夜分食後仮睡ノ際胸部ニ圧迫ヲ感ス依テ戸田
按摩ヲ招キ按腹快癒

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月11日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

快晴

〔予記〕

駐日米大使シヨセフ、
シー、クリュー氏及出
渕駐米大使東京
倶楽部招待晚餐
会后七時半 断

【本文】

朝九時大橋新太郎氏来訪渋沢故翁ニ対スル寄附
金ノ取極ヲ促ス為メナリ
午前十一時出社々長室会議ニ臨ム社長先之退出ス
午后一時二十分工業倶楽部ノ膳常任理事来訪
午后式時通相官邸ニ於ケル国際電話株式会社設立
実行委員会ニ臨ム（第三回）

委員長 郷誠之助、委員 池田成彬、原邦造、
堀啓次郎、大橋新太郎、小倉正恒（欠）樺山資英欠
根津嘉一郎、串田萬蔵、藤村義朗、阿部房次郎欠
有賀長文、木村久壽弥太、結城豊太郎、

三時十五分歸宅五時更ニ荒木陸相ヲ官邸ニ訪問ヒリ
ピン木材会社ノ業務ヲ中村精七朗氏ヨリ肩代リノコトハ中村氏
以上ノ経営ヲ期シ難キヲ理由トシテ之レヲ断リ若シ軍部ニシテ
之レヲ望マバ休業復活ノ資金（拾参万五千円）ノ為替値下リノ
額（推定八万―拾万円）ハ之レヲ補給ス可シト提言ス陸相之レヲ
了シ厚意ヲ謝シ中村ヲ督励シ何分ノ挨拶ヲ為ス可シトノコト也

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月12日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老将会 四時

幹事大隈信常 請

ビエル、リヨーテー博士

招待講演茶会

經濟聯盟主催

午後四時 断

【本文】

午前十一時出社舟越三菱石油会長ヲ京城ニ於ケル春畝山
博文寺ノ落成式ニ臨場セシムルコトトス

午后加藤常務ニ面会コーンフロタクトコンパニーノ副社長（
ー）ノ為メ明日催ス可キ高輪邸ニ於ケル午餐ニ出席ヲ断
ル

午後四時退出丸ビルニ立寄テ福中又次ノ店ニテ拵付大刀
数本ヲ展見シ五時新喜楽ニ於ケル老将会ニ臨ム毎戦

皆破ル大橋三宅川、小田切ノ諸氏食事ニ先チ退出晚餐

ヲ共ニシタルハ幹事ノ外余ト生田、藤原ノ三氏已次回ハ余ノ
幹事ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月13日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

大東文化協会創立
十周年記念祝賀会
日本青年会館
午后五時 断

【本文】

朝九時堀三太郎氏玄關迄来訪松茸ヲ贈ラル
網屋手代左安吉ノ大刀研上ノ上康繼研上ノ分ト共ニ
持参ス代金研料共四百五拾壱圓五拾錢ヲ支払フ全時
ニ宮本包則作小刀宅之助護身刀トシテ拵ヲ依頼ス
康繼ノ大刀ハ見事ナリト云フ安吉ノ小刀ハ稀ナラザルモ大
刀ハ至テ尠シト云フ
午前十一時出社々長室会議ニ臨席ス
午后貳時青山斎場ニ於ケル井上辰九郎夫人ノ葬儀ニ
臨ミテ歸宅
夜分戸田按摩ノ療治ヲ亨ク
此朝鮎川義介来社自動車製造業者合同（政府ハ此
会社已ニ注文スルコトニ内定）ノ件ニ關シ渋谷正雄ト第一銀行ノ
關係ヲ述べ（第一ノ石川島ノ株約貳万ハ渋畚＊沢＊之背景ニアラズト
云フ）加藤恭平氏ヲ通シテ三菱造船ト交渉中ナル旨話アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月14日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

香坂東京府知事
商工会館ノ件ニ付報
告ノ為案内
東京会館午後五時
半 断

【本文】

午前十一時半出社理事會出席此朝十時半町田忠
治氏來訪民政黨總裁■為懇請スル処アリタルモ望ミ
添ヒ難キ旨返事シ置ケリ
午後君塚勝彦氏來訪
午後三時首相ノ招キニヨリ官邸ニ參集北海道水害救
済資金募集ニ關シ首相ヨリ援助ノ依頼アリ引続
キ後藤農相ヨリ災害視察ノ報告アリ之レニ對シテ
徳川貴族院議長ヨリ秋田衆議院議長、郷日本商工
會議所長ト共ニ募集ノ責任ニ当ル旨挨拶アリ余ハ三
井ノ有賀氏ニ應募金額ニ對シ内意ヲ話シ明日全
氏ヨリ確約ノ返事ヲ聞クコトトシテ分ル歸途築地ノ
例会ニ臨ミ九時半歸宅夜半ヨリ雨
午餐ノ際串田氏ヨリ江口定条氏長男健助夫人（岡
實氏娘）十二日夜急ニ死去セル旨ヲ聞ク明日葬式トノ
コトニ付全氏ト共ニ花輪ヲ贈ル事トス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月15日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

養育院創立六十周年記念式
午前十時本院ニテ
挙行 断

【本文】

午前十時四十分出社々長室會議ニ臨ム
會議中三井ノ有賀氏來訪北海道水害救済義捐金ニ付
協議スル処アリ双方拾万圓出捐ト決シ其旨ヲ内相ニ報
告セシムルコトトス本日社長室ノ議題ハ時局ノ為メ出資ヲ
約シタル三百万圓ノ催*支*途ノ大綱ヲ決定スル為メナリ
午后福中又次ノ店ヨリ持参セル刀劔数本ヲ船田氏ト
共ニ点檢ス東武氏以下四名來訪セルモ江口氏方ノ營葬
ニ臨場スル時間ノ余裕ナキヲ以テ御冀望ニ添フコトニシタル旨
返事セシメ面会セズ
午后一時四十五分青山斎場ニ於ケル江口健助夫人ノ葬儀
（耶蘇）ニ臨ミ江口岡両氏ニ悔ヲ述ベ去テ青山高樹町ノ
邸ニ岩崎俊弥君ノ三周忌ノ法要ニ臨ミ茅町男御夫婦松
方正作君ナドニ面会ス四時退出歸宅
夜分戸田按摩ノ療治ヲ受ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月16日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

本日ヨリ明日ニカケニ日続キノ休暇ニ付場合ニヨリ奈須ニ
赴カント思ヒシモ雨天ノ為メ見合セタリ
午后一時ヨリ上野ニ開催ノ帝展本日招待日ニ付之レニ
赴ク觀賞約式時間四部ヲ通シテノ巡覧ニハ大ニ
疲労ヲ覚ヘタリ日本畫ハ概シテ壁掛ノ大額様ト
ナリ洋畫トノ分界ハ只絵ノ具ノ相違已トナレリ洋畫
彫像余トシテハ視ルニ足ル者ナシ寧ロ工業美術ノ趣
アルヲ喜ブ四時歸宅仮睡
夜分戸田按摩来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月17日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

養育院井ノ頭感化
部學校運動会 断

【本文】

本日ハ神嘗祭ノ大祭休日ナリ天候ノ回復ヲ喜ブ
午后一時半ヨリ壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴ク往途ハ高
田ノ馬場ヨリ中野電信隊ノ裏ヲ經テ田無街道ニ出
テ復路ハ幡谷ヨリ右折シテ本道ニ出テタリ道路凸凹
ヲ避ケンガ為メナリ七時半歸宅
壽美先日來持病ノ胸痛ニ悩マザルヲクハ食後式時
間以内ニ起ル幸ニ今日ハ大事ニ至ラズ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月18日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

国民外交研究会ヨリ
名誉会員（一〇〇人ヲ
限ルト云フ）トシテ推撰
承諾依頼アリ
少シク考慮スル処アリ
差当リ御断致シ度ト
返事ス

【本文】

午前十一時出社々長室会議ヲ開ク社長昨日上洛不在
格別ノ議事ナシ
全十一時半国士館長柴田徳次郎氏護国義勇團資
金募集ノ件ニ付来訪右ノ趣意ハ中正ノ學生左右何レモ
ニ傾斜セサル者ヲ掩護スルト全時ニ左傾ヨリ逃レ来リ
投スル者ヲ救掩スルニ在リ余ハ精神上ノ指導ハ中心
人物ノ如何ニ關スルヲ以テ弊害ノ多キ基金應集ニハ賛
成スル能ハス喜捨的援助ナレバ考慮ス可シト答ヘ夫レ
ニテ充分ナリトノコトニ付船田氏ニ詮議ス可ク申置ク
午后福中ヨリ持参ノ刀劔ノ内兼元、水心子正秀、拵付無
銘ノ大小四点ヲ用度ノ寺沢万三氏ニ托シテ網屋ニ鑑定セシム、
午后三時半郷誠之助男、無線電話設立發起人トシテ参加
ノ件並ニ上塚氏關係ノブラジル拓植会社發起ノ前提トシ
テノ会合ニ参加依頼ノ為メ来訪五時辞去、
村上伸雄氏長男*女*結婚披露招待ノ為メ、三谷鉾業会長
台湾金鉾ニ付堤拓務次官*来*訪問ノ件ヲ話ス為メニ引見セリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月19日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

午后貳時

東京防禦司令長官

木原中将

真崎参謀次長ト

階行社新館ニテ会

合ノ約束

日本商工会議所

閣員案内

帝国ホテル午后

六時 断

【本文】

午前十一時出社

午后貳時先日ノ約束ニヨリ階行社新館ニ東京警備司

令官木原清中将ヲ訪フ全参謀長島省三少將全席

ニテ東京市防衛仕設ニ伴フ民間寄附ノ件ニ付話アリ余ハ

皇城処在ノ帝都ノ防備ハ国家ノ仕設ニ待ツ可キモノト信ズ

ルモ其一部ヲ市ニ於テ負擔ス可ク決定スルトキハ三菱トシテ

ハ市民ノ一員トシテ應分ノ負擔ハ*考慮セサル可カラサル*覺悟ス可キモノト思フモ

当初ヨリ財閥トシテ之レニ参加スルハ望ム処ニアラズ

ト答ヘ司令官之レヲ了承シ其趣意ニテ市長ニ交渉スル可シト

答ヘ雑談ニ亘リ参時退出歸宅

壽美全伴四時明治座ニ赴キ水谷八重子劇ヲ見物ス

直田ヲ供トス十一時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月20日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

万葉聴講会

華族会館五時

取止メ

久邇宮大妃殿下

賜餐正午

日本工業倶楽部 請

全十時半

総裁宮（万国婦人

子供博覧会）奉載

式

【本文】

午前十時半工業倶楽部ニ於ケル万国婦人子供博

覧会総裁宮久邇大妃妃子殿下奉戴式ニ臨場

終テ三階貴賓室ニテ拝謁引続キ正午ヨリ賜餐外

国大公使婦人ト共ニ参列文相商相ハ主人側トシ小山

法相ハ賓客トシテ参列セリ

一時退出社此間水心子正秀ノ拵付大刀購入ノ代金

百円ヲ福中又次ニ支払フ網屋ノ鑑定ヲ歴相場場ヲ聞

糺シタル上ナリ最初ハ百八拾円ト称ヘ居タリ

午后貳時半東京海上保険ノ重役会ニ臨ミ四時退出

歸宅

出社中倉成松村両氏ニ面会光村工場道路取擴ケニ關

シテナリ

今朝江口定条氏玄關迄挨拶ニ来ル午后壽美全邸ニ關

ミニ赴ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月21日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

少雨

〔予記〕

南通相案内

工業倶楽部午前

十一時半 請

式時半工業倶楽

部 上塚氏講演

湯島天神下黒崎ニ

蕭白ノ若松ニ夫婦

奎ノ幅ノ改装ヲ托
ス

【本文】

昨夜半ヨリ雨今曉曇午后少雨

昨日午後三時頃高知縣人川村正己（戸塚町三丁目

一・二九）前科四犯ノ兇状持自身手紙ヲ持参懺悔

ノ上妻児（私生子二女）ノ將來ノ為メ真人間トナル資金式

拾円ヲ恩借ヲ申出タリ熟考ノ上人助ケニモナランカト思

ヒ書面ニテ將來ヲ訓戒シテ処要ノ金額ヲ贈與スル

コトトシ今朝八時本人ノ再来ノ節井上ちか女ヨリ書

面ヲ手渡シセシメタリ

十一時出社全半工業倶楽部ニ於ケル南通相ノ招待

ニ臨ム無線電話会社設立發起人依頼ノ為メナリ会合者

ノ全部ニ發起人ヲ依頼シ其内ヨリ実行委員十二名ヲ

指名セラル藤村男委員長ニ撰ハル三菱トシテノ人撰ハ

之レヲ保留シタリ終テ午后式時ヨリ郷男、有賀、安川、

船田、坂本氏ト共ニ上塚氏ヨリアマソナ洲移民会社ニ

關スル説明ヲ聴取ス四時半退去池ノ端浅野屋ノ

会合ニ臨ミ九時半歸宅

【欄外】

500

【日記の日付…昭和7年10月22日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス無線電話發起人ノ件ニ付協議シ自分一人之レニ当リ串田、三好、船田ノ三氏ハ賛成人トシテ参加スルコトトシ引受株ハ五千株トスル事トス全時ニ有賀氏ヨリ話ノ殉職警官ニ対スル褒受遺族救護ノ資金募集ニ關スル提議ノ件ニ付話シ置ク

全十二時藤村義朗男昨日会合ノ挨拶ニ来ル仍テ自分發起人参加ノコト申置ク

午后本年度処得税第二回自分負擔ノ額四千余

圓ヲ支払フ会社ノ為四百五拾円斗過払ノ分ハ次回又八年

内ニ調節ノ筈」赤星理事歸京引見

松村亀太郎氏来社

三時半退出共楽俱樂部ニ立寄り歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月23日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

謝満州国特使歓迎

（1） 東洋協会、拓殖大学
及全校友会

正午帝国ホテル

会費五円 断

（2） 満蒙協会中心有志

東京会館午后五時半

会費五円 断

【本文】

午後一時廿五分ノ汽車ニテ壽美ト共ニ山本ヲ連レ箱
根ニ赴ク小田原ヨリ自動車ニテ強羅着三時四十五分
改築ノ積石ノ場処ヲ見分シ六時八分ノ電車ニテ
下山湯本ヨリ自動車七時四十五分頃小田原発国府
津ニテ乗カヘ九時三十分新橋着歸宅
箱根ノ自動車ハ賃錢高カリシモ十月一日ヨリ値引
強羅迄五円、湯本迄八一円半トナレリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月24日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

工業倶楽部外三団体

謝介石歡迎会

午后六時 七円会費 出席

【本文】

午前十一時出社銀行重役会ニ列席

午后式時郷男来訪アマソナ移民ト警官殉職

慰藉金募集ノ件ナリ警官ニ關シテハ宮田氏警

視總監ノ時代二百三十万圓ヲ醸金シ警官ノ病院迄

設立其際会社モ五万圓ヲ出金セルコトアリ大阪三十万圓ノ醸

出ハ其釐ニナラヒタルモノ故尚能ク詮議スルコトトシアマゾ

ナノ件ハ今一段政府ノ援助ノ件ニ營業トシテ的確ノ

モノタラシムルノ必要ヲ認ムルヲ以テ其趣意ヲ返事スル

コトトセリ

三時退出歸途調髪六時工業倶楽部ニ於ケル工業

倶楽部、經濟聯盟会、商工會議所、日華実業協

会四団体ノ満州答禮專使一行ノ歡迎晚餐会ニ臨

ム郷男主人側ヲ代表シテ挨拶シ秋山昱禧氏之レヲ通

訳シ謝專使ノ答辭ニテ終ル此日内田外相ヲ右ニシテ余

ノ左ニ大迫幸男満州参事官アリ大橋忠一外交部次長

及真崎*甚三郎*参謀次長及陸軍次官柳川平助中将ニハ初対面ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月25日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

斯波郷古案内

新喜楽五時半 請

北海道水難救済

ノ件協議会

【本文】

午前十一時出社々長室会議開催彦弥太君出席

午后一時陸軍大臣官邸ニ赴キ（陸相ノ招ニヨリ）荒木陸相

ニ面会ヒリピン木材会社再度引受ケノ依頼アリタルモ断

リタリ陸相ハ改メテ考慮スルコトナレリ

午前十時*式時歸社三谷鉱業会長ヨリ千島金鑛引受

ノ内交渉ニ付聞ク処アリ

三菱保険ノ鈴木康道氏ヲ招キ田坂ノ件ニ付商事会

社幹事ノ意向ヲ河村金五郎氏ニ傳ヘシム

三時五十五分退出歌舞妓座ニ赴キ吉右衛門ノ地震ノ加

藤ト梅幸ノ黒塚ノ鬼女ヲ觀劇シテ六時半新喜

楽ニ赴キ斯波郷古岡氏ノ招宴ニ臨ミ九時二十分歸

宅

歌舞妓座ハ水難救済会ノ例年ノ催ニヨリ切符五枚ヲ

賣付ラレ楠瀬ノお福さんト龜山ノ栄枝ヲ招キ壽

美ハお恵ヲ連レテ觀劇十時五十分歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月26日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴夜雨

〔予記〕

若松築港会社

総会并重役会 断

北海道水難救済

協議会

工業倶楽部

午后四時

朝鮮京城博文寺

落成式午前十時 断

【本文】

午前十一時過出社

午餐ノ際三橋信三氏ヨリ廿八日結婚披露ノ席ニ於
テ主賓トシテ挨拶ノ交渉ヲ受ク

午后斯波内機航空機會長引見同社増資并ニ研究
所ヲ造船処引継ニ關シ意見ヲ交換ス

鉱業会社若松支店長小村千太郎氏引見

午后四時郷男主催ノ北海道水難救済会ニ臨ミ北海
道長官宮尾前北海道（大震ノ際）長官及後藤農

相東武北海道代議士ノ災害ニ關スル報告アリ余一全
ヲ代表シテ挨拶ヲ述べ解散「終テ郷有賀ノ両氏ト共ニ
警官褒賞ニカゝル後援会ノ件ニ付協議六時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月27日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

護国共済会発会式
午前十一時偕行社
本館 断

【本文】

午前十一時十分出社々長室会議ニ臨ム
午后白石元治郎氏来訪日本鋼管会社ト富士製鋼浅
野製鐵ニ付テノ合同ハ商工当局ヨリ勧誘アリ又釜石ト
ノ合同ニ付テモ牧田氏ヨリ提議アリタルモ自分一個トシテハ
寧ロ三菱製鐵トノ合同ヲ冀望ストノコトナリ自分トシテハ
未タ其点ニ付夢想モ致シ不居当局トモ談合社長ノ意向
モ糺シタル上ニテ何分ノ挨拶ス可シト申置ク
全武時原嘉道氏来訪警官殊勲者偶優遇ノ方
法トシテ釀金ノ団体ヲ作ランガ為メナリ右ニ關スル警視廳
ニ就テノ取調書ハ有賀長文氏ヨリ今朝回附ヲ受ケ船田氏
ニ渡シ置ケリ
全時山内豊政男来訪子息ノ履歷書ヲ持参ス
四時退出丸ビルニ立寄り水心子正秀ノ大小（拵付弍百五拾円
）全正次直胤相槌ノ大刀（拵付百円十）ヲ預リ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月28日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

三橋信三長男敏夫
中牟田武信姉好子ト
ノ結婚披露
東京会館五時半 請

鉦山懇話会秋季懇親
会新喜樂 断

土佐法科經濟科
學生懇親会末廣
北店 断

統制委員会
午后貳時 商工大臣官邸 請

【本文】

午前十一時出社昨日丸ビルヨリ預リ来リタル刀劔ヲ用度
ノ寺沢万三氏ニ托シ網屋ノ鑑定ヲ求ム同氏歸リ来リテ三
点共後銘ニテ偽物トノ事ニ付直ニ之レヲ返却ス刀劔ノ判
定モ中々六ヶ敷モノナリト思フ

暫時理事会ニ臨席ス

午後貳時商工大臣官邸ニ於ケル統制委員会ニ臨ミ統制
ニ附ス可キ追加産業トシテ三ノ三業ノ指定ヲ即決ス

一、二硫化炭素製造業、精糖製造業

揮発油製造又ハ販賣業

四時半歸宅五時壽美ト共ニ東京会館ニ於ケル三橋

中牟田両家結婚披露ノ宴ニ臨ム壽美ハ病中ノ故ヲ以
テ初メヨリ食卓ニ就クコトヲ断リ中座歸宅伯雀ノ講談
ノ余興ニ次テ開宴媒妁三好重道氏ノ紹介ニ次キ余ハ一
同ヲ代表シテ祝詞ヲ述ヘ干杯ヲ望月圭介君ニ依頼九時

半御開キトナル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月29日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

国際電話株式会社
創立委員会正午
工業倶楽部

【本文】

朝九時半三橋信三氏挨拶ニ来ル
十一時四十五分出社十二時二十分更ニ工業倶楽部ニ赴キ
国際無線電話ノ創立委員会ニ臨ミ自分發起人トシ
テノ持株千株ヲ申込一時半歸社
松田製鐵常務ヲ引見シテ白石元治郎氏来訪ノ趣意
ヲ話シ加藤商事ノ常務ト研究セシムル事トス
三時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年10月30日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔寒暖〕

夜雨

〔予記〕

鳩山文相案内成人

教育講坐開設十

周年記念式

青山青年会館

午后一時 断

故仙石貢氏一周忌

案内帝国ホテル

午后五時 断

【本文】

朝九時二十分上野発ノ準急行車ニテ那須ニ赴ク車
中用意ノ弁当ヲ開ク十二時半黒磯驛着直ニ自動車
ヲ雇ヒ新那須ヲ歴テ那須ノ一楽庄分譲地ニ到ル道
路平坦砥ノ如シ新那須迄二十分近光荘ト称スル分譲地アリ
別荘点在ス旅館山楽ハ那須白眉ノ宿舎ナリ東ノ方約
十町ノ松林中ニ御用邸ノ光堂ヲ觀ル山楽ヨリ約十町上レ
バ湯本ニ達ス郵便局ノアル処ヲ左折約五町湖月園ノ
上部ニ一楽荘アリ新二道路ヲ作り湯水ノ供給ヲナス區
畫整然タリ番人平山ノ案内ニテ目的ノ場処ヲ見分ス各
種ノ躑躅繁茂ス花ノ頃見事ナル可シ下リテ湖月園（池ア
リ）ニ入見晴シ台ヨリ展望ヲ檀ニス那須ノ平野ハ一望ノ中ニア
リ壯觀ナリ湯本ニカヘリ温泉神社ニ詣ツ城内ニ五葉松ノ
摂政殿下ノ御手植アリ右ニ谷ニ沿フテ殺生石ニ到リ「飛ふものは
雲はかりなり石ノ上」ノ蕉翁ノ碑ヲ見湯本ニカヘリテ自動車
ニ搭乗途次占勝園ヲ觀黒磯ニ出テ五時十六分ノ準急ニテ

歸京八時十分上野驛着此行往キニ真鍋医伯歸リニ野田雀
雄（製鐵技監）氏ニ会合」壽美全行山本ヲ連レタリ

【欄外】

自動車賃十五円
外二一円チップ

【日記の日付…昭和7年10月31日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

朝十一時半出社

午前一時鉱業会社ノ重役会ニ列席ス

渋沢青洲翁銅像建設費ノ内へ金貳百圓ヲ寄贈ス

午后四時半退出上野ノ会合ニ臨ミ九時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月1日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

田中光顯翁長壽

祝賀会

東京会館午后五時 断

【本文】

午前十時五十分出社々長室会議ニ列ス

大蔵省參與官上塚司氏來訪アマソニア移民会社設立ニ

付拓務大蔵両省ニ關スル經過報告ノ為メナリ

膳工業俱樂部常任理事來訪

午后四時退出歸宅

此朝先日式拾円ヲ贈與タル前科四犯ノ川村正己挨拶ニ來ル

妻女ニ煙草屋ヲ営マセ（屋台店ナリ）自分ハ蝮取りニテ日給

一円五十錢ヲモツケ一家糊口ノ道ヲ得タルハ御家ノ慈悲ナリト

ノ事ナリ余ハトモ角モ全人ノ正業ニカヘリタルヲ喜ブ

壽美今夕九時四十五分ノ汽車ニテ宅之助初宮詣ノ為メ

神戸ニ赴ク女中知恵ハ萩ノ近郷ノ者ナリ三年奉公円満

帰郷ニ付全人ヲ帶同ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月2日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

藤巻湊川宮司

案内上野精養軒

午后五時 断

永井拓相案内

正午官邸

歸途銀座二丁目

館内日本

美術倶楽部ノ浮

世絵、板画ノ展覧ヲ

見ル

【本文】

午前十一時半出社常務室ニテ武田秀雄君退職紀

念トシテ贈呈ス可キ長光（在銘）白鞘打刀ヲ觀ル素

直ナルモノナリ

正午永井拓相官邸訪問有賀長文氏先ニアリ郷男ア

トヨリ来ル拓相ト午餐ノ後拓相ヨリ上塚司氏ノ從

事スルアマソニア百万町歩（約四国位）開墾助成ニ就

テ拓相ヨリ懇談アリ

一全処開墾着手ノ期限ハ一九三四年已ニ二度延期

夫迄ニ三百戸ヲ移殖セザル可カラザル事、

一デユートノ栽培ニ付（年ニ上半季六月迄ニ二度）向二年間

中間試験トシテ約千六百俵（一ベール四百ポンド）単位五百俵（

ヲ作ル為メ約八十戸入殖内五十戸ヲ日本ヨリ送ルモノトス

一八年度総經費貳拾三万貳千円ノ内拾六萬圓ハ政府助成

残り七万貳千円ニ付民間ノ援助ヲ乞フトノコト

一九年度四万五千余円ノ不足政府之レヲ補助スルコト

協議ノ上何分ノ挨拶スルコトトシ退出郷氏ノ案ハ五万円ヲ三菱三井

ニ頼ミ、貳万五千円ヲ住友安田ニ頼ミテハ如何トノコトナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月3日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

本日ハ明治中興節ノ大祭日ナリ昨日ノ雨モ名残り
ナク晴レ絶好ノ秋日和トナレリ午前十一時吉祥寺
ニ赴ク桑名ノ女將本日井ノ頭ニ参ル序ニ別邸ノ
庭見物シタシトノ頼ミ難黙止半都塵ヲ脱シ半
之レヲ迎フル為メナリ午后尅時過文栄ノ姉ト共ニ来ル
土地ノ饅飴ヲ饗シ芋堀ヲ為サシメ小菊ノ束ヲ與
ヘ自動車ニテ送り返シタリ于時四時三十分直田小堀
取持呉レタリ自分ハ六時全処ヲ立チ七時過歸宅

昨夜小堀ニ武蔵大掾忠（廣）ノ打刀拵付ノ分ヲ與フ
網屋ハ正真物ニアラズト云フヲ以テ其旨本人ニ申聞
ケ置キタリ

明治節

みいつ

雨止みて御稜威に薰る菊の花

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月4日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

郵船重役会

午后貳時

【本文】

午前十時五十分出社々々長昨晚歸京ト己思ヒ居タルニ
本日ニ延期セラレタリト聞ク

午后貳時郵船会社ノ重役会ニ臨ミ三時四十分退出
歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月5日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

村上伸雄氏長女芙美子

ト濱岡光哲氏＊五雄長男＊孫雄一

トノ結婚披露

午后五時東京会館

一人請

總本部事務所

兵庫縣廳内

東京本部

一ツ橋教育会館、

電話九段四一五一番

【本文】

午前十時五十分出社々長昨夕歸京今朝出勤社長

室會議ニ臨マル社長留守中ニ起リタル左ノ件ヲ報告ス

一アマソネヤ研究所ニ關スル永井拓相ヨリ懇談ノ件

一無線電話会社ニカゝル件

一殊勲警官褒賞ニ關シ原＊嘉道＊枢蜜顧問提議

ノ件

一ヒリピン木材会社ニ關スル經過

一防空（東京市）仕設ニ關シテ小森（東京警備司

令官）中將ト会谈ノ件

午后貳時伊藤博精ノ紹介ニテ楠公会＊総＊本部＊常務理事＊福田弘氏

及 氏ノ兩人来訪社長及余ニ仝会ニ入会ノ勧誘

アリ余ハ之レヲ断リ純真ナル自由意志ニ委サレタシト

申置ク」仝三時松村亀太郎氏来訪

午后五時東京会館ニ於ケル濱岡村上両家結婚披露

ノ宴ニ臨ム富井男爵、夫人共ニ媒妁新夫婦紹介士

方日鐵總裁ノ挨拶池田三井銀行常務ノ干杯アリ八時半

歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月6日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

相馬孟胤弟正胤ト
土方久徴三女達子ト
婚禮披露
東京会館午后三時
半ヨリ茶一人請

池田成彬氏案内
午后六時山口 請

【本文】

昨日午后会社ニテ直田吉太郎ニ

北多摩郡武蔵野大字吉祥寺字野田北壺、参壺八番

一畑九畝拾壺歩

全処壺千参百貳拾番ノ壺

一畑八畝貳拾歩

全処壺千参百貳拾番ノ壺

一畑八畝貳拾歩

ノ三筆ヲ安田イヨ子ヨリ買受ニ付代金三千五百円

ノ外登記料トシテ百貳拾円ヲ渡シ尚本日右買受

登記ニ要スル壽美名義ノ委任状壺通ヲ全人ニ交付ス

午后四時東京会館ニ於ケル土方久徴氏三女達子嬢ノ

結婚披露ノ茶ニ臨ム」夫ヨリ直ニ池田成彬氏ノ案内

ニカヽル山口ニ於ケル晚餐ニ臨ム招カルヽモノ約十五人

御名染ノ顔ナリ出渕駐米大使近日歸任ニ付全

氏ノ為メ特ニ此宴席ヲ設ケタルモノナリ九時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月7日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

〔予記〕

正午工業倶楽部
理事会

殊勲警官褒賞
団体設立協議会
日本クラブ、午后四時

日滿經濟研究ニ付
拓相案内午后五時
官邸 請

【本文】

午前十一時十分出社渋谷米太郎氏ヲ国際電話ノ重
役ニ推挙ノ件社長ニ進言シ置ク
正午工業倶楽部ノ理事会ニ臨ミリットン卿報告書
ニ対スル弁駁書案其他ヲ協議ス午餐ヲ了ヘ忒時
歸宅

家庭事務処ノ坂本正治氏ヲ招キアマゾニア植民地ニテ
ヂユート採培ノ可否研究ヲ依頼シ（船田氏ト共ニ）全時
ニ自分ノ処見ヲ傳ヘ置ク

全四時日本倶楽部ニ原、鎌田ノ両枢蜜顧問官郷有
賀ノ四氏ト協議警官表彰團體設立ノ件ヲ決シ実
行ニ着手スル事トス差当リ牧野、倉橋、ノ両氏ヲ其幹旋
ニ当ラシムコトトス大綱ハ余ノ意見ニテ財団法人ハ基本
壱万円、存続五年、五万円ヲ目的トシテ基本収入トシテ各法人
ヨリ經費トシテ支弁シ得ル額ヲ各半年毎ニ集金スルコト、
終テ永井拓相ノ案内ニカ、ル日滿經濟統制研究会ニ臨ミ
支那料理ノ馳走ヲ受ケ食後会合者ノ意見ノ開陳アリ十時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月8日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

八日会 請 土方藤山両氏幹事

満州軍政總長張景惠

歡迎会東京会館 五時 断

觀菊御宴

【本文】

朝八時神田明神改築資金（壱万五千円申込ミヲ三井通り
貳万五千円ニ）ノ件ニ来訪玄關ニテ依頼アリ
月末当方ニテ支払フタル自動車賃三拾円吉田屋ノ助手横領
ノ件ニ付詐欺被害者トシテノ手續書調印ヲ撈シタル点ニ
付明朝九時神楽坂＊警察署＊司法主任ヨリ自身出頭ス可シトノ差紙

タチハナ？

アリ不快ニ不堪依テ九時半全署ニ署長橘 高擴氏
ヲ訪問シ余ノ見解ヲ述ブ署長司法主任ニ代リテ陳謝ス
依テ昨日訂正全署司法主任ニヨリ取置カレタル單ナル報告
書ニ自署シテ退出々社于時十時半ナリ十一時ヨリ全半迄
社長室會議開催酒井栄藏氏社長ヲ来訪ス
十二時半ヨリ新宿御苑ニ到リ觀菊ノ御宴ニ臨ム本年ハ
皇后陛下ノ御臨場ナク天皇陛下已ナリ三時臨御全四十分
還御、

家＊＊ず（家苞）＊とにいたゝきかへる菊ノ菓子
午後六時山口ニ於ケル八日会ニ臨ム来賓小山司法大臣ヨリ右
傾左傾ニ付食後詳細ノ説明アリ十一時ニ及ブ全半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月9日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

工業倶楽部及經
済聯盟閣員招待

会

工業クラブ午後六時 参

侯爵家

井上千代子一周忌

法要十一時墓前

式時自宅

【本文】

朝九時光村利之氏宅之助出産祝答禮ノ挨拶状印刷
見本ヲ持参ス

十一時出社浜谷米太郎氏ヲ招キ国際（無電）々話会社取締
役トシテ推挙ニ付氏ノ意向ヲ確ム異存ナシ

午后式時井上千代子壱周忌ノ法要ニ自宅ニ臨

ミ三時歸宅

五時半工業倶楽部ニ赴キ両團體招待ノ新内閣員歡

迎ノ宴ニ臨ム齊藤首相山本内相内田外相三土鐵相後

藤農相、南逋相其他書記官長、次官參與官無慮四*参*拾

名テザートコースニ入り余ハ両團體ヲ代表シテ左ノ趣意ノ挨拶ヲ述ブ

（ニ）半歳歡迎ノ遅レタルハ内閣永続ノ吉兆（三）三長老ノ長壽内閣心労

感銘（三）日露戦役ト時局ノ比較苦言、（セ）望*？*月ノ話甲冑重

キニタヘス從軍出来サル笑話ヲヒキ軍備ハ国力相当ナラザル可カラ

スト断ス（シ）現在産業ノ委靡租税ノ負擔力ノ局限セラレタル

ヲ述ヘ先途暗膽五里霧中ニサマヨフ旨ヲ述ヘ内閣ノ示導ヲ乞フ△

【欄外】

之二対シ齊藤首相及三土鐵相ノ答辞アリ八時解散歸宅此日演說中胸痛ヲ感ズ

【日記の日付…昭和7年11月10日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

日米協会々長徳川公
爵案内出淵駐米大
使夫婦歡迎会
夫婦案内 断

清風会新橋花月
午后四時 断

富山房坂本嘉治馬
氏大言海刊行披露
東京会館后五時 断

【本文】

今朝十時十五分東京驛着ノ汽車ニテ壽美小林茂
ヲ連レ歸京

十一時出社々長欠勤

午后一時十分田中光顯翁秘書高井徳次郎ト共ニ

京王電鐵社長井上篤次郎河本篤二両氏ヲ伴ヒ来

訪要件ハ

一明治大帝遺蹟蓮光寺处在地建設ノ為メ三菱銀行
日本橋支店ヨリ借入タル（残金）八万余円棒行ノ

件、（京王電鐵ヨリハ已ニ五万円ヲ出捐セシメ大倉組ノ建

築費ハ六万五千円ノ内三万圓ヲ支払タル也トノコト、

一河本篤二（横濱） 考案ノ紙クズヲ圧搾シテ盆ヲ作
ル件、

第一項ニ付テハ銀行トシテハ考慮ノ余地ナキモ老公ノ為メ岩崎

ニ相談致シ呉レトノ事ニ付相談ノ上返事スルコトトス

第二項ハ商事ノ加藤常務ヲ招キ之ニ引渡し置ク

午后貳時半鳥坂居社長邸ニ於ケル銀行支店長ノ茶ノ宴ニ相伴シ四時半退出上野ニ赴ク

【欄外】

午后一時半倉成文太氏來訪

【日記の日付…昭和7年11月11日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

渋沢敬三氏案内
泰徳院一周忌案内
帝国ホテル后五時半 請

九日工業倶楽部ニ於
ケル余ノ演説ハ各自ノ
云ハント欲スル処ヲ云ハ
レタリトテ到ル処称賛
ノ挨拶ヲ享ク

【本文】

午前十一時出社田中光顕翁来訪ノ件ニ付社長ト打合せ
茅町ノ意見ヲタヘク事トスアマゾナ研究処補助ノ件ニ付
社長ト意見ヲ闘ハス
全半家庭事務処ニ茅町男ヲ訪ヒ先項ニ付意見ヲ問フ
熟慮ノ上返事アル筈ナリ
午后午餐ノ後坂本正治氏ヲ招致シアマゾナ研究処補
助ニ關シ自分ノ意見ヲ傳ヘ置ク
午后三時半古市公威男来訪忠勇顕彰会寄附金
（五千円ヲ三井全額壺万円ニ増額）ト自分ヲ幹事ノ一員ニ推
舉ノ件ナリ兩件共体能ク断リ置ク
全五時半帝国ホテルニ於ケル渋沢青淵翁ノ壺周忌ノ
案内ニ臨ム此席ニテ郷男ニ対シ男ガ有賀氏ニ勸告シタ
ル自分及有賀両氏ノ警官表彰会主唱人辞退ノ件ニ付
抗議ヲ申込ム氏辟易申込ヲ撤回ス宴席ニテ敬三子ノ挨拶
徳川家達公ノ答辞内田外相及金子枢府顧問ノ思出
話アリ」此席ニテ徳川公ヨリ余ノ京都
赤十字社病院新築寄附金ノコトニ付話アリ

【欄外】

芳年閑古鶏ノ幅ヲ三拾五円ニテ小松錦畫店ヨリ購フ
午後貳時神田正雄氏來訪（対支
政策ニ付

【日記の日付…昭和7年11月12日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨晴

〔予記〕

曾根増吉嗣子忠

三郎ト柴田桂太長

女光子ト婚禮披

露

東京会館五時半 請

服部金太郎氏案内

午后四時新喜楽 断

【本文】

午前十一時出社々長室会議

一アマゾニア研究処助成金貳万五千円出捐ノ件ハ

如何ナル場合ニモ之レ以上ノ援助ヲナサ、ルコトト三菱ハ南米ニ

ハ全様ノ起業アルヲ以テ他日会社組織株金募集ノ場

合ニモ今日ノ縁故ニ毫モコー東セラル、コトナク自由ノ立場ニ

アルヲ条件トシテ支出スルコトニ決ス

午后武田秀雄氏ヨリ文部省案經濟＊（工業）＊研究処設置ニ

カ、ル委員会ノ經過ヲ聞ク

土居貞弥氏来訪」柴田徳次郎来訪千田氏ニ面会セ
シム

三時半退出歸宅五時十分壽美ト共ニ東京会館ニ於

ケル曾根柴田両家結婚披露ノ宴ニ臨ミ八時半歸宅

壽美胸痛アリ

江木芳郎氏ヨリ先老ノ翼氏（錦光院釋義憲英哲

居士）ノ形見トシテ松林桂月ノ幅清溪獨釣ヲ贈ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月13日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇天

〔予記〕

吉祥寺芋堀

曾根夫婦来訪

【本文】

十一時四十五分壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴ク昨夜曾根忠
兵衛氏夫婦ト全処ニテ会合ノ約アレバナリ一時式十分
兩人見ユ邸内ヲ案内ス此日壽美ハ唐芋堀リニ近
藤ノ子供及藤田ノ娘達ヲ案内シ居リ男女十人斗
集リ居レリ近藤淑子ハ母堂廣子刀自ト共ニ見ユ
曾根夫婦ト一処ニ接待ス笹巻鮎おでん、栗飯ふか
し芋等ヲ馳走ス藤田近藤ノ連中ハ五時退邸
曾根夫婦ヲ夫婦シテ築地ノ錦水ニ伴ヒ晚餐ヲ
饗應シ八時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月14日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

失策特別委員会

暴風雨

【本文】

午前十時内相官邸ニ於ケル失業対策特別委員会ニ臨席
拾貳時十分出社

午后壹時蜂須賀侯爵秘書宮原武雄氏池田成彬氏ノ紹

介名刺ト侯爵ノ名刺持参侯爵力来ル廿日ニ満州国

大演習觀戰武官軍部総長張景惠ノ為メ私邸ニ催サル

可キ会合ノ案内アリ当日日曜外出ノ意向アルニ付丁寧ニ

断リ置

彦弥太君ヨリアマゾナニ係ル見聞ヲ聴取シ約壹時間閑談
ス

三時退出歸宅豪雨アリ夜ニ入りテ強風吹スサム

夜十時半頃ヨリ風力次第第二増加近年稀有ノ颱風トナ

リ北西ヨリ襲来スル時速廿一米ノ風力ニ豪雨ヲ伴ヒ

各所ニ雨漏アリ三時頃ヨリ次第第二衰ヘ九時頃青天

トナレリ箱根ハ風速四十六米静岡以東各所ニ被害

アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月15日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

老将会幹事自分
延期

警官表彰会主唱者
記者連招待午后三時
日本倶楽部 請

【本文】

嵐ノ後ノ晴天絶好ノ秋日和トナレリ
午前十一時出社々々長室会議ニ列ス格別ノ議事ナシ
午后貳時半三菱海上保険ノ重役会ニ臨席三時中坐
シテ日本倶楽部ニ於ケル警官表彰会主唱者ノ新聞
記者招待会ニ臨ム原氏ノ外鎌田、牧野（擔任者）有賀及余
出席記者團ハ梁田中外ヲ主トシテ主ナル新聞者十人斗
ナリ原氏ノ説明ニテ全部協力援助スル事トナル
四時外歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月16日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

興仁院殿

田男爵三周忌法要

芝増上寺午後三時

全五時追悼会

電気倶楽部午後五時 断

松井中央社会事業協

会理事帰朝

歓迎懇談会

社会局大会議室

午後一時半 断

【本文】

午前十一時半出社

午後壺時半松村亀太郎氏来社

社長御夫婦来月一日銀婚式ノ内祝アルニ付常務以上ノ者祝
品贈呈ノ為銀製置物ヲ物色シ翁舞卜定ム

午後三時芝増上寺ニ於ケル田健次郎男ノ三周忌ノ法要

ニ臨ミ四時歸宅齊藤首相及床次竹次朗氏モ参会者ノ

中ニ見ユ会衆五六十名斗

出社前谷本未亡人昨夕結婚セル次男夫婦ヲ伴ヒ挨拶
ノ為来訪

【欄外】

愛国青年会宇垣総督ヨリ案内請学士会館晚餐断

【日記の日付…昭和7年11月17日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

永井拓相訪問

聖上、

五時十五分着ノ

汽車ニテ御歸城

【本文】

午前十一時出社々長不参

午后貳時永井拓相ヲ官邸ニ訪ヒアマゾナ移民研究処

ニ關シ三井全様金貳万五千圓ヲ出捐ス可キ旨ヲ返事シ

全様ニ左ノ条件ヲ附ス

一本件ニ關シテハ如何ナル事情ノ生スルモ前記以上ノ相談

ニハ應セザルコト從テ次年度ノ援助ハナサヽルコト

一貳ヶ年試験ノ結果良好ナル成績ヲ得ルモ株式募集ニ

關シテ何等今日ノ行懸リヲ考慮セラレザランコトヲ望

ムコト岩崎家ハ全処ニ起業ヲ有スルヲ以テ全然自由ノ立

場ニテ参、否ヲ決スルコト、

拓相之レヲ了シ鳴謝スル処アリ

貳時四十分東京海上保険ノ重役会ニ臨ミ終リテ四時郷

誠之助男ヲ東電ニ訪ヒ拓相ニ返答ノ趣意ヲ陳述シ更

ニ試験不成績ノ場合移民ノ引上ケニ付テハ全然關知セ

サル旨ヲ明カニ附加シ男ハ之レヲ手記シタリ

【欄外】

后四時四十分丸ノ内ヲ縦断携フル処ノ芳年閑古鶏ノ幅改装ヲ天神下黒崎
ニ頼ミ置ク主人不在、

【日記の日付…昭和7年11月18日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

〔予記〕

濱田氏ヨリ招待

山口 午后五時半

請

警官表彰發起人

会午后三時

東京商工会議所 請

郵船重役会午后貳時

各省次官連中満州

国文化視察團一行

招待華族会館午后〇時半 請

【本文】

寒氣加ハリ霰降ル十時半出社々長ト分系会社重役
更代ノ件及警官表彰会費年一万円五ヶ年支出ノ件ヲ
協議ス

正午華族会館ニテ催サレタル外務、拓務、陸、海、農林商

工六省次官ノ満州国文化使節林 氏一行歓迎

ノ午餐会ニ臨ミ貳時半退出郵船会社ノ重役会ニ列席

全三時商工会議所ニ於ケル警官表彰發起人ニ臨ム

無慮四十人原嘉道氏主唱者トシテ經過ヲ述ヘ謙田栄吉

氏ヲ坐長ニ推シ郷氏ヨリ実行ノ方法案ヲ述ブ

(一) 先ツ警視廳管下ニ限ルコト、(二) 五年ヲ一期トスルコト、

(三) 法人ノ参加ヲ求メテ基礎トスルコト、(四) *一ヶ年*処要額ヲ最少五万円ト

(五) 法人ハ各半季ニ支出ノコト、(六) 個人ハ一時分割勝手タルコト、

(七) 最少ノ財団法人トスルコト、其他一切主唱者一任ノ事、

終テ四時半共楽俱樂部ニ立寄り濱田彪氏謝恩

ノ為メ山口ニ催サレタル宴席ニ臨ミ十時前帰宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月19日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

牛込区兵事奨励会長

渡辺宗之助案内

入営者歓送会區公

会堂午後一時半 断

全国柔道大会（廿日トモ）

日比谷

新音楽堂 断

大日本国防義会

坐談会生命保険協会

午後六時 断

【本文】

十一時十分出社々長ハ一寸出勤久邇宮伺侯ノ為社長室
會議前ニ退出セラレタリト聞ク

井上一次（陸軍中將）ノ紹介ナリトテ 氏來訪千田氏

ヲ應接セシムレバ同氏著日米戦争ニ付テノ著書賣付ノ

為メナリ千田氏井上氏知合トノ事ニ付真否ヲ問合セシム

齊藤首相ノ紹介ニテ經濟情報社々長 氏來訪

全報告書千田氏ヨリ断リヲ受ケタルニ付従前ノ通購読

ノ依頼ナリ千田氏ヲ糺シテ要領ヲ得従前ノ半額位ハ

承知シヤル可シト申置ク

斯波航空機會長ヨリ擴張機械代差当リ三百万円

支出ノ件（来年度注文式千四百万圓）并ニ過日工業倶楽

部ニテノ余ノ新内閣歡迎ノ辞ニ付陸軍主脳部ニ

余ニ対シテ不快ノ声アル旨ノ報告アリ

午後四時退出歸宅壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴キ宿泊

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月20日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

土佐廿日会丸ノ内常盤屋
午后五時半 断

蜂須賀公爵私邸
案内満州国軍部
総長張景惠招待ニ付
陪席 口頭断

【本文】

昨夜吉祥寺ニテ晚餐後一時間＊半＊後胸痛ヲ覺ヘ手宛
ヲナシタリ前回及今回ノ經過ヨリ考ヘ胃弱ニ陥リタル結
果ナルガ如シ

今朝ヨリ粥ヲトル腰ノ痛ミヲ覺ユ

午后九時半壽美全道歸宅

土佐神社々務処ヨリ献金表彰申請必要ノ項目

再三問合セニ付返事ス

徳川家達公金婚式祝品理事監事ヨリ贈呈方

慈恵会副会長大久保、森村両氏及院長高木喜寛

氏ヨリ（各醸出金拾圓）勧誘アリ快諾ノ旨返事ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月21日（月）】

【予記 等】

「天気」

晴

「予記」

満州文化使節歓迎午

餐会（正午）

工業倶楽部 請

日本新聞協会創立廿年

記念祝賀会清浦会長

案内

五

東京会館午後叅時半

東久邇宮総裁殿下

台臨 断

東洋協会講演

大阪ビル午后五時 断

【本文】

午前十一時出社赤十字社京都支部主事

全処ニ病院建築費用百万円ノ内三拾万円本部ヨ

リ四拾万円洛中募集残三拾万円募集ノ為来訪

本件ニ付テハ已ニ全氏申出ニヨリ詮議中之レヲ常務室ニ

移喋シ置ク本件ニ付テハ過日渋沢青洲翁一周忌ノ席

ニテ徳川公爵ヨリ話アルタルモノナリ

全十二時工業倶楽部ニ於ケル四団体聯合満州国文化

使節歓迎ノ午餐ニ臨ム郷男ノ挨拶團長氏ノ答辞アリ二時退散○「右欄外へ」

来賓、團長 林雀皋（吉林）許蘭坡（*事務*幹事黒龍江）

張其昌（會計幹事奉天）吳裕泰（聯絡幹事奉天）

楊貫三（全上哈爾賓）武楊（文書幹事吉林）

黄海楼（民衆代表黒龍江）關長慶（全上吉林）

劉海軒（奉天）趙墨林（新京）秦炳宗（黒龍江）

普樂布（蒙族）王肅堂（新京）單丕相（吉林）

ミネ

張雲石（秘書）劉景祿（通訳）世話係峰簾良充
通訳諏訪英武外ニ鮑觀澄代表、

【欄外】

満蒙資源館開館式午前九時半ヨリ午后二亘ル 断

○（会衆百八九十名

【日記の日付…昭和7年11月22日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日本新聞協会員歌舞妓

三

座招待（催主☎団体）

東久邇宮殿下台臨ノ筈 請

第廿五回化學工業懇話会

午后五時

工業俱樂部 断

満州国実業文化使

節案内

東京会館

后六時半 断、

【本文】

午前十一時出社々長室会議臨席

午後松村亀太郎氏来訪光村工場十月分損益勘定持

参珍ラシク六千余圓ノ利益ナリ

社会局長官丹羽七郎氏失業対策問題ニテ来訪

土居貞弥氏政況報告ノ為メ来訪

午後四時歌舞妓座ニ於ケル新聞協会員招待観劇

ニ臨ム 東久邇宮総裁殿下御台臨ノ筈ナリシモ風気

ノ為御見合セトナレリ然シ清浦奎吾会長ハ出席余

ト肩ヲ並ベテ観劇セラル劇ハ九代目市川團十郎

三十年追善劇ナリ十八番劇ノ内高時、景清解脱

勸進帳、忠信吉野山ヲ観助六ヲ残シテ九時前歸宅

壽美ハ久原清子ニ誘ハレ明治座観劇

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月23日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

本日ハ新嘗祭ノ大祭日ナリ午后一時調髪ニ赴キ
三時ヨリ大阪山中商会ニテ催サレタル世界古美術
大展覧会見物ノ為メ上野美術協会ニ赴ク支那古
代ノ銅器、木石佛像及明清陶器印度暹羅カムボチ
ヤノ佛像波斯ノ陶器其他見堪ノ物多シ外ニ常盤華
壇第二会場ニ民衆向即賣品アリ戸田 余ニ附纏ヒ
止ムナク波斯銀吹出ノ耳付小花生ヲ金貳百五拾圓ニ

部

テ購フ全処ニテ牧寺三樹及川邇ノ中村ニ出遭ヒ二十六日
東京美術倶楽部ノ賣立容堂公旧藏信国ノ短刀ヲ
貳百五拾円迄ニ注文シ置ク

歸途黒崎ニ芳崖松ニ狷禽ノ幅ノ改装ヲ依頼ス主
人モ若書真筆ノ点余ト同意見ナリ尚田島ニ立寄
リ周文ノ小点ヲ五拾圓ニテ購ヒ一休ノ書幅（七拾五円ヲ
預リ来ル
夜分戸田ヲ呼ビ按摩ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月24日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

万葉聴講会午后

五時華族会館 断

失業対策特別委

員会午前十時内相

官邸

經濟研究会

安岡正篤氏講演 断

慈恵会理事相談

会 午后一時 請

【本文】

朝＊八時半＊元玄洋社員日本国士社宮川天民ト称スル横柄ナル漢
訪ネ来リタルニ付至急出勤面会ノ暇ナキ旨断リタルニ会社ニ
訪又可シトテ立去リタリト井上ヨリ聞ク

午前十時内相官邸ニ赴キ失業対策特別委員会ニ

臨ミ十二時過退出々社々長ト雑談一時近クニ及ビ食

堂ニ入ル為メニ慈恵院理事会ノ出席ヲ断タリ

午后式時半三菱銀行重役会ニ臨席終テ壽美ヨリ

預リタル東大經濟部學生山口縣人田上郷平氏ノ履歴

書及部長ノ推薦状ヲ加藤常務ニ渡シ置ク

有賀長文氏嗣子（次男）正 氏今朝丹毒ノ為メ死去

ノ報ニ接シ歸途全邸ヲ訪ヒ長文氏父子ニ弔意ヲ表シ

五時歸宅全所ニテ井坂孝（岳父）馬越翁藤原銀次郎氏

等ニ会合ス

夜分典夫来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月25日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

鉱業会社総会

午后貳時

郵船会社総会

全時

大橋濱口両家結婚披露

午後六時

九段改行社 一人請

高知縣人会（六十七回）

幹事長深尾隆太郎

東京会館四時ヨリ 断

【本文】

午前十一時十五分出社々長ト共ニ北洋沖取工船ニ商事会社ヨリ融資ニ付加藤常務ヨリ説明ヲ聴取ス終テ

田中光頭翁申出ニ付茅町男爵ノ意見ヲ開陳ス

社長ハ昔時ノ行懸リヲ承知セザルヲ以テ全然茅町ノ意見ニ委ス外ナカル可シトノ意見ナリ

午后貳時郵船会社ノ総会ニ臨ム原案資問ナク可

決三時歸社鉱業会社ノ総会后ノ重役会ニ臨席ス

午后三時五十分郷誠之助男製鐵合同ノ件ニ付来訪兼ニ浦工場評價ノ覚書ヲ預ル松田常務歸京ヲ待

テ講究ス可キモノナリ

午后四時半歸宅六時九段偕行社新館ニテ披露ノ大橋常三郎（陸軍少将）長男武夫（社会局勤務）氏ト濱口雄幸四女富士トノ結婚式宴席ニ臨ム中島弥團次氏媒妁トシテ新郎新婦ヲ紹介シ伊沢多喜男ノ代表挨拶町田

氏ノ干杯ニテ終ル集ルモノヲクハ民政党ノ幹部ト内務省ノ連中
土佐人ハ武田野村桐島夫人田所夫婦ト余已ト思フ三木氏金
野（北見）■ ■テ快談アリ）三木武吉、

【欄外】

藤山氏自宅案内午后四時断　三谷鉷業会長案内錦水断、山田毅氏ニ面接

【日記の日付…昭和7年11月26日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

エール大學寄贈資料
展覧会 華族会館

警官後援会

午前十一時半

日本倶楽部 請

原田熊雄氏案内

住友別邸正午、

太田吉田両大使主

賓、

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス

全十一時半日本倶楽部ニ赴キ警察後援会設立

規約其他＊資金＊募集ノ方法ニ付原、鎌田、郷、倉橋、膳、高

島氏等ト協議決定スル処アリ終テ午餐ヲ共ニス

午后貳時歸社タワオヨリ歸朝休職トナリタル熊田與

四郎氏引見窪田氏死去前後ノ情況ヲ聴取ス

四時半退出共楽倶楽部ニ立寄り光悦ニ於ケル集会

ニ臨ミ九時半退宅

壽美ハ久原清子ト姉妹連ニテ歌舞妓座ノ觀劇

ニ赴ク

午后三時頃茅町男ヨリ田中光顯翁来訪ノ件ニ付電
話アリ月火両日ノ中翁ニ返事スルコトニ打合ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月27日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

有賀長文嗣子長毅

氏青山斎場告別式

午前十時ヨリ十一時半迄

【本文】

朝十時青山斎場ニ於ケル有賀氏嗣子ノ告別式ニ会
葬ス

壽美ハ

氏ノ治療ヲ亨ク可ク余ノ歸リヲ待チテ大

久保小倉氏ノ扣邸ニ赴ク

十二時頃ヨリ三時迄安臥静養ス

来訪者馬杉暹、石黒九一、東福寺正雄、坂本鍵造

何レモ玄關ヨリ還ル

夜分戸田ヲ呼ビ療治ヲ亨ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月28日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老将会自分幹事、

日本無線電信総会

午前拾時

産業協会評議員会

及功労者表彰会

華族会館后四時半

伏見総裁宮殿下

賜餐 御断

【本文】

午前十一時出社

午后壱時半茅町男ヲ家庭事務所ニ訪ヒ田中光顕翁

ヘノ返事ニ付打合ス処アリ男ハ将来翁ヨリ大ナル救済ノ依

頼アル可キヲ期待スルヲ以テ翁ノ今回ノ依頼ヲ應諾シ將

来ノ求援ノ鋒鏑ヲ鈍ブラシムルヲ得策ト考フルヲ以テ其

趣意ヲ以テ返答アリタシトノ事ナリ翁ノ处在ヲ青山避氏

ノ宅ニ問合セタルニ岩渕ニ歸リ上京ノ期計リ難シトノ事ナ

リキ

一昨日歸京シタル松田製鐵常務ヲ招キ郷男ヨリ差

廻シ来リタル各製鐵処ノ評價表ヲ示シ八幡製鐵所

ノ野田技監ニ就キ評價ノ基礎ヲ糺サシムル事トス

午后四時新喜楽ニ赴キ老将会ノ席ヲ宰ス十人出席ノ筈

ノ処減シテ七名トナリ尚三名ハ食膳ニ向ハス辞去依テ藝

者ヲ代リテ席ニ就カシム演舞場ニ於ケル前進座面白シトノ

コトニ付草々食事ヲ終ヘ小メヲ案内トシテ三宅川、加藤鮮銀

総裁ト共ニ全座ニ赴キ梅ノ井（女方男優）ノ至藝ヲ視九時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月29日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

有田外務次官案内

霞ヶ關官舎正午 断

日伯中央総会

創立ノ件、

【本文】

今朝ノ報知論説欄防弾丸チヨツキヲ取去ラシメヨトノ見
出ニテ余カ九日内閣員歡迎ノ席上演ベタル辞ヲ憂国
ノ至言ト評シ其至言ノ世間ニ傳ハラザルハ各自ノ抱ク卑
怯ノ防弾チヨキナルヲ以テ各自ガ自由ニ意見ヲ述ベ得ル
様為政者ハ勉メザル可カラスト云ヘリ

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム又航空会社ヨリ陸軍ガ

余ニ対スル批判ヲ聞ク頑迷度シ難シ

午后松田製鐵常務引見

午餐ノ際宇田氏詩集刊行ノ資トシテ金百圓ヲ武田秀

雄君ニ渡ス

三時五十分退出歸宅

此朝牧寺三樹東美落札ノ容堂公旧蔵信國在銘ノ

守刀ヲ持参ス代金貳百五拾九圓ヲ全人ニ渡ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年11月30日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

郷氏自宅案内

后四時半 請

失業対策特別委

員会

午前十時社会局

【本文】

今朝思ズモ寝妨シタリ九時半目醒ム依テ失業対策特別委員会ノ出席ヲ断ル

十一時半出社十二時過社長ト閑談製鐵合同ノ件ヲ話シ自分ノ主張ニ付了解ヲ得タリ

午后斯波航空会長ヨリ来年度海軍注文千万圓陸軍約

千式三百万圓外ニ東京製作処約七百万圓ナリトノ報告アリ

君塚勝彦来訪細君療養費ノ為来月中旬金三百

円借用ノ申出アリ貸與ハナサズ援助ス可シト申置ク

后四時退出歸宅全半郷男爵邸ニ赴キ根付ノ蒐集

ヲ觀ル名工ハ吉村周山、為隆、淇水、三輪、杜園、法實、

懷玉齋、蘭亭等ニテ蒔絵師ノ内笠翁、半山樗平、

金工ノ内乗意、安親政廬ナドアリ新シモノニ石川光明

アリ良クモ集メタルモノナリ来賓牧野内府、松方正作、武

藤山治、根津、大橋、藤原池田、串田、福井、朝倉文夫及余

ノ十一人ナリ丁寧ナル馳走ヲ受ケ九時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月1日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

武田秀雄外四名返禮
案内山口午后五時 請

五時山口ニ赴キ武田青木
堤、松岡、奥村五氏ノ招
宴ニ会社ノ重役連ト
共ニ臨ミ九時半
歸宅

【本文】

朝九時網屋主人手代ト共ニ先般依頼ノ宅之助守刀
ノ未成品持参全時拵付正恒ノ太刀、右京柄造盛光
大小、拵付則光ノ刀（一五〇〇円、一〇〇〇円、弐五〇円）ト
拵付長谷部國信＊脇差＊法城寺兼重＊大小＊近江大掾忠廣＊脇差＊ヲ
持参ス前三口ヲ預リ置、（二〇〇、三八〇、一五〇）
午前十一時出社々長室會議ニ臨ミ終テ直ニ經濟聯
盟ノ催ニカヽル高橋藏相ノ財政ニ關スル意見聴取
ノ会ニ赴ク午后尅時高橋藏相来ル黒田次官ハ早
ク来リテ余等ト午餐ヲ共ニス藏相ハ演説ハ尅時間
ヲ超エ昨日 陛下ニ言上シタルト全シ事ト思フ
上原中將二時ヨリ会社ニ来リ待合セ居ルヲ以テ藏相
ノ演説ヲ聴キ直ニ歸社ス上原中將ハ香川ノ代議士上
海北満ニテ戦歿セル將卒ノ傳記尽忠録引受配付依
頼ノ為メナリ制本一冊ヲ預リ三好常務ニ渡シ詮議セシム
ルコトトス（愛国会）

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月2日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

中島小池両家結婚披露
神田學士会館午后五時半
中島正樹ト小池花子

【本文】

朝野依秀市氏来訪面会セズ
午前十一時半出社途次郷氏宅ニ一昨夜招待ノ挨拶ニ
立寄ル理事会ヲ覗ク
午后七時半原嘉道氏警察後援会ノ件ニ付各
務氏ニ東京海上及郵船喜捐勧誘依頼ノ為来訪
全式時秋保科學博物館長来訪来五日夕文部大臣
ヨリ招待ノ件ニ關ス
全參時土佐貴族院議員野村茂久馬氏来訪室戸岬
附近視察勧誘ノ件三土鐵相ニ紹介状依頼ノ為メ
ナリ諾シテ之レヲ與フ尚本件ニ付国沢新兵衛氏ノ紹介ニ
テ一足先北村勝馬氏来訪平田恒太郎氏ヲシテ来意ヲ
聴カシム
四時半歸宅五時半＊壽美ト共ニ＊學士会館ニ於ケル中島正樹ト小池
花子ノ結婚披露ノ席ニ臨ム正樹ハ故陸軍中將正武
氏ノ次男花子ハ故小池張造氏ノ長女ナリ余ハ為メニ干杯ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月3日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十時四十分出社々々長風気ニテ欠勤社長室会議ヲ見
合ス

午後貳時半退出府ノ商工会館ニ於ケル工藝展覧会

ニ立寄り蒔絵高杯（三拾五円）全銘々盆（五拾八円）

ヲ購フ十一日以後三日間ニ受取ノ筈

全四時歸宅

全五時戸田来リ按摩

此日牛込區防空團（區役所取扱）ニ金五拾圓ヲ寄贈ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月4日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

井上二郎次男薫ト
渋谷米太郎長子光子
トノ結婚披露
東京会館后五時半、

【本文】

薄曇リシ、ラ寒シ十一時頃迄就眠
午後五時半壽美ト共ニ東京会館ニ赴キ井上渋谷両家
結婚披露ノ宴ニ臨ム来賓約貳百佐々木謙一郎氏（
勇之助氏長男煙草専売局長官）夫婦媒妁タリ余ハ
来賓ヲ代表シテ挨拶ス始メハ二郎太郎ノ両家主人
ノ兄弟名トまさみさ両夫人ノ均シクマ行ノ内ニアルヲ説
キ婚約ノ遅滞ナク運ヒタルノ偶然ナラザルヲ云ヒ進ンテ
新郎ノ名ニ入り其名ノ示ス如ク芳名ヲ竹帛ニ垂レ偉勲
ヲ千載ニ残スノ用意アル可シト奨励シ尚新婦モ亦其
名ノ示ス如ク日月私シナキガ如ク偏頗ナク夫君舅姑
ニ仕ヘ神仏ノ五光ノ如ク慈愛ヲ一族旧故ニ垂ル可シト戒メ
タリ
食事中ヨリ胸痛ヲ覺ユ御開トナリ壽美ニウナガサレ
直ニ歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月5日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

科學博物館（文相）

案内

午後五時東京會館

断 三日

【本文】

午前十一時半出社三百万円出捐配賦ニ關シ社長ト共ニ
常務ノ提案ヲ聴取ス終テ三菱海上係員不始末事
件ニ關シ各務會長ニ糺シタル全氏ノ意向ヲ具申ス
今朝郵船会社ヨリ全社常務小松原定吉氏八時半死
去ノ報ニ接ス胃壞癰ノ為メナリト云フ午后三時半麻布富
士見町ノ宅ニ悔ニ赴ク本所小名木川ニ轉居シタリトノ事ニ
付見合シテ築地ノ小松屋旅館ニ下野氏ヲ訪問シ晚餐
ノ饗ヲ享ケ八時半辞去跡ニテ糺シタル処小松原氏ノ
轉居先ハ世田ヶ谷野沢町ナリトノ事ナリ

【欄外】

1200

【日記の日付…昭和7年12月6日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

〔予記〕

楠公会后五時半

平泉博士進講祝賀会

一ツ橋教育会館 断

日本學術振興会

文相案内東京会館

午前十一時 請

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列シ全四十五分中坐シテ東

京会館ニ赴キ學術振興会ニ臨ミ終テ文相其他ノ耆

儒將軍連ト午餐ヲ共ニシ一時半歸社

全武時山脇春樹君来訪母堂経営ノ女學館改善擴

張費五拾万円ニ關シ幾分ノ援助ヲ求メントスルニアリ女子

ノ教育ハ岩崎ノ好ンテ奨励スル処ニアラザルヲ以テ冀望ニ

添ヒ難カル可シト答ヘ其旨ヲ三好船田ノ両理事ニ傳ヘ置

ク

午后三時半退出世田ヶ谷ノ小松原定吉氏宅ニ赴キ悔ヲ

述ヘ靈前ニ焚香ス安田柁其他船長連ツメ居レリ五

時歸宅

昨夜井上貞子来リ泊ス壽美本日久原邸ニ赴キ七時

歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月7日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

失業対策特別委
員会午前十時
内相官邸

【本文】

午前十時廿分内相官邸ニ於ケル失業対策特別委
員会ニ列席幹事提出共済組合案ニ付大体審議
ヲ進メ結局別途対案を出ニ付小委員ヲ前田、田子
添田ノ三氏ニ依頼ス（岡氏加入カ）十二時出社
午后三時山脇春樹氏山脇女學校改築資金五拾万
圓募集（内五万余已集）ノ件ニ付相談アリ岩崎社長ハ
女子教育ニハ關心セザル從前ノ方針ヲ説キ断リ置全

清

時ニ松方家再興資金ニ付京都吉富ニテ諸戸勸六氏
ニ面談ノ節木村ノ意見ヲ聴キ返答ス可シトノコトナリシ
全氏ヨリ相談アリタリヤトノコトニ付相談ナシト答ヘ置尚常
務室ニハ三百万円ノ内女子ノ教育ニ向ケラル、者アラバ考
慮セラル可シト申置ク
歸途黒門町ニ迂回シ田島ニ一休ノ書幅ヲ返シ全時
ニ引替ノ為周文ノ小点ヲ預ケ置（代金五〇円支払済）
坂本嘉治馬（富士房社長）ヨリ新刊大言海一冊ヲ贈ラル
挨拶ト共ニ続編（三冊）ヲ注文ス「壽美貞子ヲ久原清子近藤淑子
及鮎川美代子ト共ニ歌舞座ニ案内ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月8日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

八日会、
幹事中島、福井
両氏

三菱製紙総会

海軍協会評議員会
午后式時水交社 断

実業ノ日本社長案内
座談会
工業倶楽部后五時 断

【本文】

午前十一時出社本日ハ社長室会議ノ定日ナルモ信托会社ノ
総会前ノ重役会ナルヲ以テ見合セ信托ノ重役会議ニ列ス
配当率ヲ壺分高ノ六分ト決定ス監查役青木氏ノ代リ
ハ永原氏トシ青木氏及各務会長ニ社長ノ意志ヲ通シ置
午后一時青山斎場ニ於ケル小松原定吉氏ノ葬式ニ臨場
歸途亡渡辺嘉一博士ノ告別式ニ立寄り全式時直
ニ三菱製紙会社ノ総会ニ臨席終テ各場処ノ報告ヲ
聴取全四時半小松旅館ニ下野氏ヲ訪問全五時半山
口ニ至リ八日会ニ臨ム欠席ハ土方池田ノ両氏何レモ風邪
ナリ来賓ハ陸軍々需局長林桂中將ナリ食後精細
ニ露支對抗上必要ノ兵力及軍需品ニ付テノ説明及来
年度豫算整備費ニ付テノ説明アリ十一時ニ及ビテ
歸宅

【欄外】

250.

【日記の日付…昭和7年12月9日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

窪田四郎氏（日露漁業）案内山口午后五時半 請

永井拓相来訪、

【本文】

午前十一時十分出社十五分間理事會傍聴全十一時四十五分工業俱樂部ニ至リ無線電話會社設立發起人創立委員會ニ臨ミ株式募集決定ノ模様ノ報告ヲ藤村委員長ヨリ享ケ十二時歸社
午后一時山地土佐太郎氏来訪松田源治氏ニ關シ話アリタルモ斷リ置
北海道涌別炭鉱ニ轉任ノ蒔田三雄氏引見
徳大寺神戸造船処長引見先達死亡シタル松本副長遺族給與金決定額ヲ通知シ置、
鉱業會社ノ坪内 昭和石炭販賣會社ニ轉任ニ付
久振リニテ挨拶ニ來ル敷居ノ高キコトナキカト云ヒ置（全
人数年前細君入院ノ際家内ヨリ貳百五拾圓借り受其後
少シモ顔ヲ出サズ）
五時山口ニ至リ日露漁業社長窪田四郎氏ノ招宴ニ臨ミ
九時半歸宅十時永井拓相来訪

【欄外】

共樂落札蒔絵刀掛（二十五円）

【日記の日付…昭和7年12月10日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

茅町男ヨリ電話ニテ
田中光顕翁ニハ書面
ニテ一應申送り置ニ
話アリ

【本文】

午前十一時出社々長室会議列席
午后一時東園基光子子供人形博覧館別館建
築勧誘ノ為メ来訪此序ヲ以テ関東正義團二三
千圓出捐ノ事三好常務ヨリ返事ス
神田明神宮司平田盛胤氏外両名明神改築費
寄附金増加懇請ノ件ニテ来訪（壺万五千円ヲ三井全様式
万五千圓ニ）昨日已ニ増加承諾ノ返事シタル旨ヲ答フ
三氏喜ンデ去ル
神田正雄氏来訪段騏瑞ト呉、韓、于（學忠）合縦學
良覆滅ノ献策実行ニ伴ヒ渡支費用調達ノ件ニ
付齊藤総理ノ名刺ヲ持参シ懇請スル処アリ（三万圓ノ
内五千圓住友全額）三好常務ニ移シテ詮議セシム全氏
十五日渡支ノ筈
今朝上原平太郎＊中將＊氏尽忠録引請ノ件ニテ来訪面会セズ
堀達氏今晚死去ノ報ニ接ス三時半退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月11日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

森恪氏死去

【本文】

午后○時半芝車町ノ自邸ニ堀達氏ヲ弔問シ直ニ吉祥
寺別邸ニ赴ク小鳥ノ群レ来テ囀シキハ深山ニ雪ノ降り
タル為メナラン木ノ葉ハ全ク落チテ芝生ハ黄色ヲ呈ス初
冬ノ気凜然タリ直田ト將基三面五時歸宅壽美ハ
井上達一氏母堂ニ回忌ノ法要ニ招カレ東京会館ニ赴キ
八時歸宅

森恪氏今朝鎌倉海濱院ニテ死去政友会一代ノ闘將
雄志ヲ齎ラシキ黄泉ニ赴ク憾惻ノ情ニ堪ヘズ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月12日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

大社宮島鐵道社長
案内

出雲今市全須佐間
開通式於今市 断

舟越濱田、渋谷高橋
四氏送別式

山中、金田中

堀達氏告別式式

時ヨリ三時迄自宅

【本文】

午前十一時二十分出社

午後式時二十分芝区車町泉岳寺前ノ自邸ニ於ケル
堀達氏ノ告別式ニ臨ム

全六時金田中ニ於ケル舟越濱田、高橋渋谷ノ四氏ノ
送別否惜別会ニ臨ム余ノ挨拶ニ対シテ濱田氏ノ答
辞アリ太鼓持ノ余興ニテ酒席頗ルハツム十時歸宅
夜半木枯シ強ク吹ク

【欄外】

東洋協会講演午后五時 断、

【日記の日付…昭和7年12月13日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

郷氏私宅案内

五時半、

全国大學教授聯盟發
令式

東京会館午后四時 断

全国青年篤農家

大会本日ヨリ三日間

青年会館

【本文】

午前十一時出社々長室會議ニ列ス

午后松田製鐵常務ヨリ製鐵合同ニ關シ野田技監ニ
対談ノ結果ニ付報告ヲ受ク

午后五時半郷氏宅ニテ藤沼警視總監、松本警保
局長、吉田（茂）協調会専務理事ト会合ス有賀長

文氏モ席ニアリ左右両傾鎮庄ニ付意見ヲ交換ス

夜十一時ニ至ル退出ノ際郷氏ニ対シ製鐵合同ニ付左ノ通
リ返事シ置、

一合同ノ趣意ハ先回團氏ト共ニ覚書ヲ呈出シタル通
国策遂行ノ為メナル事

一評價ハ公平至当ノモノナル可キコト隨テ郷氏ヨリ示
サレタル暫定價額千六百余万元ハ首肯シ得サ
ルコト

郷氏之レヲ了ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月14日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

徳川家達公金婚式

心祝ノ茶

華族会館午后三時ヨ

リ五時迄 請

外務大臣案内官邸

○時半 請

矢野恒太郎氏案内

錦水午后五時半 請

大高会江知勝后六時 断

【本文】

朝九時網屋主人来訪宅之助守刀目貫（金）家紋彫刻
ノ分ヲ持参ス（土佐明珍其他ノ鏢ト共ニ）預リ置タル正恒太
刀盛光大小、則光落卷ノ三点ヲ式千五百圓ニテ買受
ノ事ニ話纏ル代金明日午后会社ニテ支払フ事トス
一 光村利藻氏夫人挨拶ニ来ル面会ス十一時出社
一 ○時半外務大臣（内田伯）ノ官邸ニ於ケル午餐会ニ
出席ス北満水災義捐募集決末報告ノ為メナリ
寄附金ハ皇室ノ四万圓ノ外約五拾万圓也
午后式時歸社全半昨夕神戸ヨリ歸京ノ茅町男爵
ヲ家庭事務処ニ訪ヒ田中光顯翁へ返事ノ案文ヲ
示シテ同意ヲ得タリ
全三時半華族会館ニ於ケル徳川家達公ノ金婚祝ノ
答礼ノ茶会ニ臨ミ四時二十分歸宅背廣服ニ改メ五
時半矢野恒太氏ノ錦水ニ於ケル子息一郎氏退社挨拶
ノ招宴ニ臨ミ九時歸宅此日森恪氏ノ宮葬アリ

【欄外】

「左欄外」

日本鉱業会忘年茶話会午後五時 断 啓明会

講演工業倶楽部后四時 断

神田正雄氏ニ渡支旅費千円ヲ給ス

「右欄外」

渋沢翁記念会創立發起人総会、工業倶楽部正午 断

アレキサンダー、アール、シャートン

招待茶会午后四時 経済聯盟 断

「上欄外」

午前光村利之倉成文太ト共ニ来社

野村茂久馬氏来訪

吉田一郎氏引見

【日記の日付…昭和7年12月15日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

万葉聴講会午後五時
華族会館

国際聯盟米国大使
館参事官武富
敏彦氏送別午餐 断

「本文から続く」

四時半退出共楽クラブ
ニ立寄り六時万葉
聴講会ノ最終ノ会
合ニ臨ミ荒木小山樺山、
蜂須賀、柳原、秋山、
渋沢、井上博士ト晚餐

【本文】

午前十一時出社々々長室会議列席終テ社長ヨリ郵商両
社合併問題ニ付各務氏引見ノ件ニ付話アリ序ヲ以テ彦
弥太君入社取極ヲ責立置ク
午后一時大阪鐵工所長原田六郎氏義介ノ紹介ニテ来訪
郵商聯盟ニ關シ各務氏ノ旨ヲ享ケ幹旋シタル顛末
ノ話アリ
堀三太郎氏来訪全氏鞍手銀行（相談役タル關係上全行
取付ノ際三井銀行ニ九炭ノ持株ヲ抵当トシテ借金ヲナシ
之レヲ出資シタリ全株騰貴ノ今日処分シテ負債ノ償却
ニ充ツルトキハ自分持株五千株ハ弐千株ニ減ス晏如シテ九
炭ノ取締役ニ止マルハ如何ト心配シテ辞表提出ノ意ヲ漏ス
余ハ其必要ナシト申置キ其意志ヲ船田氏ニ傳フ
金子直吉氏帝国人造絹糸株壹万―壹万五千ヲ抵当トシテ三
菱銀行ヨリ借金ノ件ニ付瀬下氏ニ紹介依頼アリ之レヲ全氏ニ

通ス此話ハ翌日纏リタリ

「予記欄へ続く」

【欄外】

「左欄外」

杉原栄三郎氏シカゴ博覧会出品依頼ノ件ニ付来訪従来ノ行懸リヲ船田氏ニ調べシム

「右欄外」

網屋ニ弍千五百円ヲ支払ヒ君塚勝彦ニ金三百円ヲ贈與ス（細君入院費援助）

【日記の日付…昭和7年12月16日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東京俱樂部忘年会

山口 后六時 断

総理官邸正午、

學術振興会ノ件、 請

老將會午后四時

幹事藤山雷太 請

【本文】

午前十一時十五分出社々長ヨリ彦弥太君入社ノ件ニ付
茅町男トモ一應話シ合フタル旨ヲ聞ク

正午総理大臣ノ官邸ニ臨ム齊藤首相ヨリ學術振興会
々長トシテ寄附勧誘ノ演説アリ引続キ鳩山文相

及 博士ヨリ詳細ノ説明アリ終テ来会者約百二
十名ニ対シ午餐ノ饗應アリ忒時半歸社

夕摩川畔蓮光寺塋内明治大帝ニ關スル建造物ノ為メ

京王電鐵社長井上篤太郎名義ノ三菱銀行負債

棒引懇請ノ件ニ付蒲原町宝珠莊田中光顯翁

ニ書面ヲ出ス草案ハ昨午后茅町男ノ点檢ヲ歷タル

モノナリ（社長モ視之）

全三時半中野立原方ニ赴キ故任氏ノ一周年ノ法要ニ
列ス全五時半新喜樂ニ於ケル老將會ニ臨ミ八時十分

歸宅戸田按摩ヲ招キ療治ス壽美ハ立原ノ法要

ヨリ桃々亭ノ晚餐ニ臨ミ九時歸宅

【欄外】

シガコ博覧会ノ件ニ付商事早川總務部長ヨリ報告説明アリ

【日記の日付…昭和7年12月17日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

清興会午后六時

工業倶楽部

国際＊経済＊聯盟

時局財政調査委員

総括（請）同委員

会正午 断

【本文】

午前十一時出社々長室會議~~中~~ハ社長欠勤ニ付流会

午后四時半退出池ノ端浅野屋ノ会合ニ臨席九時歸宅

此日内ヶ崎作三郎氏ヨリ青年部ヘノ宣言書ト共ニ故濱

口首相能面ノ額ヲ贈ラル顔面眞ニ迫リ壁間ニ懸クレ

バ思ヒ出ノ種トナルモノナリ余ハ寧ロ之レヲ返却セントス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月18日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

正午鳥居坂邸茶ノ
湯

【本文】

温和ニテ風ナシ
朝十一時五十分茶会ニ臨ム為メ鳥居坂邸ニ赴ク余ハ初
メテノ正客ナリ相客ハ三好、永原、船田、佐藤（医博）ノ順
ナリ社長主人トシテ始メテノ給仕ナリ令閨余ノ為メニ後
見ス

寄付、掛物寧一山一行、卓唐物、香炉正伯尾土焼梟
茶室、掛物兼好筆俊成外二人ノ哥、

濃茶 釜、釜師 、水指古備前、香合志野、

茶入 尾土正伯焼 瀬戸焼ノ如シ 茶杓

薄茶 束弓師

茶銘ハ 初昔―？、花、ワビスケニ猫柳、

懷石、汗 田舎味噌ニ京菜、椀盛鴨豆腐ニ小大根、向付鯛ノ

三バイ酢、焼物サハラ、テリ焼 外ニ井芋ボーニ小海老、鮎ノ子（粕）

小皿、鉢青菜、

五時退出失策ノ多キハ云フ迄モナシ後日ノ語草ゾカシ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月19日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時半出社途次鳥居坂邸ニ昨日ノ挨拶ニ
立寄ル社長出社ナシ
午后貳時土居貞弥氏来訪
全時松村亀太郎氏来訪光村工場代地トシテ大崎
藤村 氏名義ノ地所六百七拾八坪？坪九拾貳圓
拾五錢ニテ買入ノ事ヲ承引ス
午后参時永井拓相ヲ官邸ニ訪問満州政府国際聯盟
ノ近況ニ付糺ス処アリ歸社
午后四時退出待合セ居タル壽美ト丸ビルニ立寄り買
物ヲナシ五時半歸宅
共樂ヨリ東湖見取金剛山附近ノ図（五円半）銀煙管
貳本（四拾壹円）ヲ受取ル
夜八時半戸田按摩ヲ招ク

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月20日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

樺山資英氏案内

紅葉館午後六時 請

富士紡総会、

【本文】

午前十一時出社々長室会議ハ社長欠席ニ付見合セ

午后四時半退出時間ツブシノ為メ丸ビルニ立寄り六時紅葉

館ニ赴キ旧友会ニ列スお夏黒田友ノ婆サン連見ユ樺山資

英氏幹事会スルモノ大久保利武、樺山愛輔、志立鐵次郎

柳谷卯三郎、久保勇及余ノ七人ナリ九時半歸宅

土居貞弥氏来社、

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月21日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

国民防空協会ノ入会ヲ
断ル

国民

国防協会ノ顧問
推薦ヲ断ル

【本文】

午前十時萩原唯一氏挨拶ニ来ル全車ニテ出勤ス
全十一時半社長ヨリ年末慰劳金ヲ拝領ス
后式時松岡均平男来訪佛教音楽ノ件ナリ年額三千
圓ヲ弍千圓ニ減額ヲ旧復ニ付下村宗教局長依頼アリト云フ
依テ之レヲ三好常務ニ傳ヘ置
三菱製紙先期決算書数検閲
四時半退出歸宅
夜分、国民防空、国防両協会ノ入会又ハ顧問推薦ヲ断ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月22日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日本經濟聯盟

財政調査委員會

正午 断

国民国防協會設立披

露

市政會館東洋軒

正午 断

藤島小貫両家結

婚披露學士會館

午后五時半

壽美一人請

【本文】

午前十一時出社々長室會議ニ列ス

午后松村龜太郎氏來訪光村工場式地トシテ買入ノ大崎ノ

地所來三十日登記ノコトニ打合セタル旨報告アリ

全時藤村義朗男來訪國際無線電話ノ經過重役撰

定ニ付報告アリ

昨朝山ノ内一次氏病死ノコトヲ知り四時退出麻布富士見町ノ邸

ニ往弔シ最后ノ別ヲ告ク氏ハ在學以來ノ旧友ナリ

壽美ハ五時半學士會館ニ於ケル藤島小貫両家ノ結婚

披露ノ宴ニ赴ク九時歸宅

夜分調髪ニ赴ク歸リテ少敷胸痛ヲ覺ユ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月23日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

国際無線電話発起

人会午前十一時

工業倶楽部

日本電通社長光永

星郎案内忘年会

正午東京会館屋上 請

全式時

郵船重役会

工業倶楽部

新聞記者招待

午后六時

【本文】

朝十時網屋手代宅之助守刀製作出来ニ付持参

代金百六拾三圓外ニ全時持参ノ紫檀造太刀掛ヲ

金四拾圓ニテ購フ此際則光ノ白鞘モ持来レリ

右ノ守刀ハ本日直ニ他ノ物品ト共ニ壽美ヨリ鐵道便

ニテ神戸ニ送リタリ

十一時半出社

午后一時青山斎場ニ赴キ山ノ内一次氏ノ葬儀ニ列シ途

次家庭事務処ニ立寄り遠藤戒三ヲシテ田中光顕氏

秘書ニ確メタル光顕子ノ意志ノ傳達ヲ坂本正治氏ニ

頼ミ（茅町男来客中ニ付）郵船会社ノ重役会ニ列シ三時歸社

神楽坂警察署長渡（警官慰勞ノ為）金三百圓ヲ赤星

陸治氏ニ手交四時退出歸宅服装ヲ改メ六時工業倶楽

部ニ於ケル新聞記者年末慰勞ノ晚餐会ニ臨ム大橋門野

宮島来リテ助勢ス時事ノ記者喜多某ト月曜日ノ会见ヲ
約ス九時半歸宅此夕近藤淑子子供二人ヲ連レ挨拶ニ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月24日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

国際無線電話総会

午前十時

地下鐵開通案内

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列席

午後一時帰宅壽美ト全車吉祥寺ニ赴キ成溪校長淺

野孝之夫人ノ葬儀ニ会葬シ別邸ニ入り休憩シ五時歸

宅全処ニテ鮎川お美代サンニ会合、

田中光顯翁ヨリ茅町男爵へ感謝ノ意ヲ傳ヘラレタシ委曲

上京ノ節面語トノ来電アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月25日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

正午迄安眠ス起床スレハ小堀ノ長男一郎急性腹膜炎ニテ早稲田ノ 病院ニ入院切解ヲ余儀ナクセラレタリト聞ク一郎ハ稀レニ見ル良キ児ニテ将来ヲ囑望シタルモノ切ニ回復ヲ祈ル

武藤秀三氏昨日余ノ使トシテ神楽坂署ニ三百圓寄贈

シタル筈今朝署長橘高廣氏挨拶ニ見ヘタリ

河合幾次氏来訪（大阪市西成区岸の里）睡眠中不在ト

称シテ断リタリト聞ク

河瀬春太郎氏死去ノ報アリ「全時郵船会社ヨリセイロカ病院入院中ノ取締役坂本 氏死去ノ報ニ接ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月26日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

国際無線電話発起人
総会午前十一時

中央開墾会社総会

午后一時

工業倶楽部、

【本文】

午前十一時三菱銀行重役会ニ臨ム小堀ハ長氏看護ノ
疲労ヲ思ヒ休養セシメ雇車ニテ出社

午后一時二十分本社ニカヘリテ時事新報記者喜多某ヲ
引見ス約アルガ為ナリ

昨日死亡セル郵船坂本 氏ノ許ニ香典弐拾圓ヲ贈ル
四時半退出歸宅

河瀬春太郎氏ノ宮葬ニハ書生ヲ遣ハシ代香セシメ香
典拾圓ヲ贈ル

会社退出ノ際田中光顯翁ヨリノ電信ハ彦弥太君ニ托
シテ父君ニ呈ス男爵ヨリ手形ノ期日取調ノ依頼アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月27日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日伯中央協会高松宮
ヲ総裁ニ奉載式
后五時半
会費五圓 請

【本文】

午前十一時出社々長室會議ニ列席ス
午后銀行瀬下氏ニ問合セ京王電鐵社長約束手形ノ期日
ハ来年一月廿六日ナル事ヲ確メ之レヲ坂本正治氏ヲ歴テ茅
町男ニ報告ス
帝室博物館復興翼賛会ヘノ寄附金千圓及国際觀
光協会ヘノ甲種賛助員（一時払）トシテ金五百圓ヲ翼賛
会并ニ協会ノ常務理事ニ送付シ受領証ヲ送ラル
国際觀光局ヨリ吏員來訪右ノ挨拶ト共二年末慰勞金
三百圓ヲ贈ラル
内ヶ崎作三郎氏來訪過日贈ラレタル能面（濱口雄幸氏）凄慘
ノ氣ニ打タレ思ヒ出ノ種トナルニ付返却致シ度旨ヲ告ゲ全時ニ全
製作者曾村杜芽氏ガ病床ニ葉滋ノ資ニ窮シ居ル旨ヲ
聞キ同製品代參百五拾圓ノ外ニ五拾円合計四百圓ヲ内ヶ崎氏ニ
手交ス右製品ノ外今朝宅許ニ持參セラレタル支那人ノ画帖ハ留
守宅ヨリ直ニ全氏ニ返却ス
午后五時半東京会館ニ於ケル日伯中央協会高松宮殿下（妃殿下ハ全伴）
ノ奉戴式及晚餐会ニ臨ミタリ伯大使モ名誉會長トシテ臨席ス

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月28日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

〔予記〕

拓務大臣官邸

正午 請

【本文】

午前十一時半出社全十二時拓務大臣官邸ニ赴キ日滿經濟關係研究会ニ臨ム午餐ノ際余ハ来会者一全ニ代リ拓務大臣ニ挨拶ス終テ議事ニ入り特別委員会作製ノ原案討議ニ入り結局原案ヲ可決三時半歸社

被服廠長 生計監全協会ヘノ寄附金壹万圓ニ対シ挨拶ノ為メ来訪

四時半築地光悦ニ赴キ晚餐九時歸宅

加藤恭平氏ヨリ過般日露漁業会社ヨリ贈ラレタル甲冑ノ由緒書ヲ送ラル鍋島四代光茂着用故アツテ分家蓮池ノ鍋

島家ニ譲リタルヲ（其為メ過チテ鍋島甲斐守ノ着用ト傳ヘタリ）五代直寛ノトキ本家ニ返却セラレ今日ニ至リタルモノ也トアリ
光茂ハ從四位下丹後守

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月29日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス
午後土居貞弥氏挨拶ニ来ル

全式時半望月圭介氏来訪頼ミ事アリ今朝電話ニテ来訪
ヲ約シタルモ今ハ其必要ナキニ至リタルモ單ニ挨拶ノ為メ来リタリトノ
事ナリ

倉成文太及光村利之ノ兩人ヲ招キ歳暮トシテ各金百五拾円
ヲ贈與ス

四時退出茅町邸ニ歳暮ノ挨拶ニ立寄り男爵御夫婦ニ
面会歸宅男爵ハ明後、夫人ハ明日ヨリ「コナ」ニ避寒ノ筈
夜分速達ニテ内ヶ崎氏ヨリ濱口氏能面製作者曾村杜芽
氏ノ受領証ト共ニ挨拶ノ書面ヲ送リ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月30日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

昨夜半ヨリ大雨ナリ本日午后二至リテ止ム
十一時十五分出社々長ト対談約四十分

午后ヨリ机ノ掃除ヲ始メ五時二至ル一年間台積シタル書面
ヲ整理シタリ

此日光村工場敷地トシテ藤村ヨリ買受タル大崎ノ地処六百
七拾四坪（代金坪九拾弍円弍拾銭代金六万余円）ノ登記ヲ済マ
ス

五時半帰宅

夜分直田吉太郎ノ来リニ会ヒ全人ヲ責戒シテ家族ヲ纏

メ近ク郷里ニ歸ラシムルコトトス

午後八時鮎川義介来訪

【欄外】

【日記の日付…昭和7年12月31日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

蕎麦の箸をけは
うち出す除夜の
鐘

【本文】

仕合せニ好天気トナリ温和風ナシ市民ノ喜ヒ思フ可シ
十一時十五分会社ニ赴キ出社中ノ社長ニ歳暮ノ辞ヲ叙シ
全時ニ下僚ノ祝辞ヲ受ク

午餐ノ前中島弥團次来リ濱口氏墓前同志献燈

ノ件話アリ全勢四十余人頭割五拾円以内ノ筈ト云フ承
諾ス

青木三谷、加藤（両）等四五人ト食卓ヲ共ニシ一時退出眞
下正太郎氏ノ病氣ヲ四谷ノ私宅ニ訪ヒ細君ニ面会ス正太郎
氏ハ直腸癌ト云フ生命ノ時日ノ問題氣ノ毒ノ至リナリ
歸宅寿美ト共ニ更ニ巢鴨ニ赴キ老母ヲ省ミ染井ノ先考
ノ墓ニ詣テ、歸宅墓前桐島夫婦ト若キ龍太郎ノ細
君ニ面会ス

此日蜂須賀侯爵＊正昭＊ノ訃ヲ聞ク脳溢血ニテ斃レタルナリ侯ハ
善良ノ仁ナリシニ惜ム可シ

幾度カテロノ的トナリシモ幸ニ本年ヲ無事ニ終リタリ

【欄外】